

東村産業支援住宅建築工事

図 面 目 録

令和 8 年度

意匠図			意匠図			構造図		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	特記仕様書 (1) 【共通】	—	A-21	展開図－2 【A、B、C棟】	1/50	S-001	建築工事(構造) 特記仕様書(1) 【A棟】	—
A-02	特記仕様書 (2) 【共通】	—	A-22	建具 KEY PLAN 【A、B、C棟】	1/50	S-002	建築工事(構造) 特記仕様書(2) 【A棟】	—
A-03	特記仕様書 (3) 【共通】	—	A-23	銅製建具表 【A、B、C棟】	1/50	S-003	壁式鉄筋コンクリート造標準図(1) 【A棟】	—
A-04	特記仕様書 (4) 【共通】	—	A-24	木製建具表 【A、B、C棟】	1/100	S-004	壁式鉄筋コンクリート造標準図(2) 【A棟】	—
A-05	案内図 【共通】	—	A-25	天井伏図 【A、B、C棟】	1/100	S-005	土質柱状図 【A棟】	—
A-06	全体配置図 【共通】	1/150	A-26	流し台詳細図 【A、B、C棟】	1/30	S-101	杭配置図、基礎伏図、1 階梁伏図、1 階壁 R 階壁伏図【A棟】	1/100
A-07	仕上表 【共通】	—	A-27	シャワーユニット詳細図－1 【各棟・共通】	1/30	S-201	軸組図 【A棟】	1/100
A-08	建築概要 【共通】	—	A-28	シャワーユニット詳細図－2 【各棟・共通】	1/30	S-301	基礎・基礎梁リスト【A棟】	1/30
A-09	敷地求積図 【共通】	1/150	A-29	シャワーユニット詳細図－3 【各棟・共通】	1/60	S-302	壁梁・小梁・スラブ・壁リスト【A棟】	1/30
A-10	床面積・建築面積求積図 【共通】	1/100	A-30	シャワーユニット詳細図－4 【各棟・共通】	1/30	S-401	部分詳細図 【A棟】	1/30
A-11	平面図 屋根伏図 【A棟】	1/100	A-31	シャワーユニット詳細図－5 【各棟・共通】	1/30			
A-12	立面図・断面図 【A棟】	1/100	A-32	雑詳細図 【A、B、C棟】	1/50	S-001	建築工事(構造) 特記仕様書(1) 【B棟】	—
A-13	平面図 屋根伏図 【B棟】	1/100	A-33	内装パネル仕様書 【各棟・共通】	図示	S-002	建築工事(構造) 特記仕様書(2) 【B棟】	—
A-14	立面図・断面図 【B棟】	1/100	A-34	内装パネル詳細図－1 【各棟・共通】	1/50	S-003	壁式鉄筋コンクリート造標準図(1) 【B棟】	—
A-15	平面図 屋根伏図 【C棟】	1/30	A-35	内装パネル詳細図－2 【各棟・共通】	1/50	S-004	壁式鉄筋コンクリート造標準図(2) 【B棟】	—
A-16	立面図・断面図 【C棟】	1/30	A-36	内装パネル詳細図－3 【各棟・共通】	1/50	S-005	土質柱状図 【B棟】	—
A-17	平面詳細図 【A、B、C棟】	1/30	A-37	外 構 配 置 図	1/150	S-101	杭配置図、基礎伏図、1 階梁伏図、1 階壁 R 階壁伏図【B棟】	1/100
A-18	断面詳細図 1 【A、B、C棟】	1/60	A-38	外 構 平 面 図 【 A 棟 】	1/100	S-201	軸組図 【B棟】	1/100
A-19	断面詳細図 2 【A、B、C棟】	1/30	A-39	外 構 平 面 図 【 B 棟 】	1/100	S-301	基礎・基礎梁リスト【B棟】	1/30
A-20	展開図－1 【A、B、C棟】	1/30	A-40	外 構 平 面 図 【 C 棟 】	1/100	S-302	壁梁・小梁・スラブ・壁リスト【B棟】	1/30
			A-41	構 造 物 詳 細 図	1/10	S-401	部分詳細図 【B棟】	1/30
			A-42	仮 設 計 画 図	1/150			
						S-001	建築工事(構造) 特記仕様書(1) 【C棟】	—
						S-002	建築工事(構造) 特記仕様書(2) 【C棟】	—
						S-003	壁式鉄筋コンクリート造標準図(1) 【C棟】	—
						S-004	壁式鉄筋コンクリート造標準図(2) 【C棟】	—
						S-005	土質柱状図 【C棟】	—
						S-101	杭配置図、基礎伏図、1 階梁伏図、1 階壁 R 階壁伏図【C棟】	1/100
						S-201	軸組図 【C棟】	1/100
						S-301	基礎・基礎梁リスト【C棟】	1/30
						S-302	壁梁・小梁・スラブ・壁リスト【C棟】	1/30
						S-401	部分詳細図 【C棟】	1/30

東 村 役 場 農 林 水 産 課

建築工事特記仕様書〔建築工事編〕沖縄県土木建築部

令和6年7月改定版

1 工事概要

(1) 工 事 名 : 東村産業支援住宅新築工事

(2) 工 事 場 所 : 東村字有銘499番地2 (地域地区等:)

(3) 敷 地 面 積 : 2,009.00 m²

(4) 工 事 種 目 : 新築

ア 建築物

建築物の名称	公営住宅		
主要用途	住宅	作業場	
構造及び階数	補強コンクリートCB造	壁式コンクリート造	
工事種別	新築	新築	
建築面積	115.20 m ²	m ²	m ²
延べ面積	102.06 m ²	m ²	m ²
イ 工作物及び立木			
工作物等の名称			
数量			

2 本工事の設計時期

本工事の設計書は、令和 6 年 8月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。

3 建築工事仕様

(1) 標準仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」[令和4年版](以下「標準仕様書」という。)による。

(2) 特記仕様

ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

イ 特記事項は、「」に○印の付いたものを適用する。
「」に○印がつかない場合は「※」のついたものを適用する。
「」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。

ウ 項目及び特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

エ 特記事項に記載の(参 . . .)は、標準仕様書の参考資料4各部配筋参考図の当該項目を示す。

4 その他

(1) 公共事業労務費調査に対する協力

ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。

イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。

ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。

エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策

受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)」に基づき、次にに関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。

ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。

ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。

(3) ウィークリースタンスの実施

工事現場環境に関しては、ウィークリースタンス実施要領の3. 取組内容について、業務着手時の打合せ時に確認、調整し、取組内容を設定すること。なお、取組内容は打合せ記録簿へ記録し、受発注者で共有すること。
当該要領については、沖縄県技術・建設業課のホームページ(下記アドレス)を参照すること。
https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/gijiken/kankeitosyo.html

(4) 工事監理業務への協力等

ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。

イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。

(4) 工事監理業務への協力等

ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。

エ 建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。

(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて

本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。

(6) 県産資材の優先使用

本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。

(7) 下請業者の県内企業優先活用

請負業者は、下請契約の相手方を県内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。)から選定するように努めなければならない。

(8) 不発弾等発見時の処理について

本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。
また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。
なお、これについては、下請業者へも周知すること。

(9) ダンプトラック等の過積載等の防止について

ア 工用資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。

イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。

ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。

エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に入入りすることがないようにすること。

オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。

カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。

キ アから力の事につき、下請契約における受注者を指導すること。

(10) 不正軽油の使用の禁止等について

ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。

イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の抜取調査に協力しなければならない。

(11) 設計図書における資材等の取扱いについて

ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。

イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとりの品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等品以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。

ウ 「参考図」は建設工事請負契約款第11条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。

(12) ガイドライン等の遵守について

設計変更等については、契約書18条から24条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン(営繕工事編)」(沖縄県土木建築部)によるものとする。

(13) 本工事の予定価格に占める法定福利費概算額について

ア 受注者は、契約締結後15日以内に、監督員を経由して請負代金内訳書を提出し、請負代金内訳書には、工事現場に従事する現場労働者に係る社会保険料(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険をいう。)の内の事業主が納付義務を負う保険料(以降「法定福利費」という。)を明示すること。
また、明示する法定福利費の算出に当たっては、各専門工事業団体が作成した標準見積書に沿って作成された法定福利費を内訳明示した下請企業の見積りの活用等の方法により適正に見積もることが必要であり、「法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順」に準拠する等により適切に算出すること。

イ 発注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合」は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建設業法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。
【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(国土交通省HP)】
https://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf
【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)(国土交通省HP)】
https://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf
【各団体が作成した標準見積書(国土交通省HP)】
ホーム>政策・仕事>土地・建設産業>建設産業・不動産業>各団体が作成した標準見積書
https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000082.html

章

項 目

特 記 事 項

1 一般共通事項

1 適用基準等

・ 建築工事監理指針(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

・ 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部

・ 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部

・ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和6年版)(一社)公共建築協会

・ 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)

・ 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部

・ 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に関する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部

・ 構造計画・施工計画・建築設備計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部

2 工事実績情報の登録(1.1.4)

登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。

3 工事の一時中止に関する事項(1.1.9)

工事の一時中止に係る計画の作成

(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。

(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

4 工事の余裕期間

・ 余裕期間を設定する工事 【 方式 】

【以下から選択・発注者指定方式／任意着手方式／フレックス方式】

(1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。
なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮しない。

(2) 余裕期間制度のうち、任意着手方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。
このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式ー1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。

(3) その他事項は、「余裕期間を設定する工事実施要領」による。

5 概成工期(1.2.1)

図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。

6 品質計画等(1.2.2)

建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。

(1) 風速:V0＝ m/s (平12建造第1454号第2)

(2) 地表面粗度区分:
(8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.14.5)(23.5.4)

7 施工図等(1.2.3)

(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

(2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。

(3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。

8 工事の記録(1.2.4)

沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。

9 電気保安技術者(1.3.3)

電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。

10 施工条件(1.3.5)

施工順序等の制約 ・ 無し
・ 有り【 ・ 現場説明書による ・ 図示 ・ 工事車両の駐車場所 ・ 図示 ・ 現場説明書による ・ 資材、機材置場 ・ 図示 ・ 現場説明書による ・ 建設発生土の仮置場 ・ 図示 ・ 現場説明書による ・ その他の施工条件 ・ 図示 ・ 現場説明書による ・

11 施工中の安全確保及び環境保全等(1.3.7)(1.3.10)

12 交通安全管理(1.3.8)

13 発生材の処理等(1.3.11)

(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。

(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号)」)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5～260kW)
ア バックホウ
イ 車輪式トラクタショベル
ウ ブルドーザ
エ 発動発電機
オ 空気圧縮機
カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの)
キ ローラ類
ク ホイールクレーン

国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。
(令和3年2月19日 沖縄県公安委員会告示第38号)

(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。

	発生材の種類
発注者に引き渡すもの	
特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法	
現場において再利用を図るもの	

(2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。

(3) 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。
また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。

(4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆるいくる材の認定を受けた施設又はゆるいくる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆるいくる材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。

(5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件のうちから運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。

(6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について

ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、廃棄物という。)については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。
「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPIに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。
なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。

イ 発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について(通知)(平成24年3月28日付け土技第1257号)」に基づき、適正に処理すること。

ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて(通知)(平成25年1月17日付け土技第942号)」に基づき、適正に処理すること。

工事名称

東村産業支援住宅建築工事

工事場所

東村字有銘 499 番2

発注機関

東村役場 農林水産課

摘 要

管理建築士 設 計 製 図

検 印

工事年度

令和 8 年度

図面名称

建築工事特記仕様書(その1)

図面番号

A-01

名 称

有限会社 結 設 計

資格者氏名

又吉 大輔 第369343号

計 登 録 番 号

第 123-3734 号

所 在 地

名護市宮里三丁目29番15号
TEL0980-52-0700 / FAX0980-52-0700

1
一般
共通
事項
へ
続
き
～

14
主任技術者・監
理技術者

(1) 工事請負代金額が4,000万円以上(建築一式工事の場合
8,000万円以上)の工事については、主任技術者又は監理技術
者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間
は、次のとおりとする。

ア 現場施工に着手するまでの期間
【現場施工に着手する日が確定している場合】
請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの
期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場
への専任は要しない。
【現場施工に着手する日が確定していない場合】
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現
場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始さ
れるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者
の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手す
る日については、請負契約の締結後、監督員との打合せに
おいて定める。

イ 検査終了後の期間
工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が
遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っ
ている契約工期中の期間については、主任技術者又は監
理技術者の工事現場への専任を要しない。
(2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について
ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置す
る主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日以前
に3ヵ月以上の雇用関係が成立していなければならない。
イ 受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任
技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類(健康
保険被保険者証等の写し)を提出しなければならない。

15 主任技術者等
の資格

(1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、
現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で
示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。
・ 1級建築士、又は1級建築施工管理技士のいずれかの資格
を有するもの
・ 1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、又は2級
建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの
ア 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技
術者講習修了証を有する者であること。
イ 配置予定技術者にあつては、入札開始日前に3ヵ月以上
の直接的かつ恒常的な雇用関係があること。
ウ 配置予定技術者の専任を要しない期間については、設計
図書等で確認すること。
(2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。

16 監理技術者の
兼務(特例監理
技術者の配置)

※ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を
受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認める。この場
合の要件は、現場説明書による。
・ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を
受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認めない。

17 工事の保険等

(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、
原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。
【・火災保険 ・建設工事保険 ・組立保険 ・請負業者賠償責任保険】
(2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、
契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。
(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。
ア 掛金収納書を契約後原則一ヶ月以内(電子申請方式によ
る場合にあっては契約後原則40日以内)に発注者に提出す
る。
イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工
事現場」標識を掲示する。
ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。
エ 工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査
職員に提示しなければならない。

18 ゆいぐる材につ
いて

(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物
を原材料とするゆいぐる材に限り、原則「ゆいぐる材」とする。そ
れ以外を原材料とするゆいぐる材は率先して使用することとす
る。ただし、ゆいぐる材がない離島等での工事の場合は、ゆいぐ
る材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいぐる材以外の再
生資材を使用する場合もゆいぐる材品質管理要領」に準じて
品質管理を実施すること。また、ゆいぐる材の在庫がない等
により使用することができない場合は、新材を使用すること。
(2) ゆいぐる材の品質管理
ア ゆいぐる材の品質管理にあつては、「標準仕様書」と
のほかに「ゆいぐる材品質管理要領」に基づいて行うこと。
イ 受注者は、工事請負代金額が 500万円以上でゆいぐる材
を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術
センターあてに「ゆいぐる材品質管理依頼」を行い、必要書
類の交付を受けなければならない。
ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及
び現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後の現場
簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。
エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速や
かに監督員に試験結果を報告しなければならない。

19 技能士(1.5.2)

適用工事種別

技能検定作業

20 化学物質の濃
度測定(1.5.9)

(1) 測定時期、測定対象室及び測定箇所数

測定対象室

測定箇所数

測定時期

備考

21 完成時の提出
図書
(1.7.1)(1.7.2)
(1.7.3)

※完成図 ※保全に関する資料
(1) 本工事の完成時の提出図書は、「営繕工事における工事関
係図書等に関する効率化実施要領(案)」による。
(2) 完成図は、(表1.7.1)に次表を含むものとする。

種類	記入内容
詳細図	監督員との協議による。

(3) 本工事は電子納品対象工事とする。
電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を
電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、
各種電子納品要領・基準等(以下、「要領」)に示されたファイル
フォーマットに基づいて作成されたものを指す。
なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別
途監督員と協議するものとする。
(4) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっている
か(一財)沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「電子納
品確認登録証」の発行を受けること。
業務成果品(工事完成図書)は、電子媒体(CD-R等)で(正)
1部提出すること。
「要領」で特に記載が無い項目については、監督員と協議の
上、電子化のファイルフォーマットを決定すること。
なお、「紙」による提出物は、監督員と協議の上決定するこ
と。
(5) 受注者は、完成通知書の添付書類として以下の書類及び電
子データを監督員に提出しなければならない。
ア ゆいぐる材利用状況報告書
イ ゆいぐる材出荷量証明書
(6) 建築物等の利用に関する説明書について
・「建築物等の利用に関する説明書」を作成する。作成の手引き
(国土交通省ホームページに掲載)を参考にして、記載事項は
監督員との協議により決定する。
(7) 受注者は、監督員より「長期保全計画書」の作成の指示が
あった場合、これを作成し監督員に提出しなければならない。
なお、この計画書の内容等は監督員との協議により決定する。

22 設計図CAD
データの貸与

本工事では発注者から受注者に対し設計図CADデータを貸与す
る。なお、貸与されたCADデータを本工事における施工図又は完
成図の作成のため以外に使用してはならない。

23 情報共有システ
ム

(1) 現場事務所等に、情報共有システムが使用可能な以下に示
す程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等に
より当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。
【インターネット環境】：ブロードバンド回線
【パソコンOS】：Microsoft Windows 8.1／10
【推奨ブラウザ】：Microsoft Edge
情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でイ
ンターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを
行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換
するものである。
(2) 受注者は、沖縄県CALSシステムの利用にあつては、沖縄県
とCALS運営会社で定めた使用承諾料を沖縄県CALSシステム
を運営している者に支払うこと。
(3) 沖縄県CALSシステムの使用許諾料を支払ったときは、速や
かに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること。(支
払いの事実を証明する書類(銀行振り込みの写し等)を提出)
・ 墜落制止用器具は、フルハーネス型とする。ただし、墜落時に
着用者が地面に到達するおそれのある場合は、胴ベルト型の
使用を認めるものとする。また、墜落制止用器具の安全な使用
に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)
を遵守すること。

24 墜落制止用器
具

25 「労務費見積り
尊重宣言」促進
モデル工事

・ 本工事は、「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事の対象
工事である。
実施については、「沖縄県「労務費見積り尊重宣言」促進モデ
ル工事試行要領」及び「「労務費見積り尊重宣言」実施要領」
(2018.12.21 日本建設業連合会)等を参照し実施するものとす
る。

・ 本工事は、建設キャリアアップシステム(以下「CCUS」とい
う。)活用工事の試行対象であり、実施については、受注者に
おける希望型とする。
受注者は、工事着手前までにCCUS活用について、実施の有
無を工事打合簿にて発注者へ報告するものとする。
実施については、「沖縄県 建設キャリアアップシステム
(CCUS)活用工事試行要領」及び「建設キャリアアップシステム
現場運用マニュアル」(一般財団法人建設業振興基金)等を参
照し実施するものとする。

26 建設キャリア
アップシステム
(CCUS)活用に
ついて

2 仮
設
工
事

1 工事用水

2 工事用電力

3 環境対策につ
いて

4 足場その他
(2.2.4)

5 監督員事務所
(2.3.1)

構内既存の施設:【・利用不可 ・利用できる(・有償 ・無償)】

構内既存の施設:【・利用不可 ・利用できる(・有償 ・無償)】

(1) 受注者は、本工事の施工にあたり、「沖縄県赤土等流出防止
条例」、「水質汚濁防止法」及びその他環境保全に関する法令
等を遵守し、その対策については工事着手前に現場状況の調
査、検討を十分に行い、監督員の確認を得た上で施工すること。
(2) 赤土等流出防止対策を行う場合、その対策範囲は図示によ
る。

・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置
に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による
足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方
式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

規模(㎡)	
床	
仕上げ	内壁・天井
	屋根
備品の種類及び数量	

3 土
工
事

1 埋戻し及び盛土
(3.2.3)(表3.2.1)

埋戻し及び盛土の種類:
【・ A種 適用場所()
・ B種 適用場所()
・ C種 適用場所()
土質() 受渡場所()
・ D種 適用場所() 】【

2 建設発生土の
処理
(3.2.5)

建設発生土の処分は次による。
※ 構外搬出適切処理
搬出先名称()
搬出先所在地()
運搬距離(km)
搬出先基準(条件)()
・ 構内堆積 ・ 構内敷きならし

4 地
業
工
事

1 載荷試験
(4.2.3)(4.2.4)

載荷試験 の種類	試験の方 法	試験の位 置	載荷荷重	報告書の 記載事項
杭 ・ ・ ・	・水平試験・図示 ・鉛直試験・ ・	・図示 ・ ・	・図示 ・ ・	・図示 ・ ・
地盤 ・ ・	・平板載 荷試験・ ・	・図示 ・ ・	・図示 ・ ・	・図示 ・ ・

2 杭地業

(1) 杭地業の種類と工法 (4.3.1)(4.4.4)(4.5.1)

杭地業の種類	工法
・ 遠心力高強度プレストレスト コンクリート杭(PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート 杭(PRC杭) ・ 鋼杭地業 ・ 場所打ちコンクリート杭地業	・ セメントミルク工法 ・ 特定埋設杭工法 ・ プレボーリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ ()工法 ・ アースドリル工法 ・ ()工法

(2) 杭の寸法等 (4.2.2)(4.3.3)(4.4.3)(4.5.4)

	杭径	杭長 (m)	種類	継手数	先端部 の形状	備考
試験杭						位置は図 示による
本杭						

(3) 杭の品質等 (4.3.4)～(4.3.8)(4.4.4)～(4.4.6)

設計支持 力	推定支持力 の算定方法	水平方向の ずれ精度	継手工法	杭頭の処 理

(4) 支持層 (4.3.4)(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6)

支持層の位置	支持層の種類	支持層への掘 削深さ	支持層への根入 れ深さ

(5) 場所打ちコンクリートにおける材料等 (4.5.4)
ア 鉄筋

帯筋	鉄筋の最小かぶり厚さ	備考
【・(参-2.2)・図示】		

イ セメントの種類 【・普通ポルトランドセメント・図示】
ウ コンクリート

設計基準強度	種別	備考

3 床下防湿層
(4.6.5)

防湿層の範囲は、図示による。

5 鉄
筋
工
事

1 鉄筋(5.2.1)

2 溶接金網
(5.2.2)

3 継手及び定着
(5.3.4)

4 鉄筋のかぶり厚
さ及び間隔
(5.3.5)

5 各部配筋
(5.3.7)

6 機械式継手

(1) 継手の種類等

施工部位	継手の種類	備考(重ね継手の長さ等)

(2) 柱、梁の主筋の継手を同一箇所にはける場合は、応力集中
やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾
を受けて施工すること。
(3) 鉄筋の定着長さ【※図示による。 ・ 】【

6 コン
ク
リ
ー
ト
工
事

1 コンクリートの
強度

気乾単位容積 質量による種類	類別等	設計基準強度 (Fc)	施工部位
・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート	※Ⅰ類 ・Ⅱ類 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類		

(6.2.1)(6.2.2)(6.2.3)(6.10.1)(6.13.1)(6.14.1)(6.15.1)

2 コンクリートの
材料

(1) セメントの種類
【※普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントB種・
(2) フライアッシュセメントB種の適用箇所:【・図示・
(3) 骨材のアルカリシリカ反応性による区分: ※A・B (6.3.1)

3 コンクリートの
強度試験

材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中
養生」とする。

4 コンクリート打
放し仕上げ
(6.2.5)(6.8.1)

仕上げの種類別	打増し厚さ	施工部位	備考

5 コンクリートの
品質管理

工事に使用するコンクリートは事前に試し練りを行い、その品質
等が設計図書の規定に適合していることを確認し、監督職員に報
告する。

6 打継ぎ(6.6.4)

打継ぎ目地の寸法は、図示による。

7 型枠
(6.8.1)
(6.8.2)

(1) 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ
【・20mm・()mm】
(2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法は、図示による。
(3) MCR工法の適用:・有り【使用箇所:・図示・】

8 軽量コンクリー
ト
(6.10.1)
(6.10.2)

施工部位	種類	気乾単位容積質量
	・1種 ・2種	

水又は土に接する軽量コンクリートの使用
・有り【使用箇所:・図示・】

9 暑中コンクリー
ト

暑中コンクリートの適用は【市】の日平均気温の平年値が
25℃を超える【月 日】から【月 日】までとする。
(注) 適用する場合は、気象庁HPより日平均気温の平年値を確認し、【】
を記載すること。

10 品質確保

レディーミストコンクリートの品質確保については、「レディーミストコンクリ
ートの品質確保について」(平成15年11月10日付け国営建第95号)及
び「レディーミストコンクリートの品質確保について」の運用について」
(平成15年11月10日付け国営技第71号)を適用する。

東村産業支援住宅建築工事

工事年度

令和 8 年度

東村字有銘 499 番2

図面名称

建築工事特記仕様書(その2)

東村役場 農林水産課

図面番号

A-02

管理建築士

設 計

製 図

名 称

有限会社 結 設 計

設
計
者

資格者氏名

又吉 大輔 第369343号

登録番号

第 123-3734 号

所 在 地

名護市宮里三丁目29番15号
TEL:0980-52-0700 / FAX:0980-52-0705

7 鉄骨 工事	1 鋼材(7.2.1) (表7.2.1)	<table><tr><td>記号の種類</td><td>適用箇所</td><td colspan="3">備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="3">形状及び寸法は、図示による。</td></tr></table>	記号の種類	適用箇所	備考					形状及び寸法は、図示による。			5 外壁パネル工法 (8.4.3)(8.5.3)	(1) 地震に対する安全性 設計用震度(K _H) <table><tr><td>設計用震度</td><td>帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの 接合部材)の性能</td></tr><tr><td>設計用水平震度(K_H)</td><td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。</td></tr><tr><td>※1.0・</td><td></td></tr><tr><td>設計用鉛直震度(K_V)</td><td></td></tr><tr><td>※0.5・</td><td></td></tr></table>	設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの 接合部材)の性能	設計用水平震度(K _H)	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。	※1.0・		設計用鉛直震度(K _V)		※0.5・		11 タイル 工事	1 タイル (11.2.2)(11.3.2)	(1) タイルの種類 <table><tr><td>施工箇所</td><td>形状・寸法</td><td>うわぐすり</td><td>吸水率</td><td>役物</td><td>色</td><td>耐滑り性</td></tr></table>	施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	耐滑り性	13 屋根及び とい工事	1 長尺金属板葺 (13.2.2)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>屋根葺き形式</td><td>板及びコイルの種類</td><td>塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号</td><td>厚さ等</td></tr><tr><td colspan="5">下葺材料:【・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング】</td></tr></table>	施工箇所	屋根葺き形式	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号	厚さ等	下葺材料:【・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング】				
	記号の種類	適用箇所	備考																																												
			形状及び寸法は、図示による。																																												
	設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの 接合部材)の性能																																													
設計用水平震度(K _H)	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。																																														
※1.0・																																															
設計用鉛直震度(K _V)																																															
※0.5・																																															
施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	耐滑り性																																									
施工箇所	屋根葺き形式	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号	厚さ等																																											
下葺材料:【・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング】																																															
2 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)(7.4.7)	<table><tr><td>種類</td><td>径</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>備考</td></tr></table> すべり係数試験：【・実施する ・実施しない】 試験の方法、試験片の摩擦面の処理:【・図示 ・	種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考		(2) タイルの試験張り:【・行う ・行わない】 (3) タイルの見本焼き:【・行う ・行わない】	2 折板 (13.3.2)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>形式の区分</td><td>山高・山ピッチ</td><td>耐力による区分</td><td>材料による区分</td><td>厚さ</td></tr></table> (1) 軒先面戸板の適用:【・有り ・なし】 (2) 断熱材張り【・実施する ・実施しない】	施工箇所	形式の区分	山高・山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ																														
種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考																																										
施工箇所	形式の区分	山高・山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ																																										
3 普通ボルト (7.3.2)	<table><tr><td>径</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td colspan="2">備考</td></tr></table>	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考			壁タイル張りの工法等 <table><tr><td>タイルの種類</td><td>大きさ</td><td>工法</td><td>張付け材料の種類、塗厚等</td></tr></table> モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理:【・MCR工法 ・目荒らし工法】	タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等	3 県産瓦葺	(1) 瓦は沖縄県産の赤瓦とする。 (2) 沖縄県技能評価認定制度に基づく琉球赤瓦施工技能評価試験の瓦葺き作業及び漆喰塗り作業に合格した者を、適用する作業中において次の条件で配置し自ら施工すると共に、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。 【・1名以上配置 ・施工面積 m2につき、 級技能評価試験に合格した者を1名配置】																																
径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考																																											
タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等																																												
4 アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)(7.10.3) (表7.10.1)	・構造用アンカーボルト <table><tr><td>種類</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>形状及び寸法</td><td>保持及び埋込み工法</td></tr></table> ・建方用アンカーボルト <table><tr><td>種類</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>形状及び寸法</td><td>保持及び埋込み工法</td></tr></table>	種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法	種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法			4 瓦 (13.4.3)	(1)瓦の緊結方法：（																														
種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法																																										
種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法																																										
5 デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	<table><tr><td>施工部位</td><td>材質</td><td>形状</td><td>寸法</td><td colspan="2">備考</td></tr></table> デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法:【・図示 ・	施工部位	材質	形状	寸法	備考				(表12.2.2)	5 とい(13.5.2) (表13.5.1)	<table><tr><td>材種</td><td>規格名称</td><td>材質</td><td>備考</td></tr></table>	材種	規格名称	材質	備考																															
施工部位	材質	形状	寸法	備考																																											
材種	規格名称	材質	備考																																												
6 スタッド (7.2.8)	<table><tr><td>施工部位</td><td>材質</td><td>形状</td><td>寸法</td><td colspan="2">備考</td></tr></table>	施工部位	材質	形状	寸法	備考		9 防水 工事	1 防水の種類	(1) 防水の種類等 (9.2.2)(9.3.2)(9.4.2)(9.5.2)(9.6.1) <table><tr><td>防水の種類</td><td>厚さ</td><td>施工箇所</td></tr></table>	防水の種類	厚さ	施工箇所	14 金属 工事	1 あと施工アンカー(14.1.3)	あと施工アンカーの引抜試験:【・実施する ・実施しない】																															
施工部位	材質	形状	寸法	備考																																											
防水の種類	厚さ	施工箇所																																													
7 柱底均しモルタル(7.2.9)	<table><tr><td>材料</td><td>厚さ</td><td>種別</td><td>備考</td></tr></table>	材料	厚さ	種別	備考	(2) 防水層の種類 (9.2.3)(9.3.3)(9.4.3)(9.5.3)(9.6.3) <table><tr><td>防水層の種別</td><td>工法</td><td>備考</td></tr></table> (表9.2.3)～(表9.2.9)(表9.3.1)～(表9.3.3) (表9.4.1)～(表9.4.3)(表9.5.1)(表9.5.2)(表9.6.2)	防水層の種別		工法	備考	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>寸法</td><td>等級又は品質</td><td>含水率</td><td>化粧薄板の厚さ</td></tr></table>	施工箇所	樹種		寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ	表面処理の種別をB－1種又はB－2種としたときの複合皮膜の種類:【・A1 ・A2】(JIS H 8602) (14.2.2)(14.7.2)(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.1)																												
材料	厚さ	種別	備考																																												
防水層の種別	工法	備考																																													
施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ																																										
8 材料試験等 (7.2.10)	引張りを受ける材料の試験等: ・実施する【図示()】	(3) その他の材料等 ・押え金物 : (材質) (寸法) ・絶縁用シート : (材料) ・断熱材 : (材質) (厚さ) ・立上り部保護 : (材料) (工法等) ・脱気装置 : (種類) (設置数) ・仕上げ塗料 : (種類) (使用量)	(4) 造作用集成材 【・「集成材の日本農林規格」による ・「集成材の日本農林規格」以外による】 【・造作用集成材 ・化粧ばり造作用集成材 ・化粧ばり構造用集成材 ・	3 鉄鋼の垂鉛めっき																																											
9 仮組(7.3.10)	仮組の実施：【・実施する ・実施しない】	(4) 施工 ・下地の処理方法等 : ()	(5) 造作用単板積層材 【・「単板積層材の日本農林規格」による ・「単板積層材の日本農林規格」以外による】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表面の品質</td><td>含水率</td><td>防虫処理</td></tr></table>	施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理	4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.3)(14.4.4)	屋外の軽量鉄骨天井下地 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 <table><tr><td>野縁の間隔</td><td>備考</td></tr></table> ・補強方法等(図示による)	野縁の間隔	備考																																			
施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理																																											
野縁の間隔	備考																																														
10 溶接 (7.6.3)(7.6.4)(7.6.7)(7.6.12)	<table><tr><td>間先の形状</td><td>エンドタブの有・無及び適用箇所</td><td>スカラップの形状</td><td>溶接部の試験</td></tr></table>	間先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカラップの形状	溶接部の試験	2 シーリング (9.7.2)(9.7.3)(9.7.5) (16.14.5)(17.3.2)	(6) パーティクルボード <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表表面の状態</td><td>曲げ強さ</td><td>接着剤</td><td>難燃性</td></tr></table>	施工箇所	厚さ	表表面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性	5 金属成形板張り (14.6.2)(14.6.3)	(1) 金属成形板の種別及び表面処理: (2) 長尺の場合における伸縮調整継手:																																
間先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカラップの形状	溶接部の試験																																												
施工箇所	厚さ	表表面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																																										
11 塗料の種別 (7.8.4) (表18.3.1)	錆止め塗料の種別:【・A種 ・B種】	3 保証	(1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。 (2) 保証期間は、工事完成后【 】年間とする。ただし、アスファルト防水は【 】年間とする。	(7) 構造用パネル <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>等級</td></tr></table>	施工箇所	厚さ	等級	6 アルミニウム製笠木(14.7.2)(14.7.3) (表14.7.1)	(1) 構成部材による種類: (2) アルミニウム製笠木本体の材料の表面処理の種別及び複合皮膜の種類は次による。 種別:【・A－1 ・B－1】 種別をB－1とした場合の複合皮膜の種類:【・A1 ・A2】(JIS H 8602) (3) 固定金具の間隔及び固定方法:																																						
施工箇所	厚さ	等級																																													
12 耐火被覆の種類及び性能 (7.9.2)(7.9.3)	<table><tr><td>種類</td><td>所要性能及び摘要箇所</td></tr></table>	種類	所要性能及び摘要箇所	10 石 工事	1 石材(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)	(1) 天然石 <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類</td><td>表面仕上げの種類</td></tr></table>	施工箇所	種類	表面仕上げの種類	1 ラス系下地 (15.2.4)	(1) 種類: ・通気工法(・二重下地 ・単層下地) ・直貼り工法(・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) ・外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法を行う場合()																																				
種類	所要性能及び摘要箇所																																														
施工箇所	種類	表面仕上げの種類																																													
13 その他(7.11.2)(7.12.5)	(1) 軽量形鋼構造におけるボルトの接合方法: (2) 溶融垂鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理:【・プラスト処理 ・プラスト以外の特別な処理方法及びすべり耐力等の確認方法:	2 壁の石張り工法 (10.3.2)(10.4.2)(10.5.2)	(2) テラゾ <table><tr><td>施工箇所</td><td>種石の種類、大きさ</td><td>形状及び寸法</td><td>表面仕上げの種類</td></tr></table>	施工箇所	種石の種類、大きさ	形状及び寸法	表面仕上げの種類	2 せっこうボード その他のボード下地(15.2.5)	2 既製目地材の適用及び形状: (3) 床の目地の設置及び工法: (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験:【・実施する ・実施しない】																																						
施工箇所	種石の種類、大きさ	形状及び寸法	表面仕上げの種類																																												
8 コン クリ ート ブ ロ ッ ク ・ A L C ・ パ ネ ル ・ E C P 工 事	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)(8.2.4)(8.2.5)	2 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)	(1) パネルの種類等 <table><tr><td>パネルの種類</td><td>単位荷重</td><td>厚さ</td><td>長さ</td><td>構法</td></tr></table>	パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法	3 モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)	(1) モルタル: ・現場調査材料 ・既調査材料()																																					
	パネルの種類		単位荷重	厚さ	長さ	構法																																									
	2 コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)～(8.3.4)		(2) 床パネルの耐火性能:【・1時間 ・2時間】 (3) 外壁パネル構法の場合の伸縮調整目地の目地幅:【・図示 ・()mm】 (4) 耐火目地材の適用:【・適用する ・適用しない】	2 乾式工法の方式:【・スライド方式 ・ロッキング方式】 (3) あと施工アンカーの材質及び寸法: (4) 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質:	4 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	(2) 既製目地材の適用及び形状: (3) 床の目地の設置及び工法: (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験:【・実施する ・実施しない】																																									
	3 ALC/パネル (8.4.2)～(8.4.5) (表8.4.2)(表8.4.3)		<table><tr><td>パネルの種類</td><td>表面形状</td><td>厚さ</td><td>幅</td><td>取付工法</td></tr></table>	パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付工法	<table><tr><td>厚さ</td><td>石裏面処理</td><td>目地幅</td><td>備考</td></tr></table>	厚さ	石裏面処理	目地幅	備考	(1) 公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。																																	
パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付工法																																											
厚さ	石裏面処理	目地幅	備考																																												
4 押出成形セメント板(CEP) (8.5.2)～(8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)	<table><tr><td>パネルの種類</td><td>表面形状</td><td>厚さ</td><td>幅</td><td>取付工法</td></tr></table>	パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付工法	4 特殊部位の石張り(10.7.1)(10.7.2)(10.7.3)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>工法</td><td>石材の厚さ</td><td>石裏面処理</td><td>裏打ち処理</td><td>備考</td></tr></table>	施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																																	
パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付工法																																											
施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																																										
9 コン クリ ート ブ ロ ッ ク ・ A L C ・ パ ネ ル ・ E C P 工 事	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)(8.2.4)(8.2.5)	2 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)	(1) 天然石 <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類</td><td>表面仕上げの種類</td></tr></table>	施工箇所	種類	表面仕上げの種類	3 防腐・防蟻・防虫処理 (12.3.1)(12.3.2)	1 ラス系下地 (15.2.4)	(1) 種類: ・通気工法(・二重下地 ・単層下地) ・直貼り工法(・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) ・外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法を行う場合()																																						
	施工箇所		種類	表面仕上げの種類																																											
	2 コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)～(8.3.4)		(2) テラゾ <table><tr><td>施工箇所</td><td>種石の種類、大きさ</td><td>形状及び寸法</td><td>表面仕上げの種類</td></tr></table>	施工箇所	種石の種類、大きさ	形状及び寸法	表面仕上げの種類	4 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	2 せっこうボード その他のボード下地(15.2.5)	2 既製目地材の適用及び形状: (3) 床の目地の設置及び工法: (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験:【・実施する ・実施しない】																																					
	施工箇所		種石の種類、大きさ	形状及び寸法	表面仕上げの種類																																										
	3 ALC/パネル (8.4.2)～(8.4.5) (表8.4.2)(表8.4.3)		(1) パネルの種類等 <table><tr><td>パネルの種類</td><td>単位荷重</td><td>厚さ</td><td>長さ</td><td>構法</td></tr></table>	パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法	(1) 公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。	3 モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)	(1) モルタル: ・現場調査材料 ・既調査材料()																																				
パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法																																											
4 押出成形セメント板(CEP) (8.5.2)～(8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)	<table><tr><td>パネルの種類</td><td>表面形状</td><td>厚さ</td><td>幅</td><td>取付工法</td></tr></table>	パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付工法	4 特殊部位の石張り(10.7.1)(10.7.2)(10.7.3)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>工法</td><td>石材の厚さ</td><td>石裏面処理</td><td>裏打ち処理</td><td>備考</td></tr></table>	施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																																	
パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付工法																																											
施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																																										
5 鉄骨 工事	1 鋼材(7.2.1) (表7.2.1)	2 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)	(2) 設計用震度(K _H) <table><tr><td>設計用震度</td><td>帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの 接合部材)の性能</td></tr><tr><td>設計用水平震度(K_H)</td><td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。</td></tr><tr><td>※1.0・</td><td></td></tr><tr><td>設計用鉛直震度(K_V)</td><td></td></tr><tr><td>※0.5・</td><td></td></tr></table>	設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの 接合部材)の性能	設計用水平震度(K _H)	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。	※1.0・		設計用鉛直震度(K _V)		※0.5・		3 防腐・防蟻・防虫処理 (12.3.1)(12.3.2)	1 ラス系下地 (15.2.4)	(1) 種類: ・通気工法(・二重下地 ・単層下地) ・直貼り工法(・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) ・外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法を行う場合()																															
設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの 接合部材)の性能																																														
設計用水平震度(K _H)	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。																																														
※1.0・																																															
設計用鉛直震度(K _V)																																															
※0.5・																																															
6 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)(7.4.7)	<table><tr><td>種類</td><td>径</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>備考</td></tr></table> すべり係数試験：【・実施する ・実施しない】 試験の方法、試験片の摩擦面の処理:【・図示 ・	種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考	2 土壌の防蟻処理	(2) 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・1/100 ・1/200 ・	4 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	2 せっこうボード その他のボード下地(15.2.5)	2 既製目地材の適用及び形状: (3) 床の目地の設置及び工法: (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験:【・実施する ・実施しない】																																			
種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考																																										
7 普通ボルト (7.3.2)	<table><tr><td>径</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td colspan="2">備考</td></tr></table>	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考				5 造作用集成材 【・「集成材の日本農林規格」による ・「集成材の日本農林規格」以外による】 【・造作用集成材 ・化粧ばり造作用集成材 ・化粧ばり構造用集成材 ・	3 モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)	(1) モルタル: ・現場調査材料 ・既調査材料()																																			
径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考																																											
8 アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)(7.10.3) (表7.10.1)	・構造用アンカーボルト <table><tr><td>種類</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>形状及び寸法</td><td>保持及び埋込み工法</td></tr></table> ・建方用アンカーボルト <table><tr><td>種類</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>形状及び寸法</td><td>保持及び埋込み工法</td></tr></table>	種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法		種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法		(3) タイルの見本焼き:【・行う ・行わない】	4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.3)(14.4.4)	屋外の軽量鉄骨天井下地 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 <table><tr><td>野縁の間隔</td><td>備考</td></tr></table> ・補強方法等(図示による)	野縁の間隔	備考																											
種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法																																										
種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法																																										
野縁の間隔	備考																																														
9 デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	<table><tr><td>施工部位</td><td>材質</td><td>形状</td><td>寸法</td><td colspan="2">備考</td></tr></table> デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法:【・図示 ・	施工部位	材質	形状	寸法	備考			(4) 造作用単板積層材 【・「単板積層材の日本農林規格」による ・「単板積層材の日本農林規格」以外による】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表面の品質</td><td>含水率</td><td>防虫処理</td></tr></table>	施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理	5 金属成形板張り (14.6.2)(14.6.3)	(1) 金属成形板の種別及び表面処理: (2) 長尺の場合における伸縮調整継手:																															
施工部位	材質	形状	寸法	備考																																											
施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理																																											
10 スタッド (7.2.8)	<table><tr><td>施工部位</td><td>材質</td><td>形状</td><td>寸法</td><td colspan="2">備考</td></tr></table>	施工部位	材質	形状	寸法	備考			(5) 合板等【・普通合板 ・構造用合板】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>厚さ品質、等級等</td><td>接着の程度</td><td>防虫・強度等</td></tr></table>	施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等	6 アルミニウム製笠木(14.7.2)(14.7.3) (表14.7.1)	(1) 構成部材による種類: (2) アルミニウム製笠木本体の材料の表面処理の種別及び複合皮膜の種類は次による。 種別:【・A－1 ・B－1】 種別をB－1とした場合の複合皮膜の種類:【・A1 ・A2】(JIS H 8602) (3) 固定金具の間隔及び固定方法:																															
施工部位	材質	形状	寸法	備考																																											
施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等																																											
11 柱底均しモルタル(7.2.9)	<table><tr><td>材料</td><td>厚さ</td><td>種別</td><td>備考</td></tr></table>	材料	厚さ	種別	備考		(6) パーティクルボード <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表表面の状態</td><td>曲げ強さ</td><td>接着剤</td><td>難燃性</td></tr></table>	施工箇所	厚さ	表表面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																																		
材料	厚さ	種別	備考																																												
施工箇所	厚さ	表表面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																																										
12 材料試験等 (7.2.10)	引張りを受ける材料の試験等: ・実施する【図示()】		(7) 構造用パネル <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>等級</td></tr></table>	施工箇所	厚さ	等級																																									
施工箇所	厚さ	等級																																													
13 仮組(7.3.10)	仮組の実施：【・実施する ・実施しない】																																														
14 溶接 (7.6.3)(7.6.4)(7.6.7)(7.6.12)	<table><tr><td>間先の形状</td><td>エンドタブの有・無及び適用箇所</td><td>スカラップの形状</td><td>溶接部の試験</td></tr></table>	間先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカラップの形状	溶接部の試験																																										
間先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカラップの形状	溶接部の試験																																												
15 塗料の種別 (7.8.4) (表18.3.1)	錆止め塗料の種別:【・A種 ・B種】																																														
16 耐火被覆の種類及び性能 (7.9.2)(7.9.3)	<table><tr><td>種類</td><td>所要性能及び摘要箇所</td></tr></table>	種類	所要性能及び摘要箇所																																												
種類	所要性能及び摘要箇所																																														
17 その他(7.11.2)(7.12.5)	(1) 軽量形鋼構造におけるボルトの接合方法: (2) 溶融垂鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理:【・プラスト処理 ・プラスト以外の特別な処理方法及びすべり耐力等の確認方法:																																														
8 コン クリ ート ブ ロ ッ ク ・ A L C ・ パ ネ ル ・ E C P 工 事	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)(8.2.4)(8.2.5)	2 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)	(1) 天然石 <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類</td><td>表面仕上げの種類</td></tr></table>	施工箇所	種類	表面仕上げの種類	3 防腐・防蟻・防虫処理 (12.3.1)(12.3.2)	1 ラス系下地 (15.2.4)	(1) 種類: ・通気工法(・二重下地 ・単層下地) ・直貼り工法(・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) ・外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法を行う場合()																																						
	施工箇所		種類	表面仕上げの種類																																											
	2 コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)～(8.3.4)		(2) テラゾ <table><tr><td>施工箇所</td><td>種石の種類、大きさ</td><td>形状及び寸法</td><td>表面仕上げの種類</td></tr></table>	施工箇所	種石の種類、大きさ	形状及び寸法	表面仕上げの種類	4 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	2 せっこうボード その他のボード下地(15.2.5)	2 既製目地材の適用及び形状: (3) 床の目地の設置及び工法: (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験:【・実施する ・実施しない】																																					
	施工箇所		種石の種類、大きさ	形状及び寸法	表面仕上げの種類																																										
	3 ALC/パネル (8.4.2)～(8.4.5) (表8.4.2)(表8.4.3)		(1) パネルの種類等 <table><tr><td>パネルの種類</td><td>単位荷重</td><td>厚さ</td><td>長さ</td><td>構法</td></tr></table>	パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法	(1) 公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。	3 モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)	(1) モルタル: ・現場調査材料 ・既調査材料()																																				
パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法																																											
4 押出成形セメント板(CEP) (8.5.2)～(8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)	<table><tr><td>パネルの種類</td><td>表面形状</td><td>厚さ</td><td>幅</td><td>取付工法</td></tr></table>	パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付工法	4 特殊部位の石張り(10.7.1)(10.7.2)(10.7.3)	<table><tr><td>施工箇所</td><td>工法</td><td>石材の厚さ</td><td>石裏面処理</td><td>裏打ち処理</td><td>備考</td></tr></table>	施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																																	
パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付工法																																											
施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																																										
5 鉄骨 工事	1 鋼材(7.2.1) (表7.2.1)	2 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)	(2) 設計用震度(K _H) <table><tr><td>設計用震度</td><td>帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの 接合部材)の性能</td></tr><tr><td>設計用水平震度(K_H)</td><td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。</td></tr><tr><td>※1.0・</td><td></td></tr><tr><td>設計用鉛直震度(K_V)</td><td></td></tr><tr><td>※0.5・</td><td></td></tr></table>	設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの 接合部材)の性能	設計用水平震度(K _H)	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。	※1.0・		設計用鉛直震度(K _V)		※0.5・		3 防腐・防蟻・防虫処理 (12.3.1)(12.3.2)	1 ラス系下地 (15.2.4)	(1) 種類: ・通気工法(・二重下地 ・単層下地) ・直貼り工法(・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) ・外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法を行う場合()																															
設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの 接合部材)の性能																																														
設計用水平震度(K _H)	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。																																														
※1.0・																																															
設計用鉛直震度(K _V)																																															
※0.5・																																															
6 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)(7.4.7)	<table><tr><td>種類</td><td>径</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>備考</td></tr></table> すべり係数試験：【・実施する ・実施しない】 試験の方法、試験片の摩擦面の処理:【・図示 ・	種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考	2 土壌の防蟻処理	(2) 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・1/100 ・1/200 ・	4 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	2 せっこうボード その他のボード下地(15.2.5)	2 既製目地材の適用及び形状: (3) 床の目地の設置及び工法: (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験:【・実施する ・実施しない】																																			
種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考																																										
7 普通ボルト (7.3.2)	<table><tr><td>径</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td colspan="2">備考</td></tr></table>	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考				(3) タイルの見本焼き:【・行う ・行わない】	3 モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)	(1) モルタル: ・現場調査材料 ・既調査材料()																																			
径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考																																											
8 アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)(7.10.3) (表7.10.1)	・構造用アンカーボルト <table><tr><td>種類</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>形状及び寸法</td><td>保持及び埋込み工法</td></tr></table> ・建方用アンカーボルト <table><tr><td>種類</td><td>縁端距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>形状及び寸法</td><td>保持及び埋込み工法</td></tr></table>	種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法		種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法		(4) 造作用集成材 【・「集成材の日本農林規格」による ・「集成材の日本農林規格」以外による】 【・造作用集成材 ・化粧ばり造作用集成材 ・化粧ばり構造用集成材 ・	4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.3)(14.4.4)	屋外の軽量鉄骨天井下地 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 <table><tr><td>野縁の間隔</td><td>備考</td></tr></table> ・補強方法等(図示による)	野縁の間隔	備考																											
種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法																																										
種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法																																										
野縁の間隔	備考																																														
9 デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	<table><tr><td>施工部位</td><td>材質</td><td>形状</td><td>寸法</td><td colspan="2">備考</td></tr></table> デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法:【・図示 ・	施工部位	材質	形状	寸法	備考			(5) 合板等【・普通合板 ・構造用合板】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>厚さ品質、等級等</td><td>接着の程度</td><td>防虫・強度等</td></tr></table>	施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等	5 金属成形板張り (14.6.2)(14.6.3)	(1) 金属成形板の種別及び表面処理: (2) 長尺の場合における伸縮調整継手:																															
施工部位	材質	形状	寸法	備考																																											
施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等																																											
10 スタッド (7.2.8)	<table><tr><td>施工部位</td><td>材質</td><td>形状</td><td>寸法</td><td colspan="2">備考</td></tr></table>	施工部位	材質	形状	寸法	備考			(6) パーティクルボード <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表表面の状態</td><td>曲げ強さ</td><td>接着剤</td><td>難燃性</td></tr></table>	施工箇所	厚さ	表表面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																																
施工部位	材質	形状	寸法	備考																																											
施工箇所	厚さ	表表面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																																										
11 柱底均しモルタル(7.2.9)	<table><tr><td>材料</td><td>厚さ</td><td>種別</td><td>備考</td></tr></table>	材料	厚さ	種別	備考		(7) 構造用パネル <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>等級</td></tr></table>	施工箇所	厚さ	等級																																					
材料	厚さ	種別	備考																																												
施工箇所	厚さ	等級																																													
12 材料試験等 (7.2.10)	引張りを受ける材料の試験等: ・実施する【図示()】																																														
13 仮組(7.3.10)	仮組の実施：【・実施する ・実施しない】																																														
14 溶接 (7.6.3)(7.6.4)(7.6.7)(7.6.12)	<table><tr><td>間先の形状</td><td>エンドタブの有・無及び適用箇所</td><td>スカラップの形状</td><td>溶接部の試験</td></tr></table>	間先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカラップの形状	溶接部の試験																																										
間先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカラップの形状	溶接部の試験																																												
15 塗料の種別 (7.8.4) (表18.3.1)	錆止め塗料の種別:【・A種 ・B種】																																														
16 耐火被覆の種類及び性能 (7.9.2)(7.9.3)	<table><tr><td>種類</td><td>所要性能及び摘要箇所</td></tr></table>	種類	所要性能及び摘要箇所																																												
種類	所要性能及び摘要箇所																																														
17 その他(7.11.2)(7.12.5)	(1) 軽量形鋼構造におけるボルトの接合方法: (2) 溶融垂鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理:【・プラスト処理 ・プラスト以外の特別な処理方法及びすべり耐力等の確認方法:																																														
8 コン クリ ート ブ ロ ッ ク ・ A L C ・ パ ネ ル ・ E C P 工 事	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)(8.2.4)(8.2.5)	2 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)	(1) 天然石 <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類</td><td>表面仕上げの種類</td></tr></table>	施工箇所	種類	表面仕上げの種類	3 防腐・防蟻・防虫処理 (12.3.1)(12.3.2)	1 ラス系下地 (15.2.4)	(1) 種類: ・通気工法(・二重下地 ・単層下地) ・直貼り工法(・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地) ・外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法を行う場合()																																						
	施工箇所		種類	表面仕上げの種類																																											
	2 コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)～(8.3.4)		(2) テラゾ <table><tr><td>施工箇所</td><td>種石の種類、大きさ</td><td>形状及び寸法</td><td>表面仕上げの種類</td></tr></table>	施工箇所	種石の種類、大きさ	形状及び寸法	表面仕上げの種類	4 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	2 せっこうボード その他のボード下地(15.2.5)	2 既製目地材の適用及び形状: (3) 床の目地の設置及び工法: (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験:【・実施する ・実施しない】																																					
	施工箇所		種石の種類、大きさ	形状及び寸法	表面仕上げの種類																																										
	3 ALC/パネル (8.4.2)～(8.4.5) (表8.4.2)(表8.4.3)		(1) パネルの種類等 <table><tr><td>パネルの種類</td><td>単位荷重</td><td>厚さ</td><td>長さ</td><td>構法</td></tr></table>	パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法	(1) 公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。	3 モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)	(1) モルタル: ・現場調査材料 ・既調査材料()																																				
パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法																																											
4 押出成形セメント板(CEP) (8.5.2)～(8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)	<table><tr><td>パネルの種類</td><td>表面形状</td><td>厚さ</td><td>幅</td></tr></table>	パネルの種類	表面形状	厚さ	幅																																										
パネルの種類	表面形状	厚さ	幅																																												

15
左官工事
へ続きへ

4
仕上塗材仕上げ
(15.6.2)
(表15.6.1)

種類	呼び名	仕上げの形状・工法等

5
マステック塗料塗り
(表15.7.2)

工程	種別	塗料その他

6
せっこうプラスター塗り
(15.8.2)(15.8.3)

(1) 下塗り及び中塗りに用いるせっこうプラスター
・既調合プラスター(下塗り用) ・現場調合プラスター(下塗り用)

(2) 上塗り: ・既調合プラスター(上塗り用) ・しっくい塗り

7
しっくい塗り
(15.10.2)

(1) しっくい: ・現場調合材料 ・既調合材料()

8
ロックウール吹付け
(15.12.3)

仕上げ厚さ:

16
建具工事

1
防火戸等
(16.1.3)(16.1.6)

(1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。
(2) 防犯建物部品の適用は、図示による。

2
見本の製作等
(16.1.4)

(1) 建具見本の製作:【 ・ 行う ・ 行わない】
(2) 特殊な建具の仮組:【 ・ 実施する ・ 実施しない】

3
アルミニウム製建具
(16.2.2)
(16.2.4)
(16.2.5)
(表14.2.1)
(表16.2.1)

(1) 建具の性能等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・ 防音ドアセット			
・ 断熱ドアセット			
・ 耐震ドアセット			

(3) 外部に面する建具の表面処理の種別及び複合皮膜の種類
種別: B-1
複合皮膜の種類:【 ・ A1 ・ A2】(JIS H 8602)

(4) 結露水の処理方法:

(5) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。

4
樹脂製建具
(16.3.2)
(16.3.3)
(16.3.4)
(16.3.5)
(表16.3.1)
(表16.3.2)
(表16.3.3)
(表16.3.4)

(1) 建具の性能等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・ 防音ドアセット			
・ 断熱ドアセット			

(3) 表面色:

(4) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。

(5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・三重ガラス ・

(6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級:【 ・

5
鋼製建具
(16.4.1)(16.4.2)

(1) 建具の性能等

施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・ 簡易気密型ドアセット			

(3) 鋼板の種類:【 ・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】

(4) 重量がある扉等
・ 24 その他 1重量がある扉等 による。

6
鋼製軽量建具
(16.5.2)
(16.5.3)
(表16.2.1)

(1) 建具の性能等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・ 簡易気密型ドアセット			

(3) ビニル被覆鋼板:【 ・ 使用する ・ 使用しない】

(4) カラー鋼板の適用:【 ・ 使用する ・ 使用しない】

7
ステンレス製建具
(16.6.2)(16.6.3)

(1) 建具の性能等

施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)

(2) 表面仕上げ:【※HLL ・ バイブレーション ・ 鏡面 ・ 】

8
木製建具
(16.7.2)
(16.7.4)

(1) かまち戸
かまちの樹種: 、鏡板の樹種:

(2) ふすま
上張りの種類: 、縁の仕上げ:

9
建具用金物
(16.8.2)(16.8.3)
(表16.8.1)

(1) 建具用金物の材質、形状及び寸法

形式	金物の種類	見え掛け部の材質	備考

(2) 建具用金物の取付け位置等は、図示による。

10
鍵
(16.8.4)

(1) マスターキー:【 ・ 製作する ・ 製作しない】
(2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまともて納品する。

11
自動ドア開閉装置
(16.9.3)
(表16.9.4)

(1) 戸の開閉方法:【 ・ 引戸 ・ 開き戸 ・ 折戸】

(2) センサーの種類:

12
シャッター
(16.11.2)
(16.12.2)
(16.12.4)

(1) シャッターの種類:【 ・ 重量() ・ 軽量】

(2) 耐風圧強度:

(3) 開閉機能:【 ・ 手動式 ・ 電動式】

(4) 重量シャッターの場合のシャッターケース:【 ・ 設ける ・ 設けない】

(5) スラットの形式:【 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形】

13
オーバーヘッドドア
(16.13.2)

(1) 耐風圧性能の区分:

(2) 開閉機能:【※バラン式 ・ チェーン式 ・ 電動式】

(3) 収納形式による区分:

14
ガラス
(16.14.2)
(16.14.4)
(16.14.5)

(1) ガラスの種類及び厚さ等

ガラスの種類	厚さ等	備考

(2) ガラス留め材

建具の種類	材種

(3) 熱線反射ガラスの映像調整:

(4) ガラスブロックの材料及び工法

表面形状呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー

17
カーテンウォール工事

1
カーテンウォール
(17.2.2)
(17.2.3)
(17.2.6)
(17.3.2)
(17.3.3)
(17.3.6)

(1) カーテンウォールの種類:【 ・ メタル ・ PC】

(2) 性能

耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性

(3) 材料の種類

金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	構造ガasket

(4) 先付け材料:【 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ 】
仕様等については、図示による。

(5) メタルカーテンウォール製品の見え掛け部分の仕上げ:

(6) PCカーテンウォールの仕上げ:

(7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け:

18
塗装工事

1
塗装の種類及び種別
(18.1.7)
(18.2.2)
(18.13.2)

塗装面	素地ごしらえ工程の種別	塗料の名称・種類	塗装工程の種別	施工箇所

防火材料の指定【 ・ 有 ・ 無】

2
保証

(1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。
(2) 保証期間は、工事完成後【 】年間とする。

19
内装工事

1
ビニル床シート等
(19.2.2)
(19.2.3)

(1) ビニル床シートの材料及び工法

施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ	熱溶接工法の適用
				・ 有り ・ 無し
				・ 有り ・ 無し

(2) ビニル床タイル、ゴム床タイル

施工箇所	種類(・ 形状)	厚さ等

(3) 特殊機能床材の適用:
【 ・ 帯電防止床シート又は床タイル ・ 視覚障害者用床タイル ・ 耐動荷重性床シート ・ 防滑性床シート又は床タイル】

施工箇所	種類(・ 形状)	厚さ等

2
カーベット敷き
(19.3.2)
(19.3.3)
(表19.3.1)
(表19.3.2)

施工箇所	カーベットの種類・種別	厚さ	パイル形状等	工法
				・ グリップバー ・ 全面接着
				・ グリップバー ・ 全面接着

(1) 帯電性の適用【 ・ 有り ・ 無し】

(2) 見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。

3
合成樹脂塗床
(19.4.3)

エポキシ樹脂系塗床の仕上げの種類:

4
フローリング張り
(19.5.2)(19.5.3)

施工箇所	工法	品名	備考(樹種、種別等)

20
ユニット及びその他工事

1
フリーアクセスフロア
(20.2.2)

施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗

2
可動間仕切
(20.2.3)

施工箇所	構造形式	構成基材	遮音性	表面仕上げ	建具寸法等

3
移動間仕切
(20.2.4)

施工箇所	種類	表面材	操作方法	遮音性	備考

あと施工アンカーの使用:【 ・ 有り ・ 無し】 材質、寸法等は図示による。

表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質

4
トイレブース
(20.2.5)

表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質

5
手すり
(20.2.6)

(1) 手すり
【 ・ SUS304 (表面処理 ・ ※HL程度)
・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
(※標準仕様書表14. 2. 2による種別 (・ 種))
・

材種	形状	寸法	備考

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅	施工箇所

6
階段滑り止め
(20.2.6)

材種	形状	寸法	備考

7
ブラインド
(20.2.14)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅	施工箇所

8
ロールスクリーン
(20.2.15)

操作方式	幅及び高さ	材種	品質等	施工箇所

9
カーテン
(20.2.16)

形式	開閉操作	きれ地の種別等	施工箇所	備考

10
間知石及びコンクリート間知ブロック積み
(20.4.2)
(20.4.3)

(1) 間知石

材種	目塗り	目地の材種・厚さ等	施工箇所
			図示【A- 】

(2) コンクリート間知ブロックの適用がある場合の種類及び質量区分 :【 ・

11
くつふきマット

(1) くつふきマットの材種:【 ・ 塩化ビニル又はゴム製
・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼(SUS304)製】

(2) 受け枠の材種:
【 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼(SUS304)製】

名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考
流し台				
コンロ台				

12
流し台ユニット

名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考
流し台				
コンロ台				

21
排水工事

1
排水管
(21.2.1)

材種	管の種類	呼び径	備考

2
側塊、排水枡等
(21.2.1)

(1) 側塊

形状	寸法	備考

(2) 排水枡

種類	適用荷重	備考

22
舗装工事

1
路床(22.2.2)
(22.2.3)(22.2.5)
(表22.2.1)

(1) 路床の種類等

層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験

(2) ジオテキスタイルの適用及び品質:

2
路盤
(22.3.2)(22.3.5)

(1) 路盤の厚さ:【

(2) 締固め度試験:【

3
アスファルト舗装
(22.4.2)
(22.4.4)
(22.4.5)

(1) 構成及び厚さ:【 ・ 図示による(A-) ・

(2) 加熱アスファルト混合物等の種類:
【 ・ 密粒度アスファルト混合物(13)
・ 再粒度アスファルト混合物(13)】

(3) シールコートの適用:【 ・ 有り ・ 無し】

(1) 構成及び厚さ:【 ・ 図示による(A-) ・

4
コンクリート舗装
(22.5.2)

(1) 構成及び厚さ:【 ・ 図示による(A-) ・

(2) 種類:【 ・ 加熱系() ・ 常温系()】

(3) 添加する着色骨材又は自然石
【 ・ 図示による(A-) ・

(4) その他【 ・

構成及び厚さ:【 ・ 図示による(A-) ・

5
カラー舗装
(22.6.2)

(1) 構成及び厚さ:【 ・ 図示による(A-) ・

(2) 種類:【 ・ 加熱系() ・ 常温系()】

(3) 添加する着色骨材又は自然石
【 ・ 図示による(A-) ・

(4) その他【 ・

構成及び厚さ:【 ・ 図示による(A-) ・

6
透水性アスファルト舗装
(22.7.2)

(1) ブロック系舗装の適用:【 ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装】

(2) 種類及び寸法等:【 ・ 図示による(A-) ・

(3) ジオテキスタイルの適用及び品質:【

7
ブロック系舗装
(22.8.1)

(1) ブロック系舗装の適用:【 ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装】

(2) 種類及び寸法等:【 ・ 図示による(A-) ・

(3) ジオテキスタイルの適用及び品質:【

23
植栽及び屋上緑化工事

1
植栽地の確認
(23.1.3)
(23.2.2)
(23.2.3)

(1) 植栽地の確認

(2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。

(3) 土壌改良材:

(4) 植込み用土:

2
植樹
(23.3.2)
-(23.3.4)
(23.3.6)

(1) 種類等

樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考
				整備範囲は図示による

(2) 新植樹木の枯損償の期間:【※1年 ・ ()年】

(3) 移植樹木の枯損処理を行う期間:【※1年 ・ ()年】

(1) 芝の種類:

(2) 種子の種類及び量:

(3) 地被類

樹種	芽立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数

土壌層の厚さ
排水層の厚さ
樹木の樹種、寸法、数量
支柱の形式
かん水装置

※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。
※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。

3
芝張り等
(23.4.2)

(1) 芝の種類:

(2) 種子の種類及び量:

(3) 地被類

樹種	芽立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数

土壌層の厚さ
排水層の厚さ
樹木の樹種、寸法、数量
支柱の形式
かん水装置

※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。
※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。

4
屋上緑化
(23.5.2)(23.5.3)
(23.5.4)

(1) 種類等

樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考
				整備範囲は図示による

(2) 新植樹木の枯損償の期間:【※1年 ・ ()年】

(3) 移植樹木の枯損処理を行う期間:【※1年 ・ ()年】

(1) 芝の種類:

(2) 種子の種類及び量:

(3) 地被類

樹種	芽立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数

土壌層の厚さ
排水層の厚さ
樹木の樹種、寸法、数量
支柱の形式
かん水装置

※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。
※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。

24
その他

1
重量がある扉等

・ 図示による【 ・ (A-) ・

・ 施工図及び施工計画書(工場製作要領書・工事現場施工要領書を含む)の記載事項は、標準仕様書16章建具工事に加え、標準仕様書7章鉄骨工事に準じることとし、扉の取り付け方法、溶接、塗装計画、ボルト等接合作業手順等を考慮しながら品質計画を作成する。施工図及び施工計画書を工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出し承諾を得るものとする。

工事名称

東村産業支援住宅建築工事

工事年度

令和 8 年度

発注機関

東村役場 農林水産課

図面名称

建築工事特記仕様書(その4)

摘要

図面番号

A-04

検印

管理建築士 設 計 製 図

名称

有 限 会 社 結 設 計

資格者氏名

又 吉 大 輔 第 369343 号

設計者

登録番号 第 123-3734 号

所在地

名護市宮里三丁目29番15号
TEL:0980-52-0700 / FAX:0980-52-0705

申請場所：沖縄県東村字有銘499番2

至：源河

至：東村

至：嘉陽



■ 広域案内図

NON SCALE

見取図	NON SCALE
-----	-----------



工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	案 内 図
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	—
摘 要		図面番号	A - 0 5
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
	登 録 番 号	第123-3734号	
	所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

建築設計概要書

物件名称	東村産業支援住宅新築工事				
地名地番	沖縄県東村字有銘499番2				
工 期	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日				
防火指定	無し				
高度地区	無し				
日影規制	無し 測定高さ： 1.50 m 4.00 m				
用途地域	都市計画区域外 無指定				
建ぺい率	60 %				
容積率	200 %				
建築規模	地下： 0 階 地上： 1 階 塔屋： 階				
構造規模	補強コンクリートブロック造				
主要用途	専用住宅				
耐火構造	その他				
道路状況	既設道路幅員： - m 計画道路幅員： 無し m				
最終敷地面積	2,015.45 m ² 609.67 坪				
建築面積	345.60 m ² 104.54 坪 115.20 m ² (1棟当り) 34.84 坪				
基準法延床面積	306.18 m ² 92.61 坪 102.06 m ² (1棟当り) 30.87 坪				
容積対象床面積	306.18 m ² 92.61 坪 102.06 m ² (1棟当り) 30.87 坪				
駐車場面積	m ² - 坪				
建ぺい率最大可能建築面積	- m ² - 坪				
容積率対象最大可能床面積	- m ² - 坪				
建ぺい率	17.14 %				
容積率	15.19 %				
	残建築面積： - m ² - 坪				
	残床面積： - m ² - 坪				

住戸別面積表

	床面積		間取り	戸 数
A 棟	102.06 m ²	30.87 坪	2DK	1 棟
B 棟	102.06 m ²	30.87 坪	2DK	1 棟
C 棟	102.06 m ²	30.87 坪	2DK	1 棟
			戸数合計	3 棟

建築面積一覧表

A 棟	=	115.20
B 棟	=	115.20
C 棟	=	115.20
	合 計	345.60 m ²

面積一覧表 (A棟+B棟+C棟)

棟別	専有面積・A (容積含む)	共用面積・B (容積含む)	容積対象面積合計 (A + B)	建築基準法床面積合計 (A + B)
A 棟	102.06 m ²	m ²	102.06 m ²	102.06 m ²
B 棟	102.06 m ²	m ²	102.06 m ²	102.06 m ²
C 棟	102.06 m ²	m ²	102.06 m ²	102.06 m ²
合 計	306.18 m ²	m ²	306.18 m ²	306.18 m ²
	92.61 坪	坪	92.61 坪	92.61 坪

A棟・面積一覧表

階数	専有面積・A (容積含む)	共用面積・B (容積含む)	容積対象面積合計 (A + B)	建築基準法床面積合計 (A + B)
1 階	102.06 m ²	m ²	102.06 m ²	102.06 m ²
合 計	102.06 m ²	m ²	102.06 m ²	102.06 m ²
	30.87 坪	坪	30.87 坪	30.87 坪

B棟・面積一覧表

階数	専有面積・A (容積含む)	共用面積・B (容積含む)	容積対象面積合計 (A + B)	建築基準法床面積合計 (A + B)
1 階	102.06 m ²	m ²	102.06 m ²	102.06 m ²
合 計	102.06 m ²	m ²	102.06 m ²	102.06 m ²
	30.87 坪	坪	30.87 坪	30.87 坪

C棟・面積一覧表

階数	専有面積・A (容積含む)	共用面積・B (容積含む)	容積対象面積合計 (A + B)	建築基準法床面積合計 (A + B)
1 階	102.06 m ²	m ²	102.06 m ²	102.06 m ²
合 計	102.06 m ²	m ²	102.06 m ²	102.06 m ²
	30.87 坪	坪	30.87 坪	30.87 坪

住宅棟面積一覧表 (A棟+B棟+C棟)

タイプ別	専有面積・A (容積含む)	共用面積・B (容積含む)	容積対象面積合計 (A + B)	建築基準法床面積合計 (A + B)
A 棟	59.22 m ²	m ²	59.22 m ²	59.22 m ²
B 棟	59.22 m ²	m ²	59.22 m ²	59.22 m ²
C 棟	59.22 m ²	m ²	59.22 m ²	59.22 m ²
合 計	177.66 m ²	m ²	177.66 m ²	177.66 m ²
	53.74 坪	坪	53.74 坪	53.74 坪

作業場棟面積一覧表 (A棟+B棟+C棟)

タイプ別	専有面積・A (容積含む)	共用面積・B (容積含む)	容積対象面積合計 (A + B)	建築基準法床面積合計 (A + B)
A 棟	42.84 m ²	m ²	42.84 m ²	42.84 m ²
B 棟	42.84 m ²	m ²	42.84 m ²	42.84 m ²
C 棟	42.84 m ²	m ²	42.84 m ²	42.84 m ²
合 計	128.52 m ²	m ²	128.52 m ²	128.52 m ²
	38.87 坪	坪	38.87 坪	38.87 坪

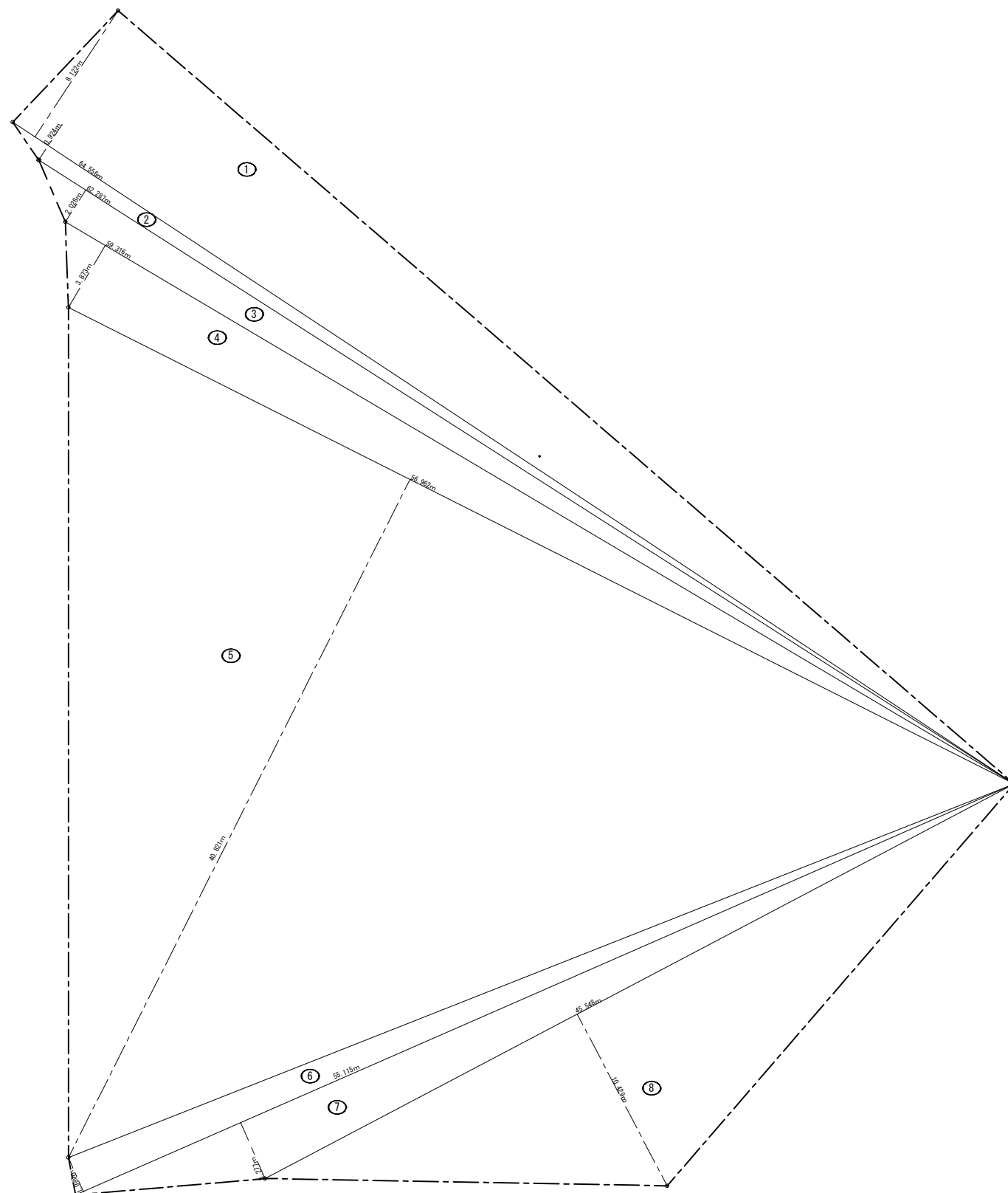
A棟・住宅棟面積一覧 ※各棟同じ

階数	専有面積・A (容積含む)	共用面積・B (容積含む)	容積対象面積合計 (A + B)	建築基準法床面積合計 (A + B)
1 階	59.22 m ²	m ²	59.22 m ²	59.22 m ²
合 計	59.22 m ²	m ²	59.22 m ²	59.22 m ²
	17.91 坪	坪	17.91 坪	17.91 坪

A棟・作業場棟面積一覧表 ※各棟同じ

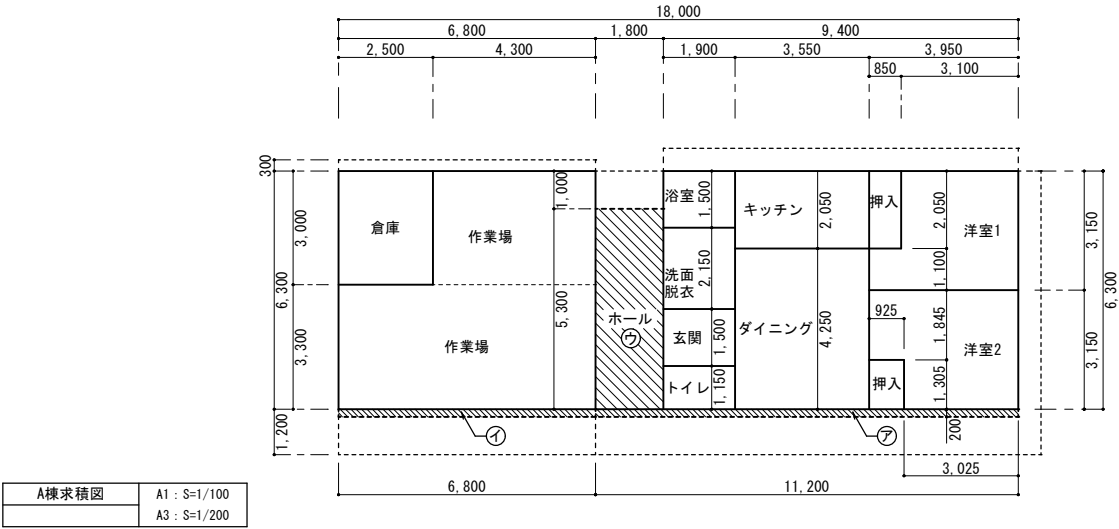
階数	専有面積・A (容積含む)	共用面積・B (容積含む)	容積対象面積合計 (A + B)	建築基準法床面積合計 (A + B)
1 階	42.84 m ²	m ²	42.84 m ²	42.84 m ²
合 計	42.84 m ²	m ²	42.84 m ²	42.84 m ²
	12.96 坪	坪	12.96 坪	12.96 坪

工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	建 築 概 要	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	－	
摘 要				図面番号	A－08	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計
					資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号
					登 録 番 号	第123-3734号
					所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号



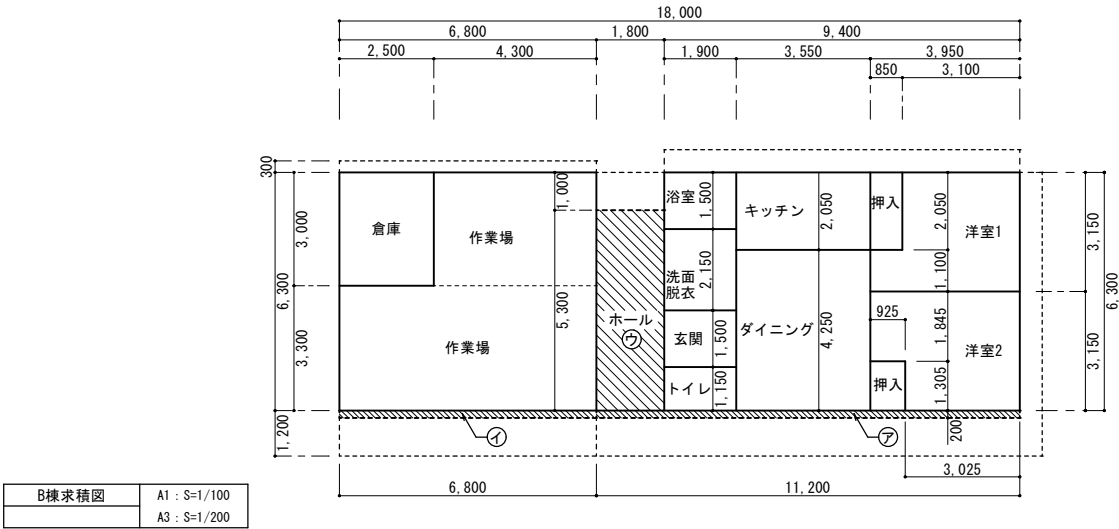
敷地求積図	A1 : S=1/150
	A3 : S=1/300

工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	敷 地 求 積 図	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1＝1：150 A3＝1：300	
摘 要				図面番号	A－O 9	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計
					資格者氏名	又吉 大輔 第369342号
					登録番号	第123-3734号
					所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号

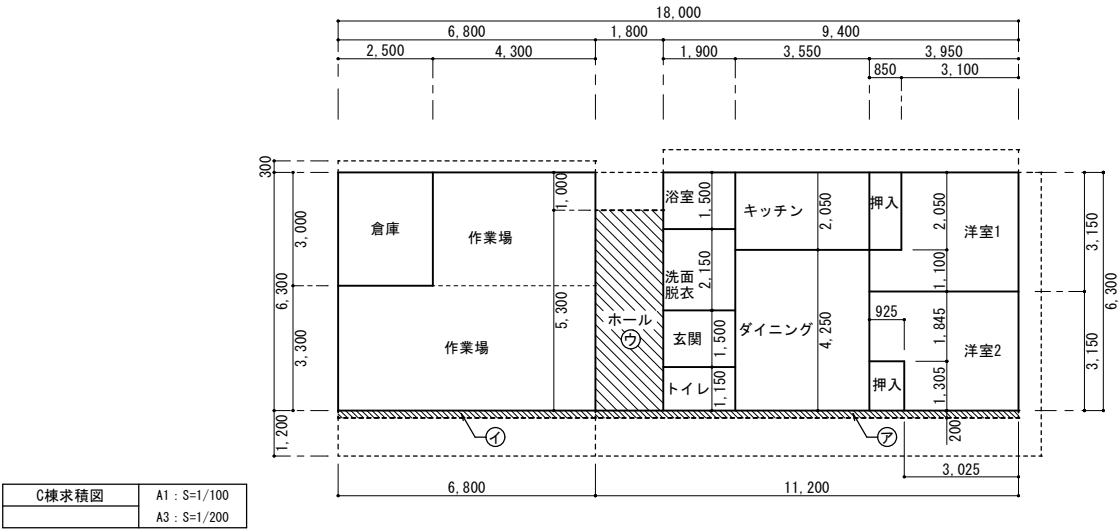


A 棟 1階床面積算定表 (専有面積・A) 容積含む					
棟名称	室名称	計算式			小計
住宅棟	玄関	1.900	×	1.500	= 2.8500
	ダイニング	3.550	×	4.250	= 15.0875
	キッチン	3.550	×	2.050	= 7.2775
	洋室1	3.100	×	3.150	= 9.7650
		0.850	×	1.100	= 0.9350
	洋室2	3.025	×	3.150	= 9.5287
		0.925	×	1.845	= 1.7066
	押入	0.850	×	2.050	= 1.7425
		0.925	×	1.305	= 1.2071
	洗面脱衣	1.900	×	2.150	= 4.0850
	浴室	1.900	×	1.500	= 2.8500
	トイレ	1.900	×	1.150	= 2.1850
	作業場	6.800	×	3.300	= 22.4400
作業場棟	作業場	4.300	×	3.000	= 12.9000
	倉庫	2.500	×	3.000	= 7.5000
					102.0600 m2
床面積合計					102.06 m2

A 棟 建築面積求積表 ※各タイプ同じ					
	1階床面積より		=		102.06
ア	11.200	×	0.200	=	2.24
イ	6.800	×	0.200	=	1.36
ウ	1.800	×	5.300	=	9.54
合 計					115.20 m2

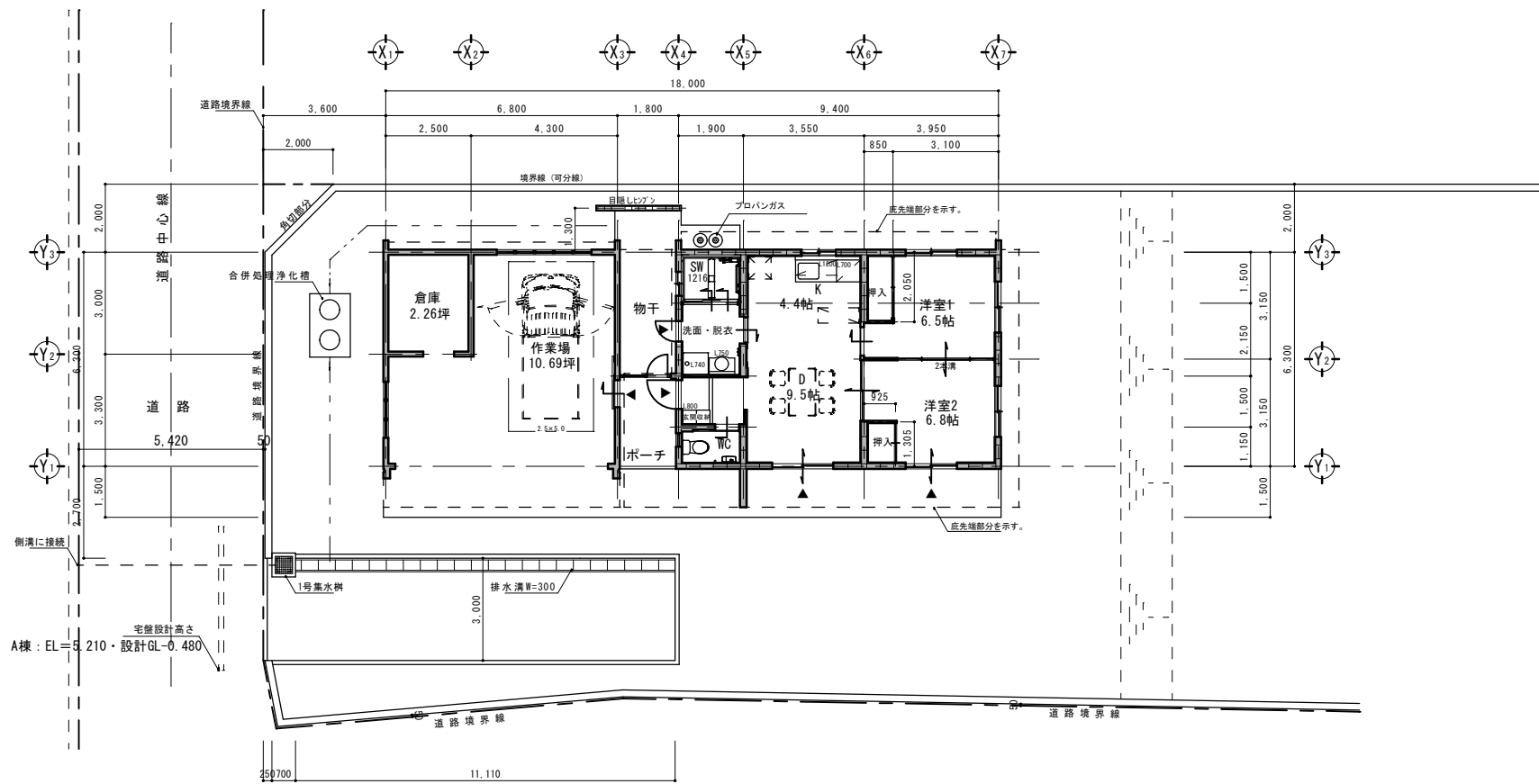


B 棟 1階床面積算定表 (専有面積・A) 容積含む					
棟名称	室名称	計算式			小計
住宅棟		A棟住宅棟・専有面積より			59.2199
					59.2200 m2
作業場棟		A棟作業場棟専有面積より			42.8400
					42.8400 m2
					102.0600 m2
床面積合計					102.06 m2



C 棟 1階床面積算定表 (専有面積・A) 容積含む					
棟名称	室名称	計算式			小計
住宅棟		A棟住宅棟・専有面積より			59.2200
					59.2200 m2
作業場棟		A棟作業場棟専有面積より			42.8400
					42.8400 m2
					102.0600 m2
床面積合計					102.06 m2

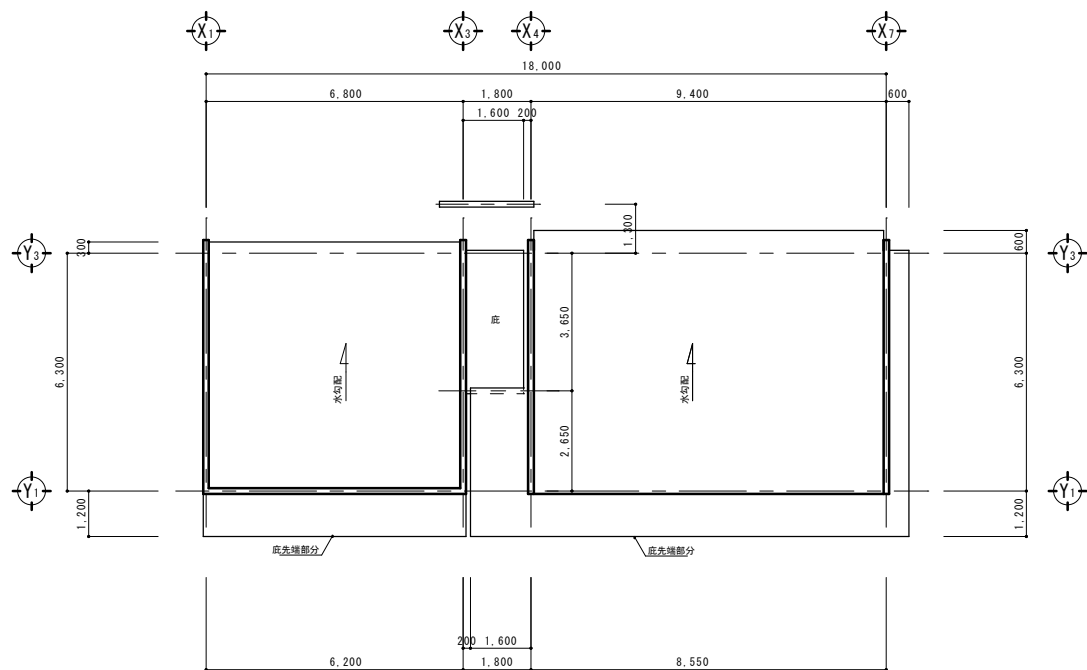
工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	面 積 求 積 図	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1=1：100 A3=1：200	
摘 要				図面番号	A - 0 1	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
				登 録 番 号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	



設計BM高さ EL=5.690

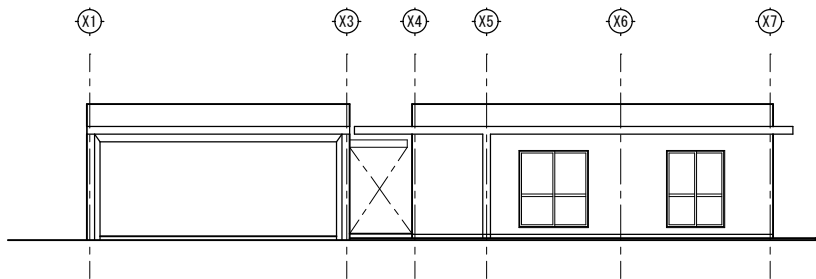
A 棟 平 面 図 S=1:100

住 宅 : 59.22㎡ (17.9坪)
作 業 場 : 42.84㎡ (12.9坪)
床 面 積 : 102.06㎡ (30.9坪)



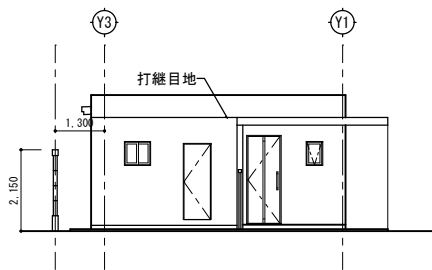
屋 根 伏 図 S=1:100

工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	A 棟 平 面 図 ・ 屋 根 伏 図	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1=1:100 A3=1:200	
摘 要				図面番号	A - 1 1	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又 古 大 輔 第369342号	
				登 録 番 号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	



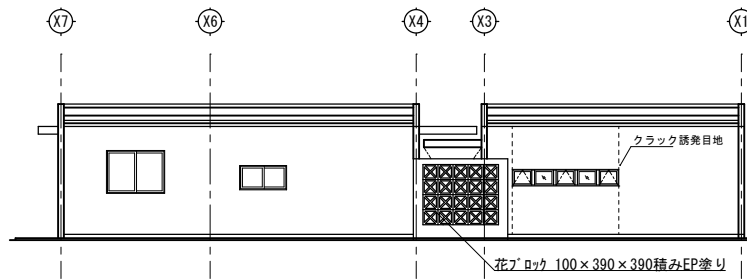
1、立面図
【 A 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



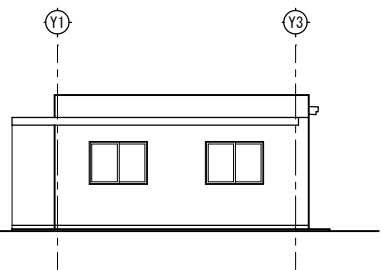
2、立面図
【 A 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



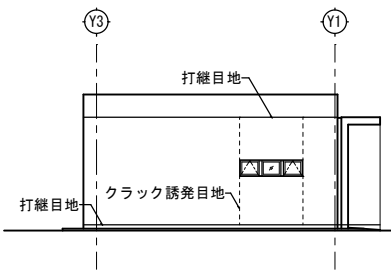
3、立面図
【 A 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



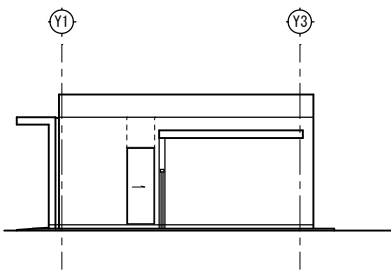
4、立面図
【 A 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



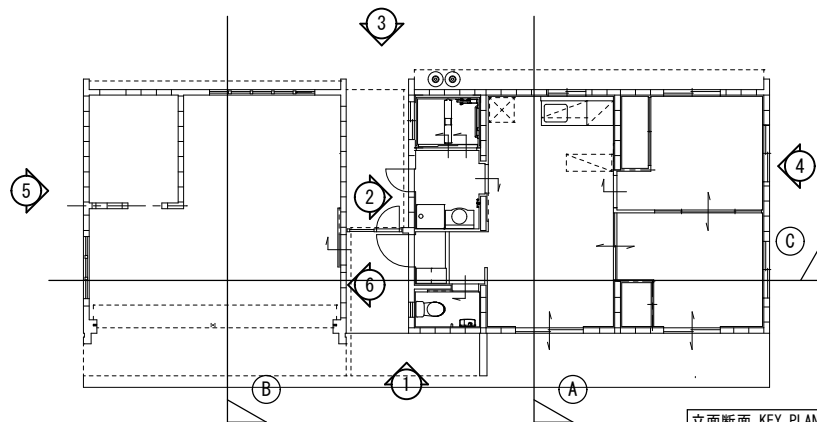
5、立面図
【 A 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



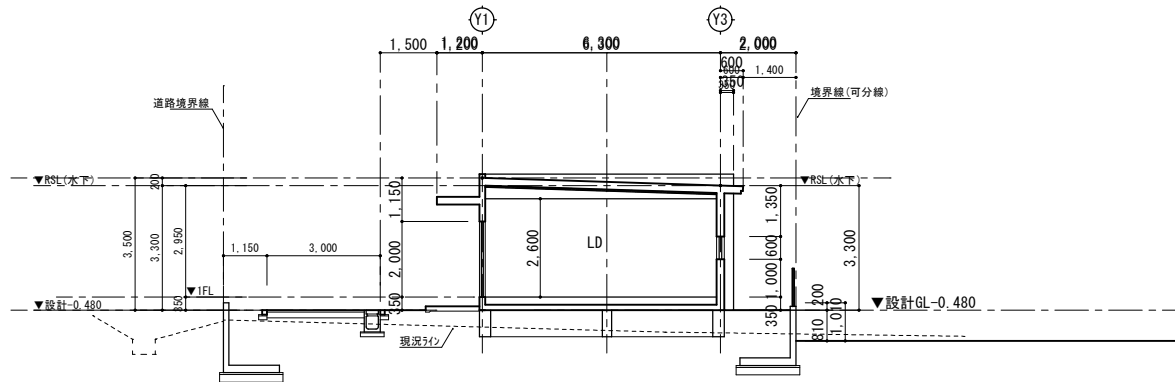
6、立面図
【 A 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



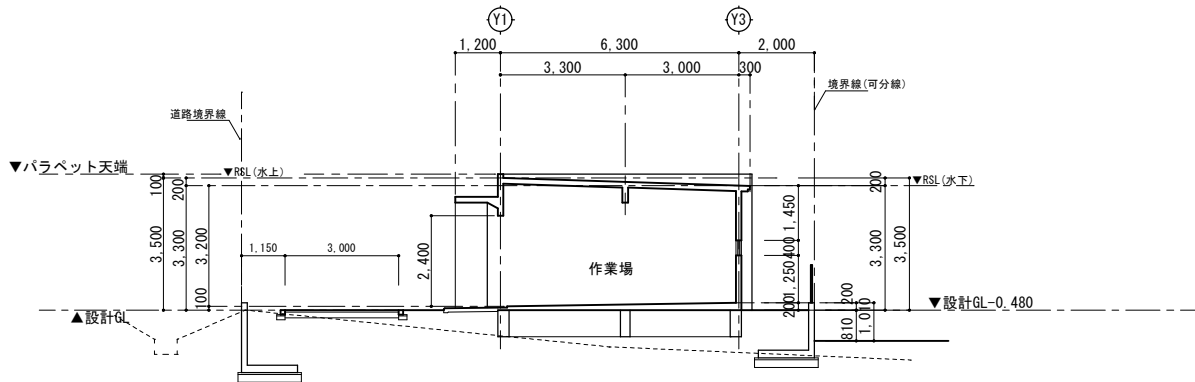
立面断面 KEY PLAN
【 A 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



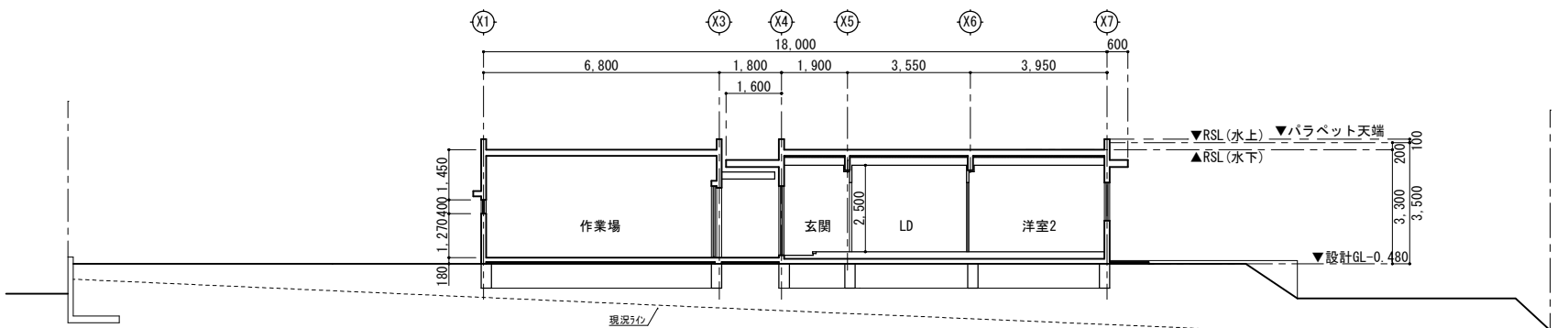
A、断面図
【 A 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



B、断面図
【 A 棟 】

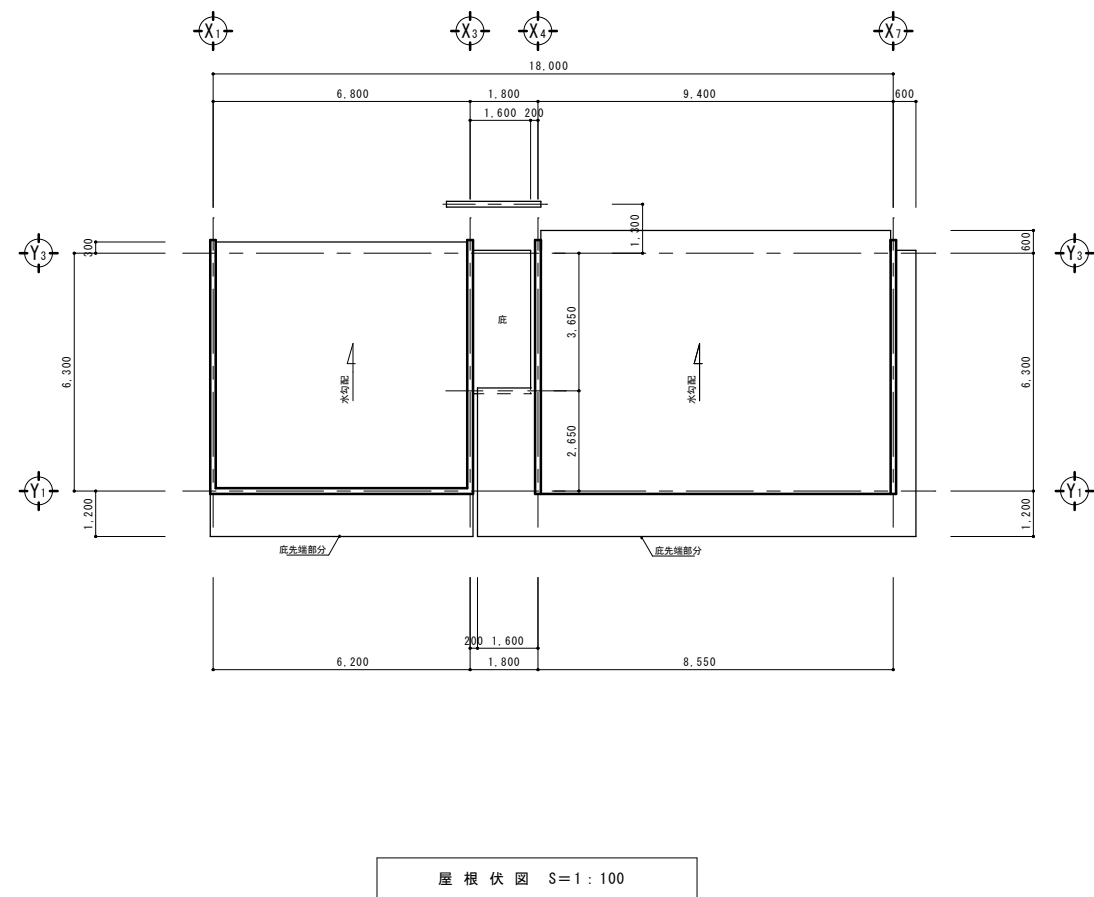
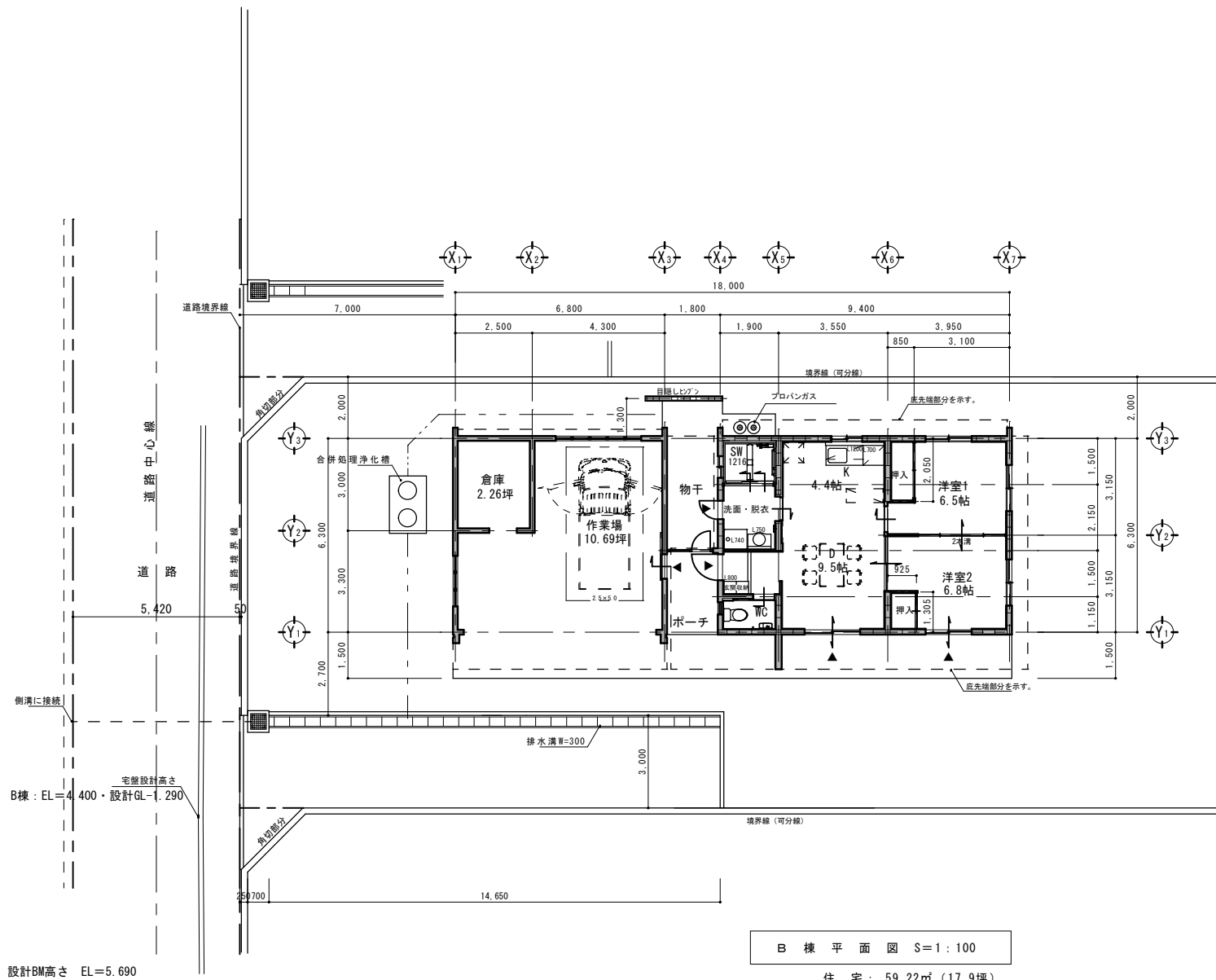
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



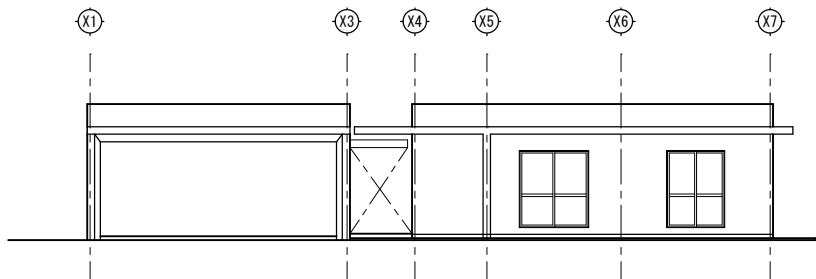
C、断面図
【 A 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200

工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	A 棟 立面図・A 棟 断面図
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1:100 A3=1:200
摘 要		図面番号	A-12
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
	登 録 番 号	第123-3734号	
	所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

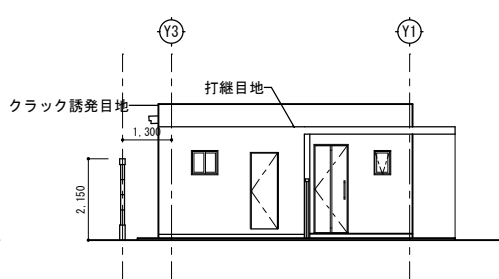


工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	B棟平面図・屋根伏図	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1=1:100 A3=1:200	
摘 要				図面番号	A-13	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又吉 大輔 第369342号	
				登録番号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	



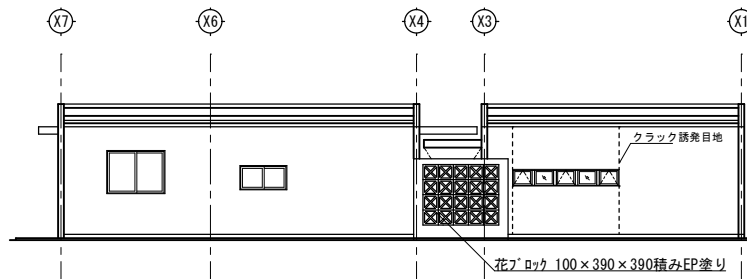
1、立面図
【 B 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



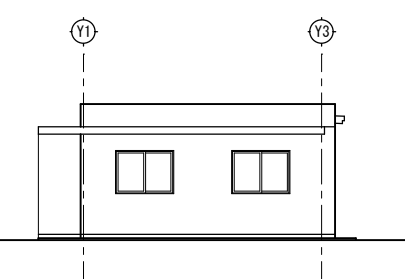
2、立面図
【 B 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



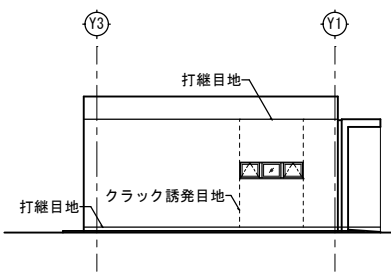
3、立面図
【 B 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



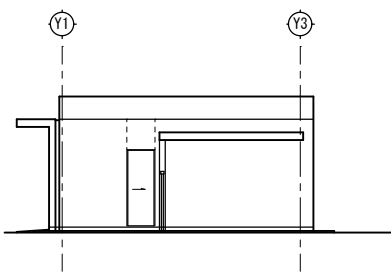
4、立面図
【 B 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



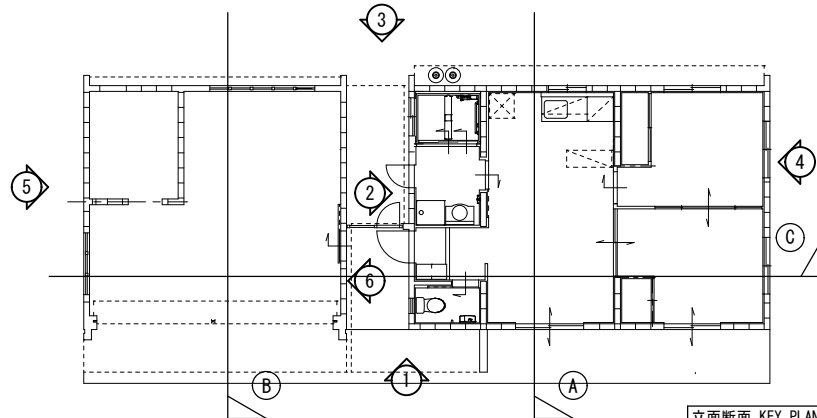
5、立面図
【 B 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



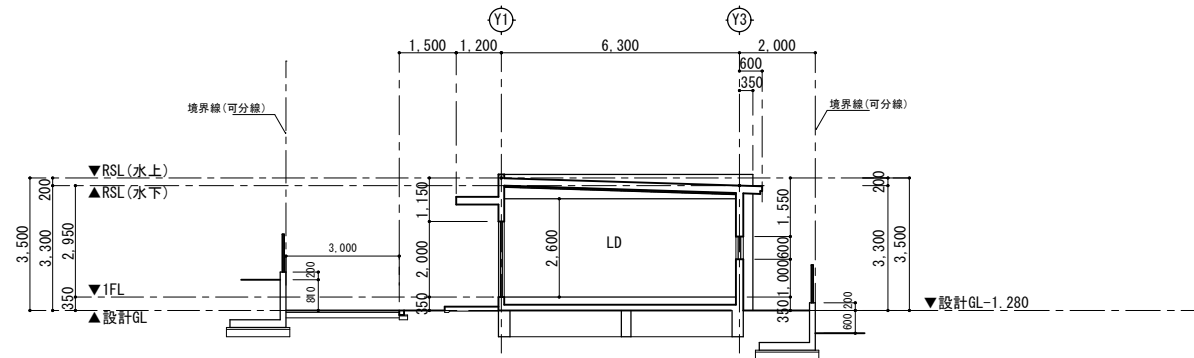
6、立面図
【 B 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



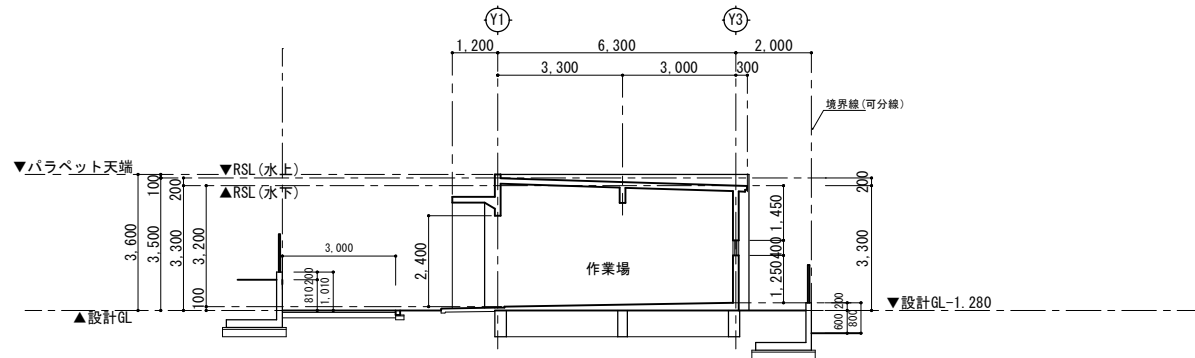
立面断面 KEY PLAN
【 B 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



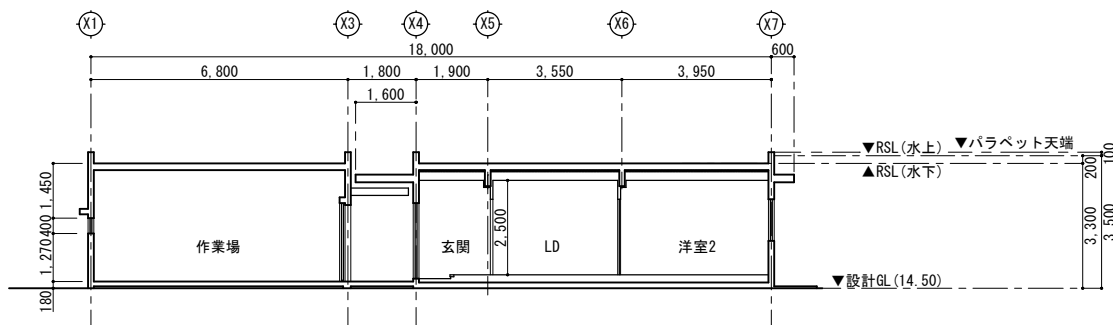
A、断面図
【 B 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



B、断面図
【 B 棟 】

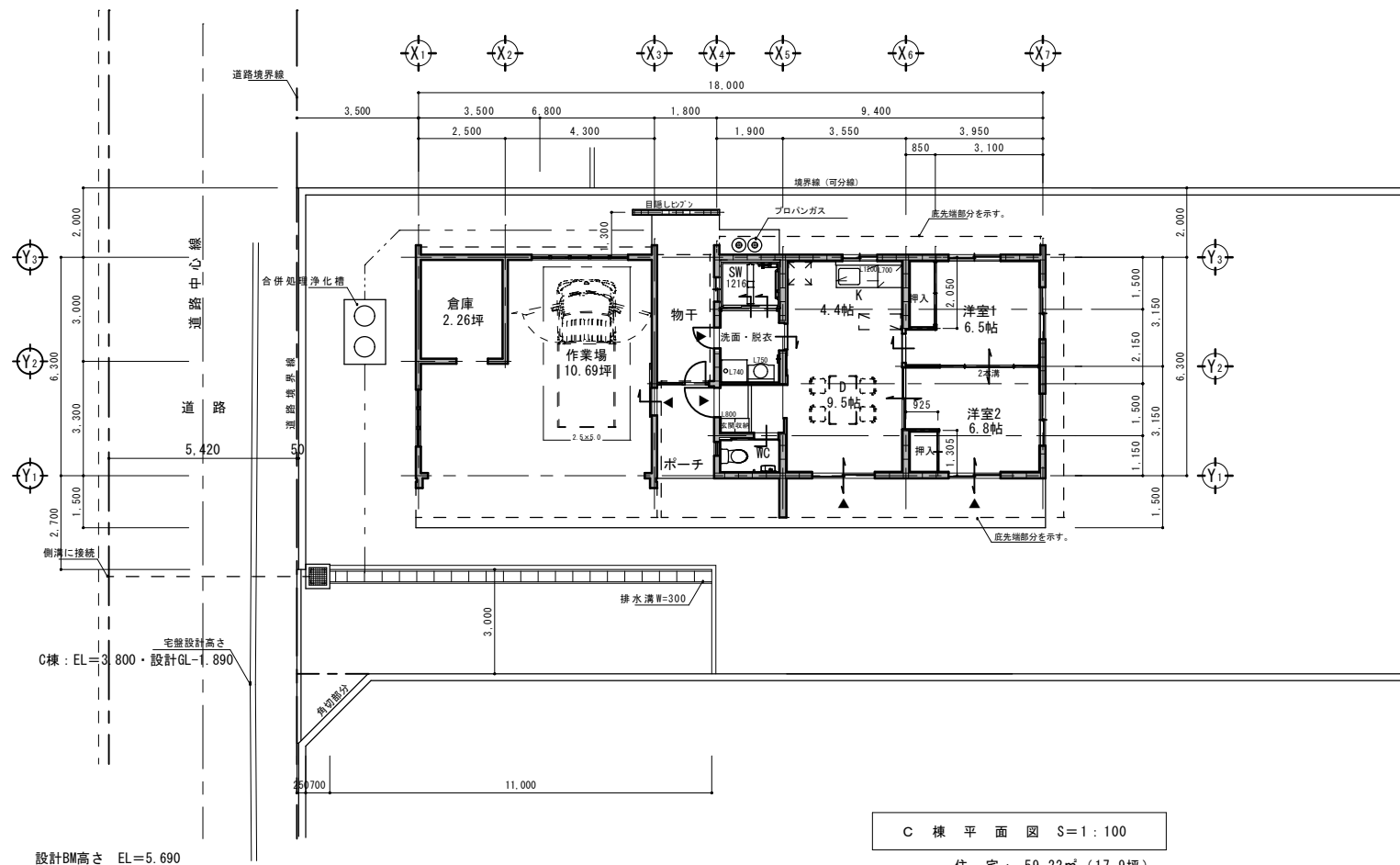
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



C、断面図
【 B 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200

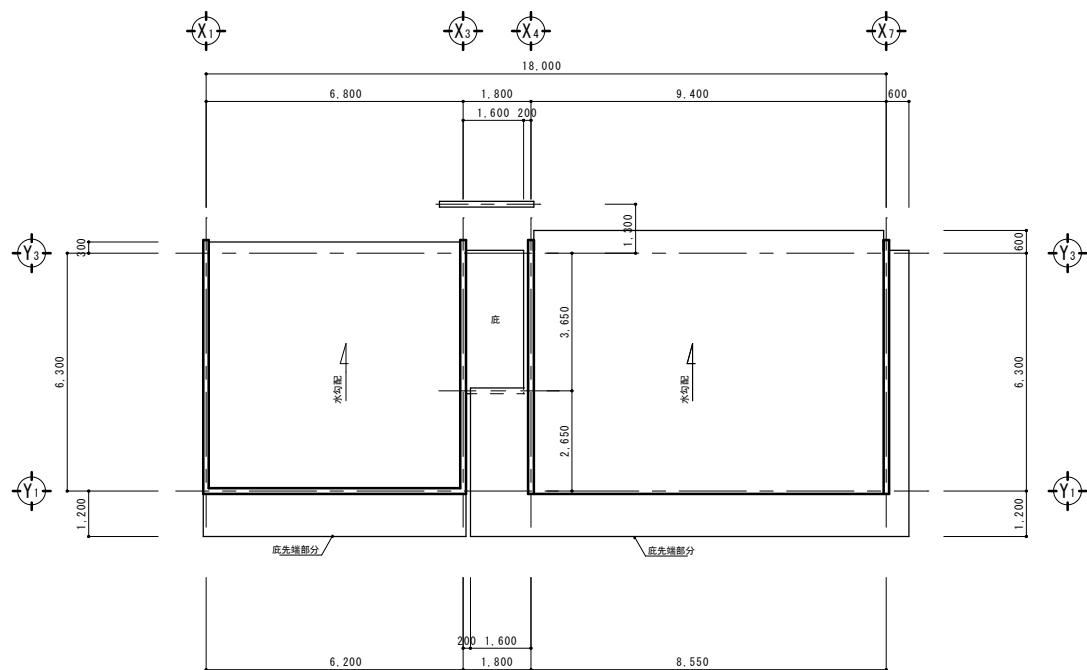
工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	B 棟 立面図・B 棟 断面図
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1 : 100 A3=1 : 200
摘 要		図面番号	A - 1 4
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		設 名 称	有限会社 結 設 計
		資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号
		登 録 番 号	第123-3734号
		所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号



設計BM高さ EL=5.690

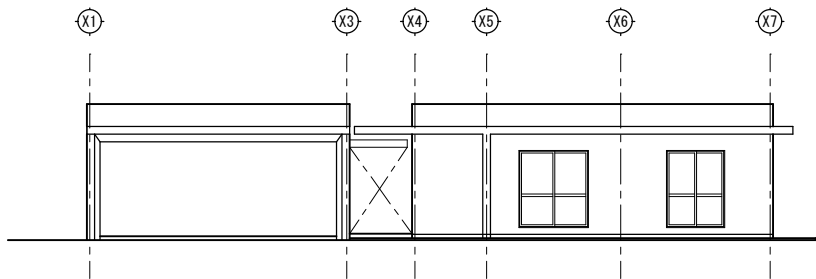
C 棟 平 面 図 S=1:100

住 宅 : 59.22㎡ (17.9坪)
作 業 場 : 42.84㎡ (12.9坪)
床 面 積 : 102.06㎡ (30.9坪)



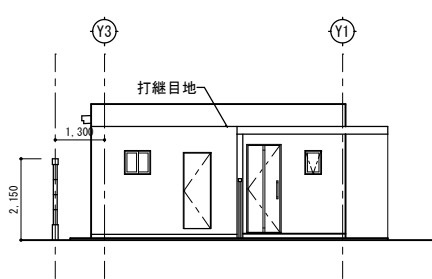
屋 根 伏 図 S=1:100

工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	C 棟 平 面 図 ・ 屋 根 伏 図	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1=1:100 A3=1:200	
摘 要				図面番号	A-15	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
				登 録 番 号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	



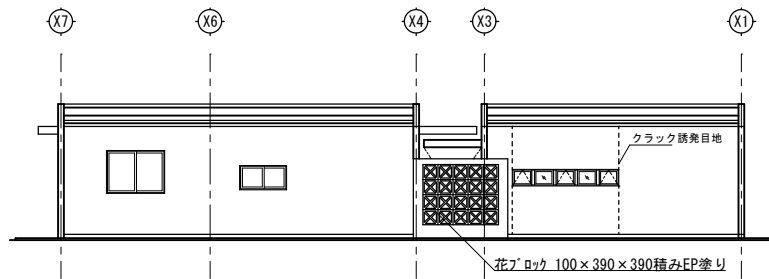
1、立面図
【 C 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



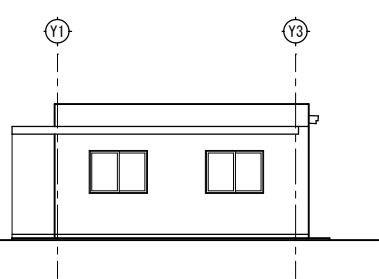
2、立面図
【 C 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



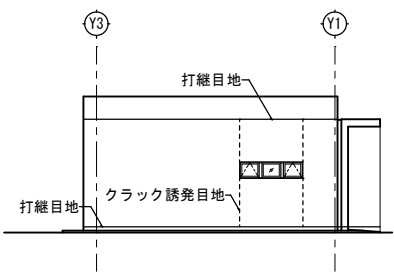
3、立面図
【 C 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



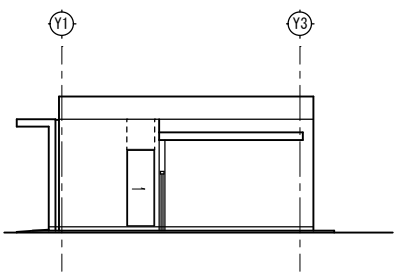
4、立面図
【 C 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



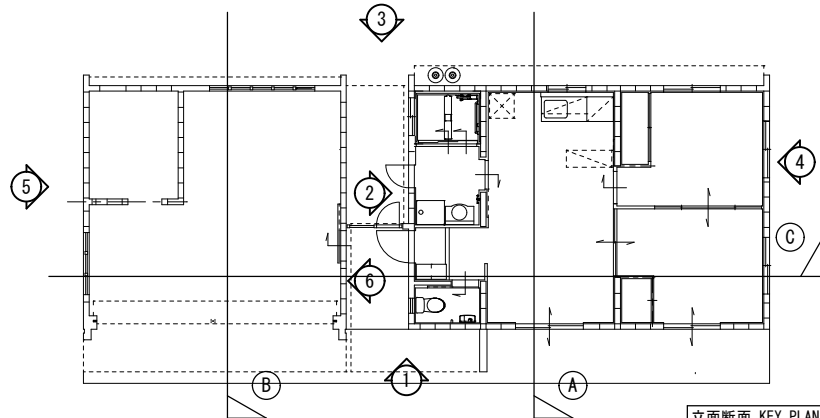
5、立面図
【 C 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



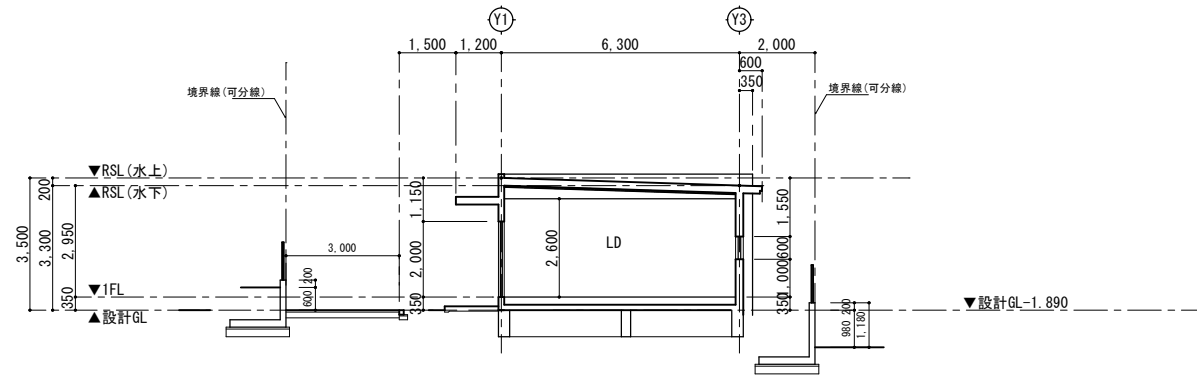
6、立面図
【 C 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



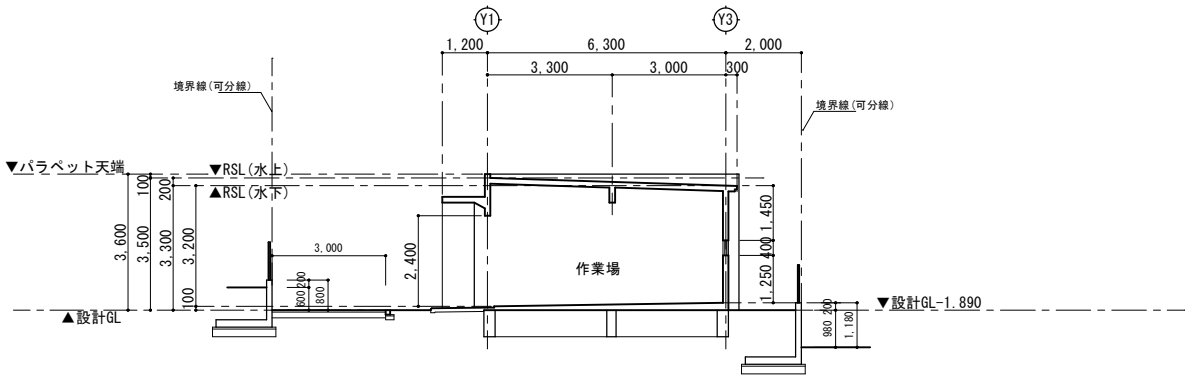
立面断面 KEY PLAN
【 C 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



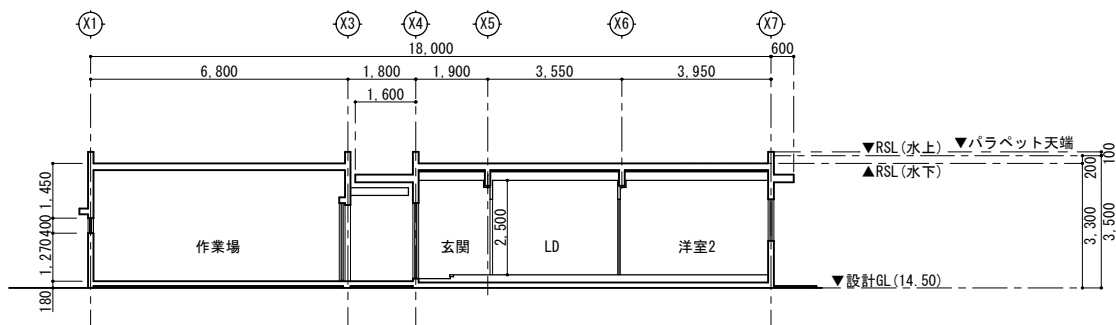
A、断面図
【 C 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



B、断面図
【 C 棟 】

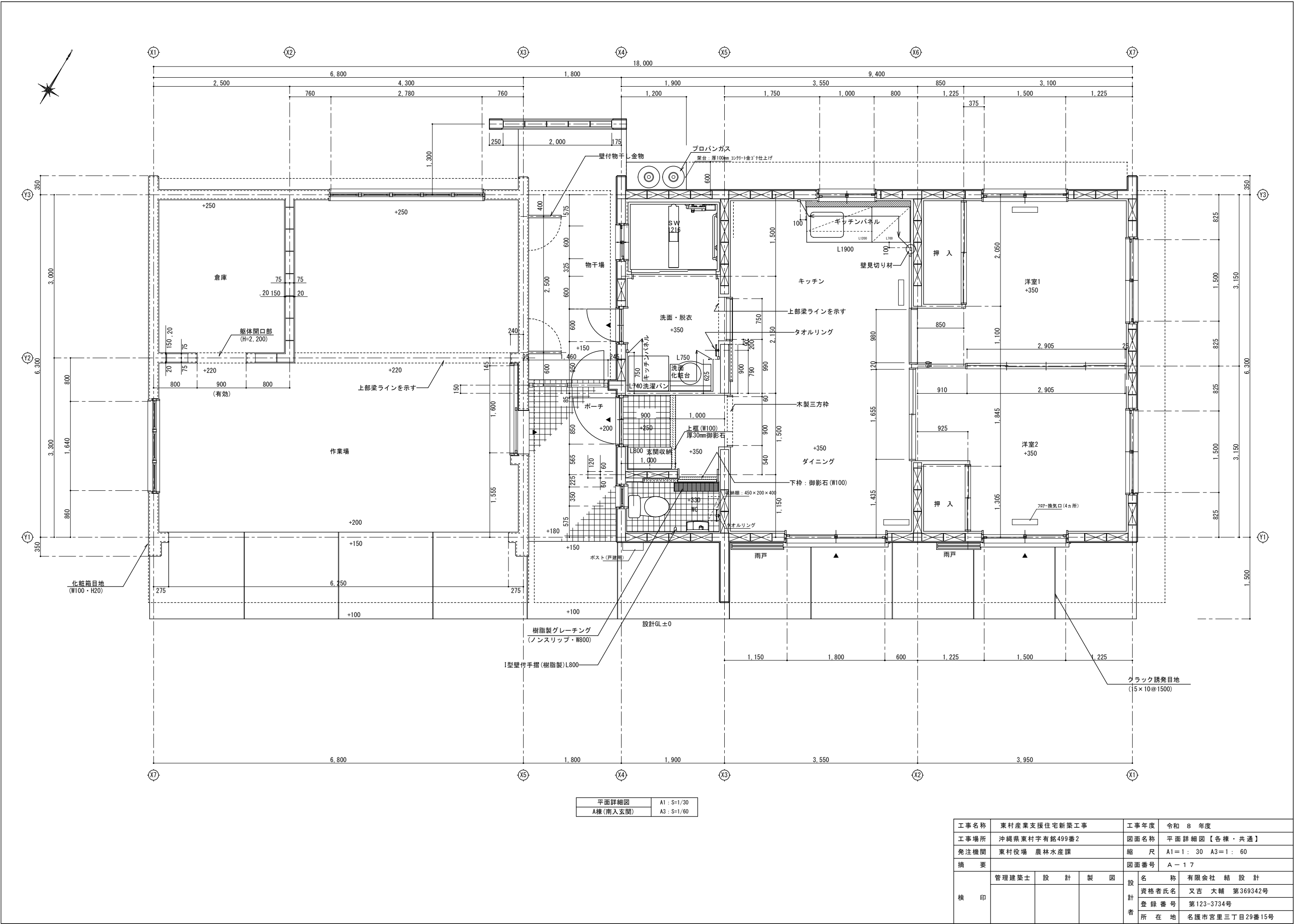
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



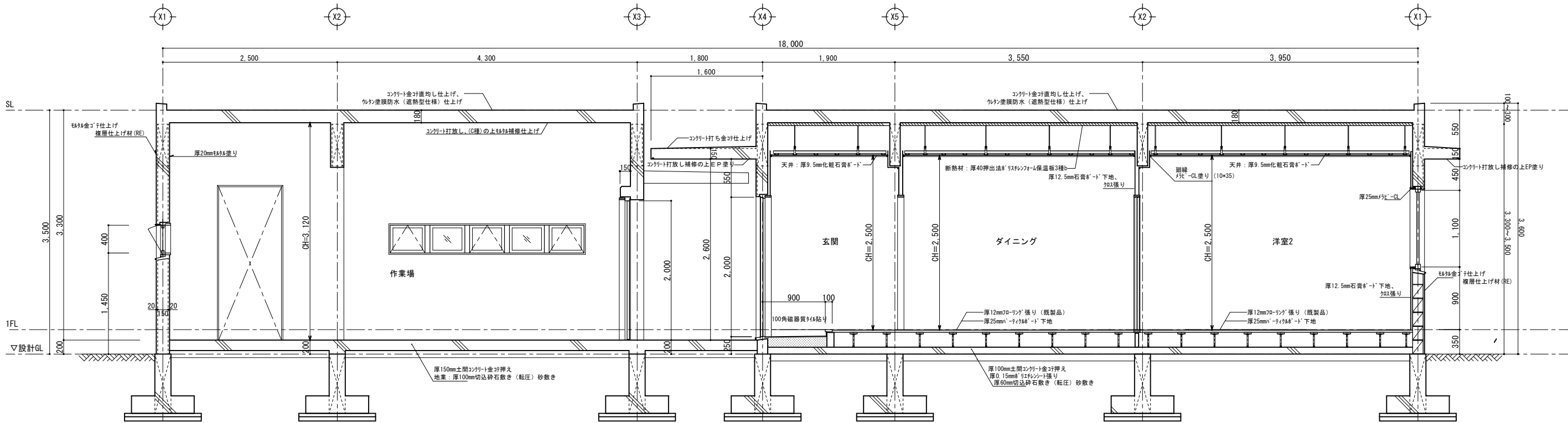
C、断面図
【 C 棟 】

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200

工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	C 棟 立面図・C 棟 断面図
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1:100 A3=1:200
摘 要		図面番号	A-16
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
	登 録 番 号	第123-3734号	
	所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

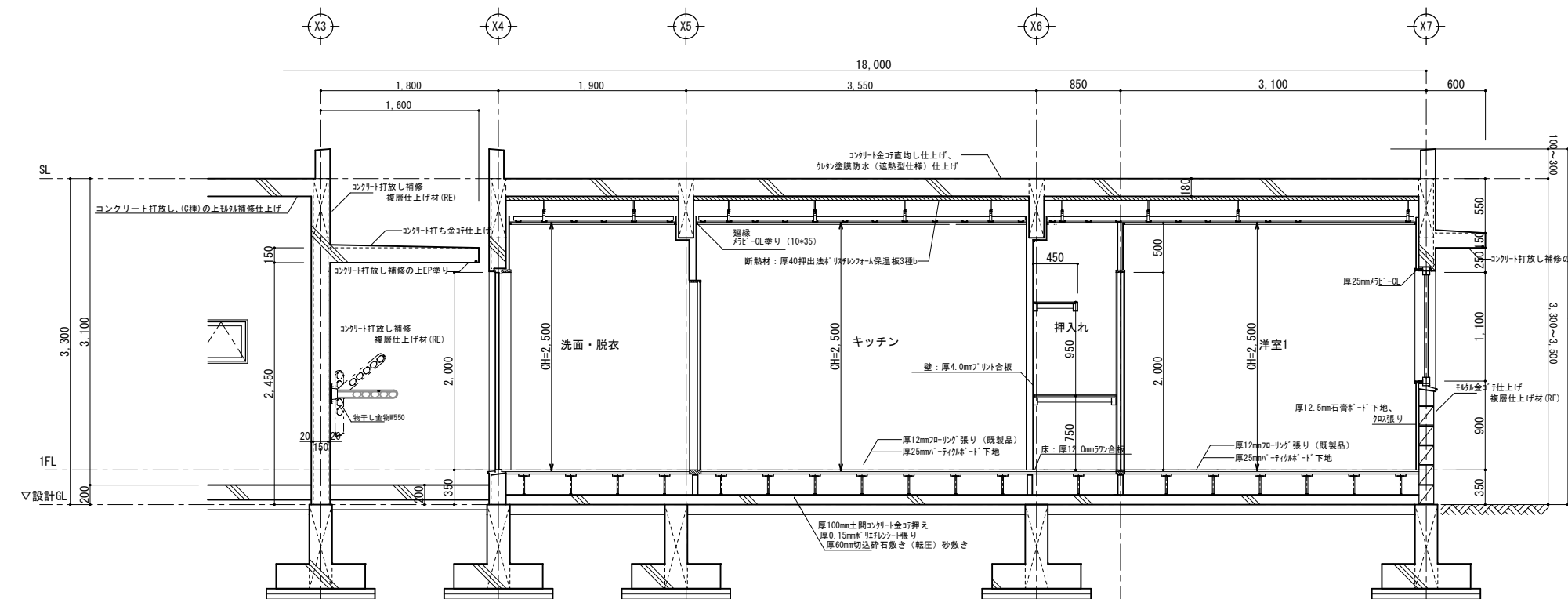


工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	平面詳細図【各棟・共通】
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1： 30 A3=1： 60
摘 要		図面番号	A－1 7
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		設 名	有限会社 結 設 計
		資格者氏名	又 古 大 輔 第369342号
		登 録 番 号	第123-3734号
		所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号



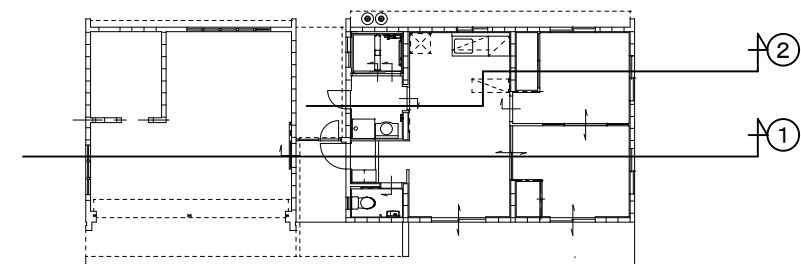
断面詳細図(1)
【A、B、C棟】

A1:S=1/30
A3:S=1/60



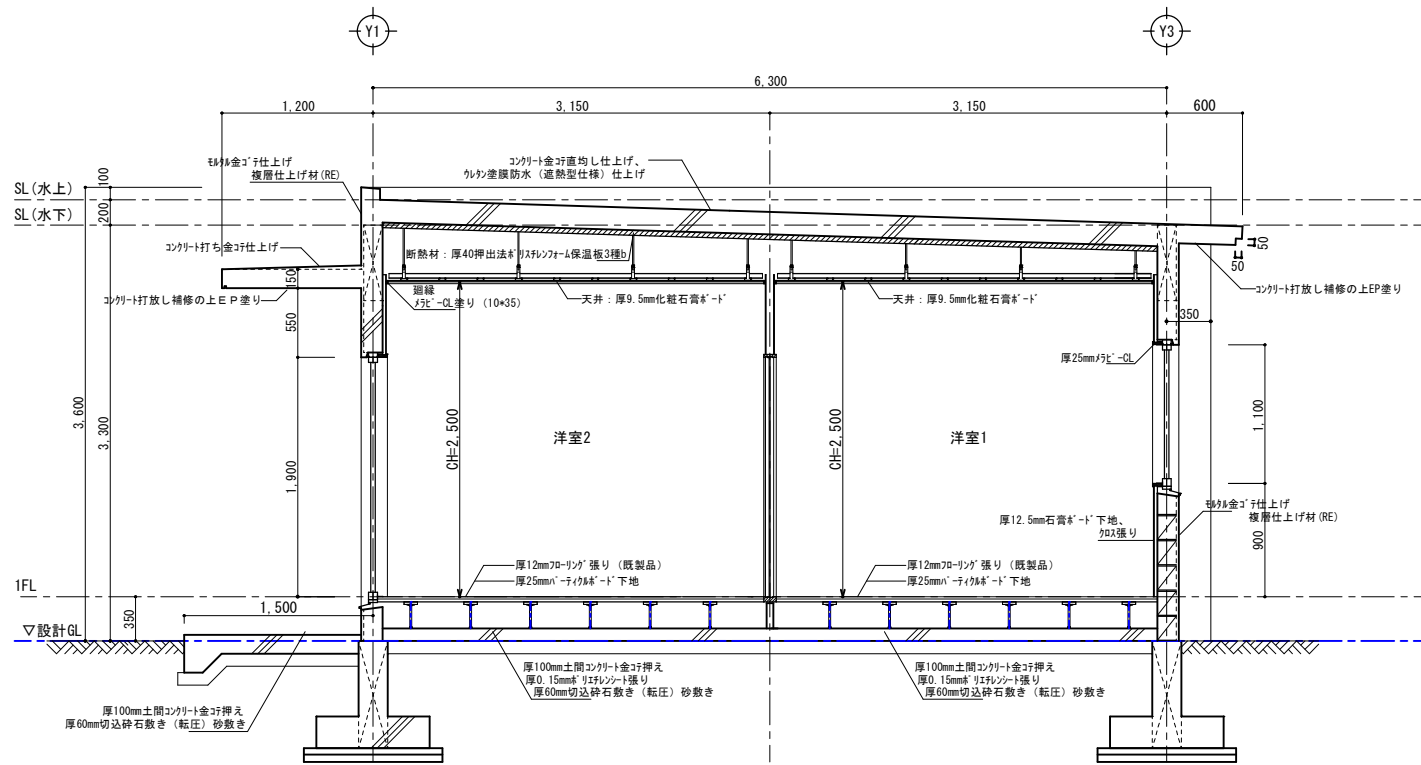
断面詳細図(2)
【A、B、C棟】

A1:S=1/30
A3:S=1/60



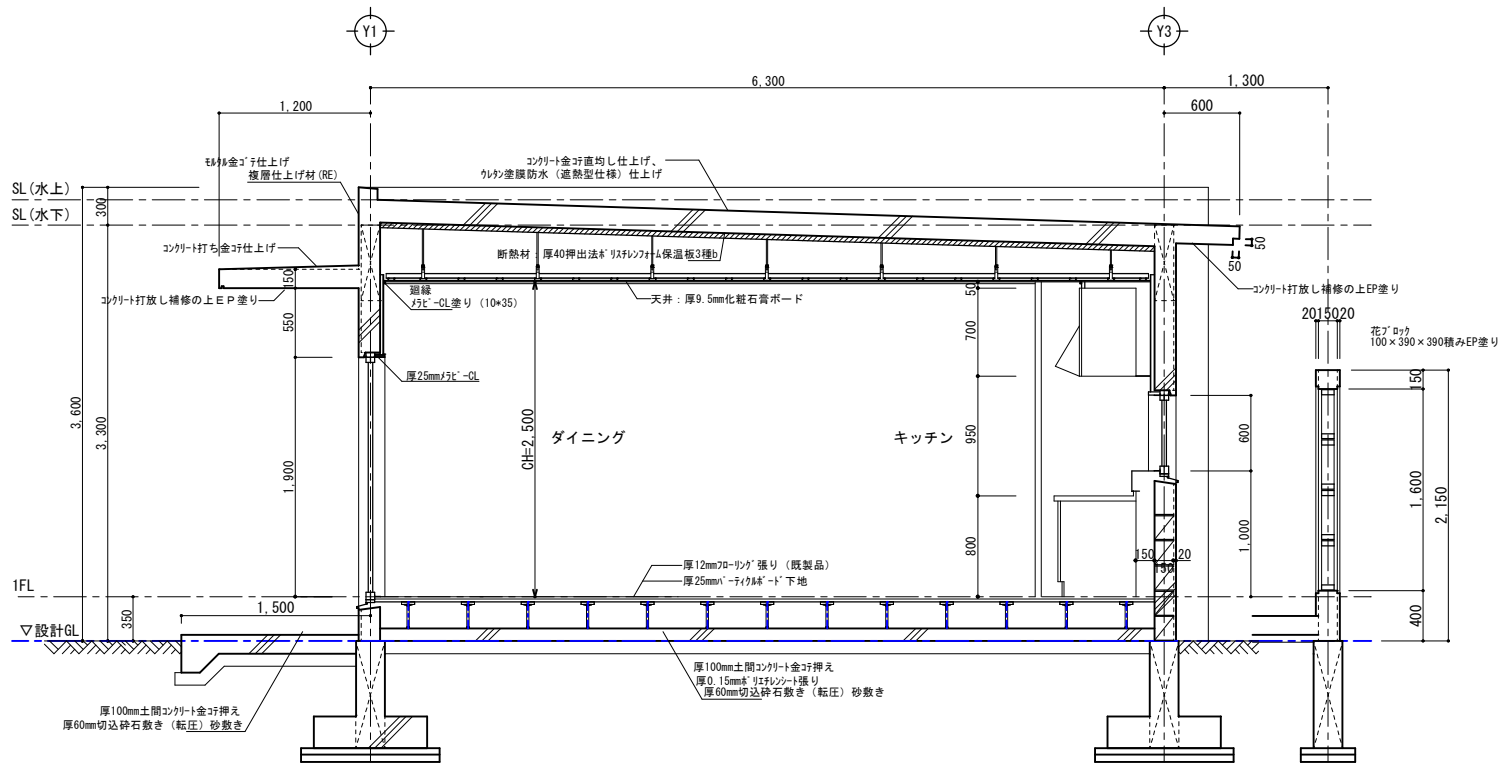
断面詳細 KEY PLAN

工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	断面詳細図 1
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1: 30 A3=1: 60
摘 要		図面番号	A-18
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 古 大 輔 第369342号	
	登録番号	第123-3734号	
	所在地	名護市宮里三丁目29番15号	



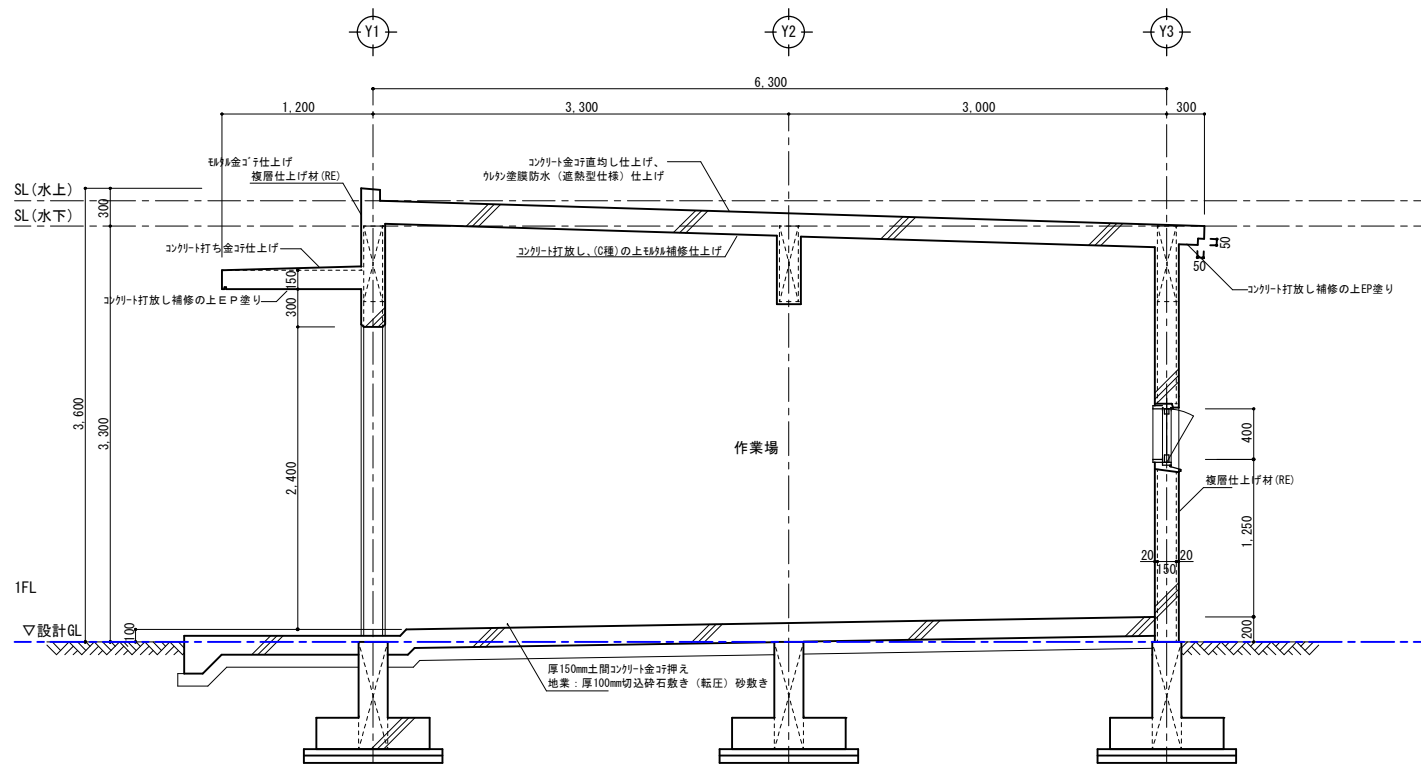
断面詳細図 (3)
【A、B、C棟】

A1:S=1/30
A3:S=1/60



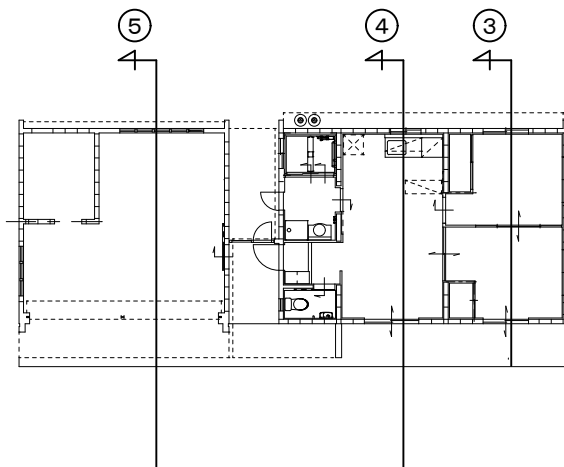
断面詳細図 (4)
【A、B、C棟】

A1:S=1/30
A3:S=1/60



断面詳細図 (5)
【A、B、C棟】

A1:S=1/30
A3:S=1/60

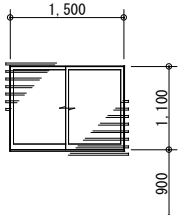
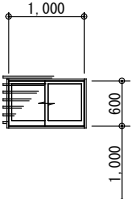
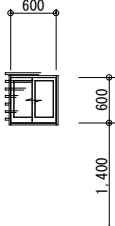
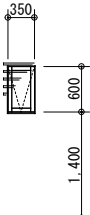
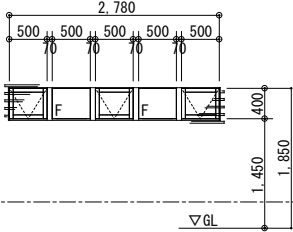
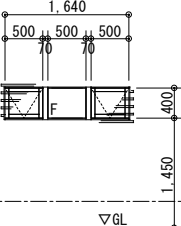
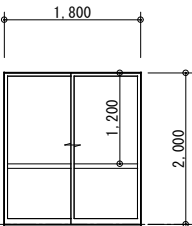
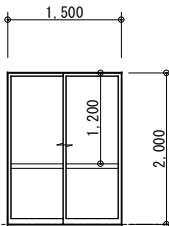
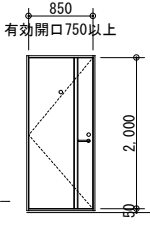
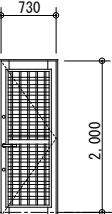
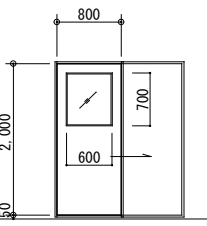
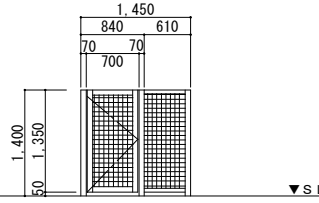


断面詳細 KEY PLAN

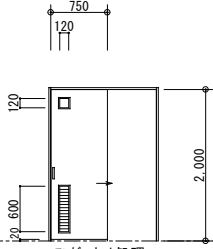
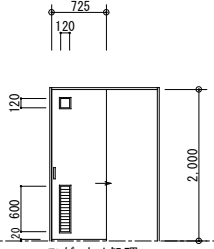
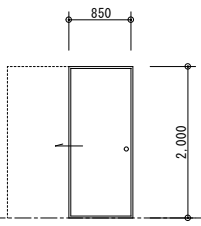
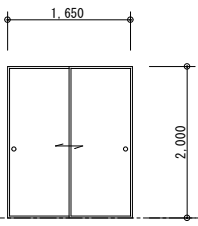
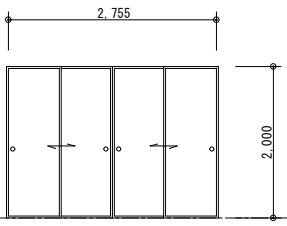
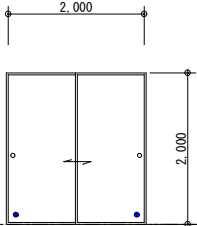
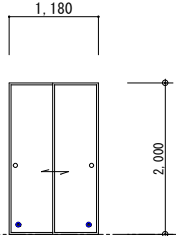
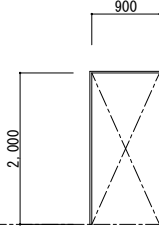
工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	断 面 詳 細 図 2
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1: 30 A3=1: 60
摘 要		図面番号	A-19
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 古 大 輔 第369342号	
	登 録 番 号	第123-3734号	
	所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

玄 関		①	②	③	④
床	厚12.0mmフローリング張り（既製品）				
巾 木	メラビークレタ（H=60）				
腰 壁	厚12.5mm石膏ボード下地、クロス張り				
壁	厚12.5mm石膏ボード下地、クロス張り				
天 井	厚9.5mm化粧石膏ボード（トラバーチン）				
廻 縁	木製廻り縁 メラビークレタ（10×35）				
備 考	上板：御影石（W100×H30） 靴箱（L800）トキ型				
ダイニング・キッチン		①	②	③	④
床	厚12.0mmフローリング張り（既製品）				
巾 木	メラビークレタ（H=60）				
腰 壁	厚12.5mm石膏ボード下地、クロス張り				
壁	厚12.5mm石膏ボード下地、クロス張り				
天 井	厚9.5mm化粧石膏ボード（トラバーチン）				
廻 縁	木製廻り縁 メラビークレタ（10×35）				
備 考					
洋 室 1		①	②	③	④
床	厚12.0mmフローリング張り（既製品）				
巾 木	メラビークレタ（H=60）				
腰 壁	厚12.5mm石膏ボード下地、クロス張り				
壁	厚12.5mm石膏ボード下地、クロス張り				
天 井	厚9.5mm化粧石膏ボード（トラバーチン）				
廻 縁	木製廻り縁 メラビークレタ（10×35）				
備 考					
洋 室 2		①	②	③	④
床	厚12.0mmフローリング張り（既製品）				
巾 木	メラビークレタ（H=60）				
腰 壁	厚12.5mm石膏ボード下地、クロス張り				
壁	厚12.5mm石膏ボード下地、クロス張り				
天 井	厚9.5mm化粧石膏ボード（トラバーチン）				
廻 縁	木製廻り縁 メラビークレタ（10×35）				
備 考					
				工事名称	東村産業支援住宅新築工事
				工事場所	沖縄県東村字有銘499番2
				発注機関	東村役場 農林水産課
				摘 要	
				検査	監理建築士 設 計 製 図
				設 計 者	名 称 有限会社 結 設 計 資格者氏名 又 古 大輔 第369342号 登録番号 第123-3734号 所 在 地 名護市宮里三丁目29番15号

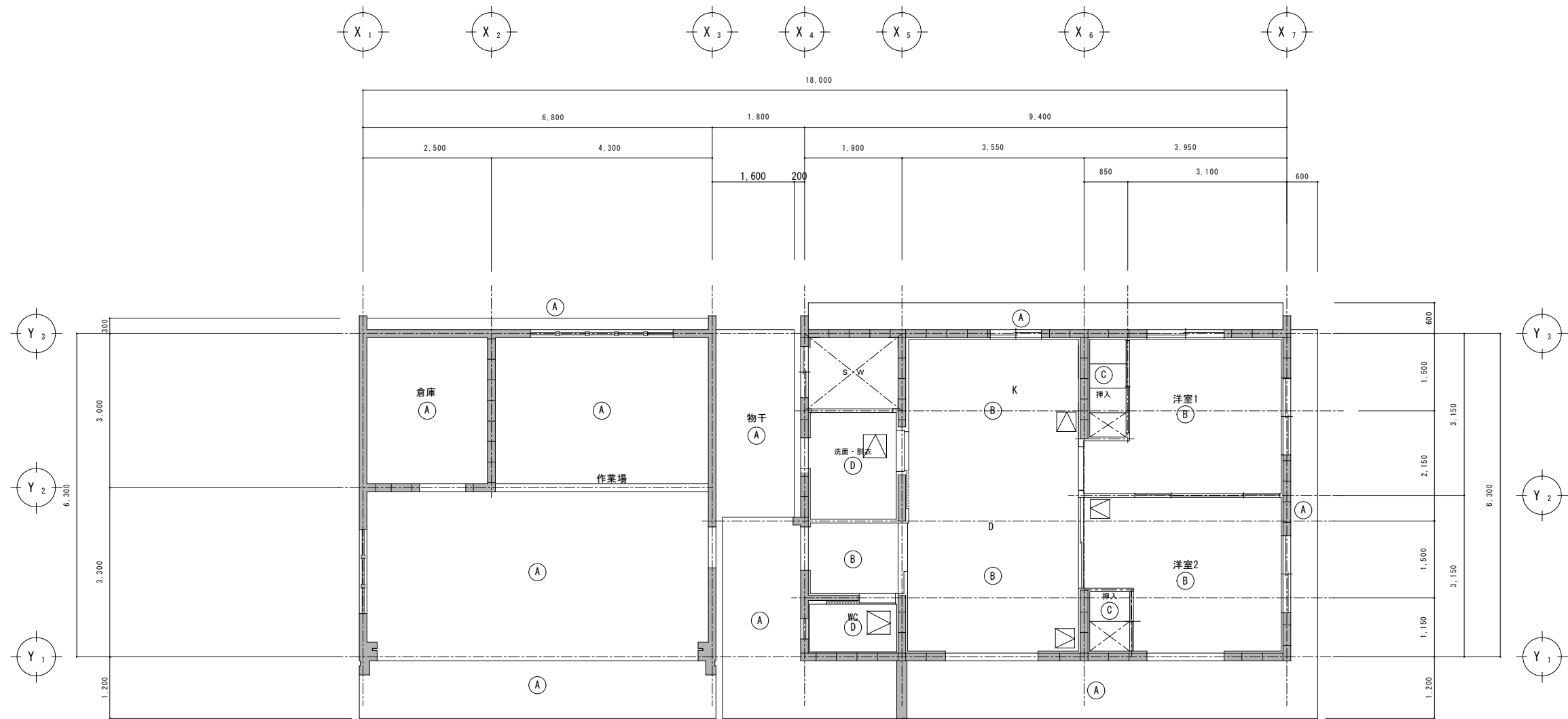
[illegible]

符号・名称・性能	1 AW	2枚引き違い		2 AW	2枚引き違い		3 AW	2枚引き違い		4 AW	内倒し		5 AW	内倒し（F I ×付）	
姿図															
取付階・室名・箇所数	1F	洋室1・洋室2	3	1F	キッチン	1	1F	浴室	1	1F	WC	1	1F	作業場	1
枠見込	70			70			70			70			70		
建具材質・仕上	アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理		
ガラス種類・厚	厚6.0mmフロートガラス・厚6.0mm型板ガラス			厚6.0mm型板ガラス			厚6.0mm 型板ガラス			厚6.0mm 型板ガラス			厚6.0mmフロートガラス		
附属金物	ロック付クレセント・額縁取付アングル・付属金物一式			ロック付クレセント・額縁取付アングル・付属金物一式			ロック付クレセント・額縁取付アングル・付属金物一式			カムラッチ・額縁取付アングル・ステンレス製フック棒			カムラッチハンドル・額縁取付アングル・付属金物一式		
備考	25角アルミ横格子（@100mm以下）、可動式網戸、カーテンレール付き			25角アルミ横格子（@100mm以下）、可動式網戸			25角アルミ横格子（@100mm以下）、可動式網戸			25角アルミ横格子（@100mm以下）、可動式網戸、付属金物一式			25角アルミ横格子（@100mm以下）、可動式網戸、付属金物一式		
符号・名称・性能	6 AW	内倒し（F I ×付）		1 AE	2枚引き違い		2 AE	2枚引き違い		1 AD	片開き戸-玄関扉		2 AD	アルミ換気ドア（既製品）	
姿図															
取付階・室名・箇所数	1F	作業場	1	1F	ダイニング	1	1F	洋室1・洋室2	1	1F	玄関（非防火設備）	1	1F	洗面・脱衣室	1
枠見込	70			100			100			70			80		
建具材質・仕上	アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			内側：ステンレス化粧鋼板、外側：化粧ステンレス鋼板			アルマイト処理		
ガラス種類・厚	厚6.0mm フロートガラス			厚6.0mm フロートガラス			厚6.0mm フロートガラス			ポスト開口・ステンレス窓柵・戸当り・付属金物一式・郵便受箱			厚6.0mm 型板ガラス		
附属金物	クレセント・額縁取付アングル・付属金物一式			クレセント2箇所・額縁取付アングル・付属金物一式			クレセント2箇所・額縁取付アングル・付属金物一式			レバーハンドル錠・ステンレス丁番・ドアスコープ（カバー付き）			井桁格子型・レバーハンドル錠・網戸付き・ドアクローザ		
備考	25角アルミ横格子（@100mm以下）、可動式網戸、付属金物一式			可動式網戸、アルミ製雨戸（2枚引込み戸）※錠付き、カーテンレール			可動式網戸、アルミ製雨戸（2枚引込み戸）※錠付き、カーテンレール			金秀アルミ工業㈱：メーランドシリーズ※同等品以上			戸当り・付属金物一式		
符号・名称・性能	3 AD	片引き戸		4 AD	格子開き戸										
姿図															
取付階・室名・箇所数	1F	作業場 出入口	1	1F	アルミ製格子ドア	1									
枠見込	100			70											
建具材質・仕上	アルマイト処理			アルマイト処理											
ガラス種類・厚	厚6.8mm網入り型板ガラス			丁番・支柱・付属金物一式・レバーハンドル											
附属金物	フナ底埋込引手・シンリンダー錠（室外）・サムターン錠（室内）			ステンレス丁番											
備考	障子外れ防止構造・戸車・付属金物一式			アルミ格子（25角）											

工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	鋼製建具表	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1＝1： 50 A3＝1：100	
摘 要				図面番号	A－2 3	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又 古 大 輔 第369342号	
				登 録 番 号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

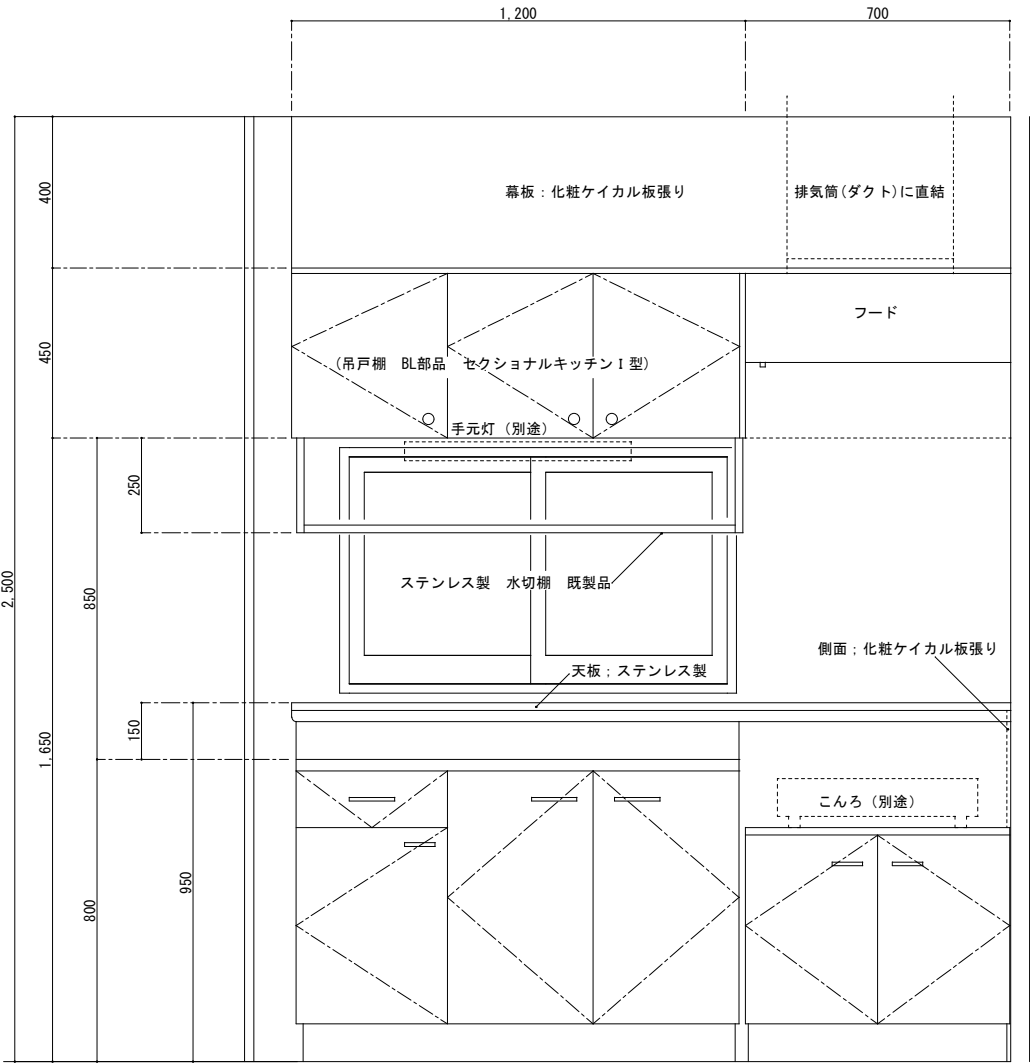
符号・名称・性能	<div><div>1</div><div>WD</div></div>	片引き込み-木調（全面パネル）		<div><div>2</div><div>WD</div></div>	片引き込み-木調（全面パネル）		<div><div>3</div><div>WD</div></div>	引込戸-木調（全面パネル）		<div><div>4</div><div>WD</div></div>	2枚引違い戸-木調（全面パネル）		<div><div>5</div><div>WD</div></div>	4枚引違い戸-木調（全面パネル）	
姿図															
取付階・室名・箇所数	1F	洗面・脱衣室	1	1F	WC	1	1F	洋室2	1	1F	洋室2	1	1F	洋室1	1
枠見込	33			33			33			33			33		
建具材質・仕上	（内側）厚4mmメラミン化粧合板張り（外側）厚4mmプリント合板張			厚4mm メラミン化粧合板張り			厚4mm メラミン化粧合板張り			厚4mm メラミン化粧合板張り			厚4mm メラミン化粧合板張り		
ガラス種類・厚	厚4.0mm 型板ガラス			厚4.0mm 型板ガラス											
附属金物	戸車・Vフラッターレール・引手・戸当り・付属金物一式			戸車・Vフラッターレール・引手・戸当り・付属金物一式			戸車・Vフラッターレール・引手・戸当り・付属金物一式			戸車・Vフラッターレール・引手・戸当り・付属金物一式			戸車・Vフラッターレール・引手・戸当り・付属金物一式		
備考	明窓付き・木製ガラリ・引手錠（非常開装置・表示付・サムターン・）			明窓付き・木製ガラリ・引手錠（非常開装置・表示付・サムターン）			引手錠（非常開装置・表示付・サムターン）			引手錠（非常開装置・表示付・サムターン）			引手錠（サムターン・フランス落とし）		
符号・名称・性能	<div><div>6</div><div>WD</div></div>	2枚引違い戸-木調（全面パネル）		<div><div>7</div><div>WD</div></div>	2枚引違い戸-木調（全面パネル）		<div><div>1</div><div>枠</div></div>	三方枠（木製）							
姿図															
取付階・室名・箇所数	1F	洋室1	1	1F	洋室2	1	1F	玄関	1						
枠見込	33			33			70								
建具材質・仕上	厚4mm メラミン化粧合板張り			厚4mm メラミン化粧合板張り			メラビー材 クリア塗装								
ガラス種類・厚															
附属金物	戸車・Vフラッターレール・引手・戸当り・付属金物一式			戸車・Vフラッターレール・引手・戸当り・付属金物一式											
備考	引手錠（非常開装置・表示付・サムターン）			引手錠（非常開装置・表示付・サムターン）											
符号・名称・性能															
姿図															
取付階・室名・箇所数															
枠見込															
建具材質・仕上															
ガラス種類・厚															
附属金物															
備考															

工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	木製建具表	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1＝1： 50 A3＝1：100	
摘 要				図面番号	A－2 4	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又 古 大 輔 第369342号	
				登 録 番 号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

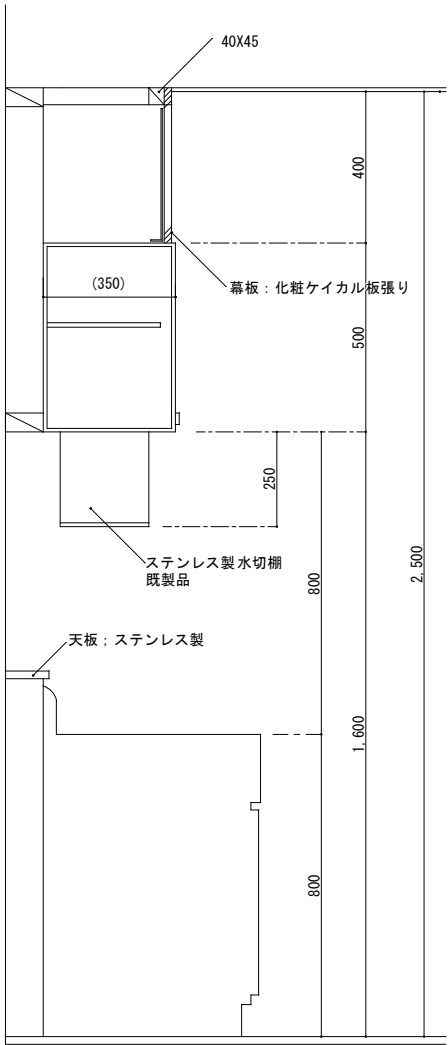


記号	仕上げ
(A)	コンクリート補修の上AEP-R塗装
(B)	厚9.5 化粧石膏ボード
(C)	厚4.0mm 押入用プリント合板
(D)	バスリブ
<input checked="" type="checkbox"/>	アルミ製天井点検口 (450角)
<input checked="" type="checkbox"/>	点検口 (パネル取り外し型)

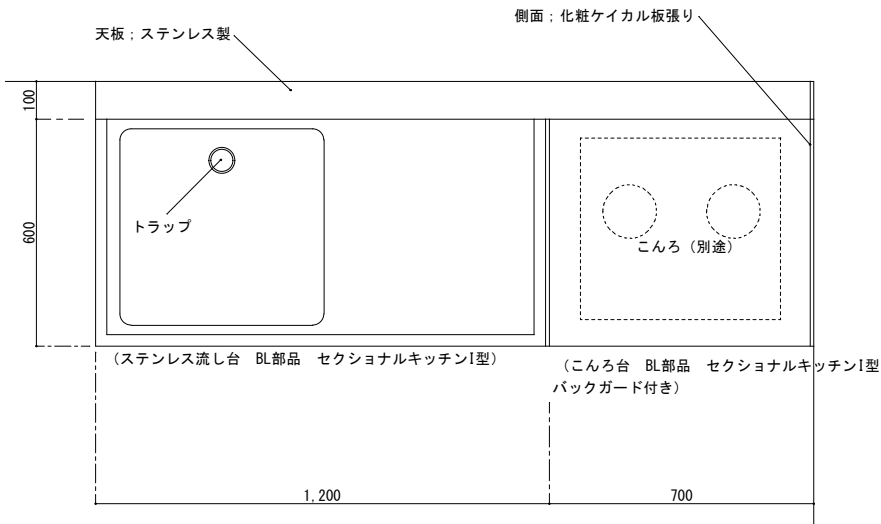
工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	天 井 伏 図
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1:100 A3=1:200
摘 要		図面番号	A-25
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
	登 録 番 号	第123-3734号	
	所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	



キッチン姿図 S=1/20
(A棟・B棟・C棟)



キッチン断面図 S=1/20



平面図 S=1/20
(C棟・D棟)

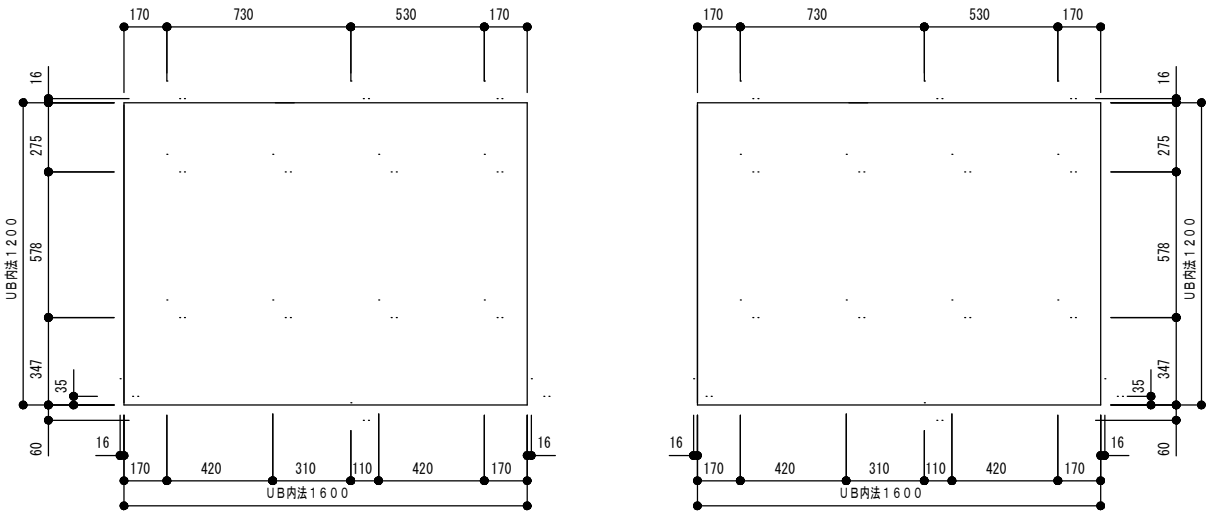
- ※特記仕様
- 1、流し台・ガスコンロ台は、BL認定品とする
 - 2、吊り戸棚は、不燃仕様とする
 - 3、幕板・調整板・壁仕上げ材は、化粧ケイカル板とする
 - 4、使用する材料等はすべて、F★★★★とする
 - 5、レンジフードは設備工事とする。
(取付・調整は設備工事とする)

工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	流し台詳細図
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1：100 A3=1：200
摘 要		図面番号	A-26
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
	登 録 番 号	第123-3734号	
	所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

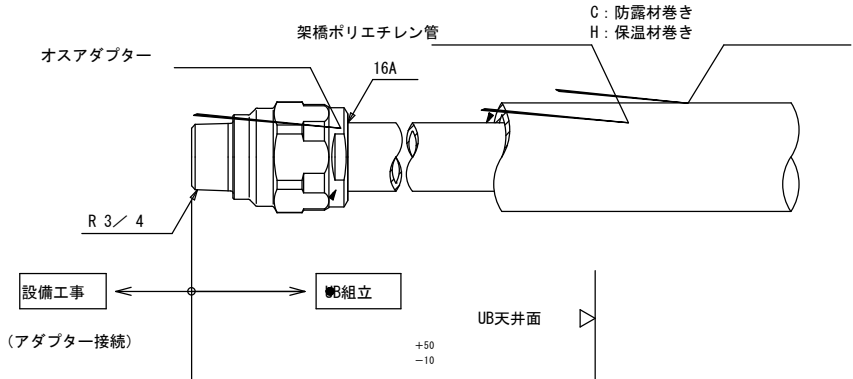
ESV1216US			コロガシ		●は、基本仕様からの変更箇所
名 称		仕様・寸法	色・柄	特記事項	備 考
	天井パネル	化粧銅板複合パネル（抗菌防カビ仕様・モール式） 点検口□450（絞り点検口・落下防止用紐付）	ホワイト		
	壁パネル	HQパネル	ベースホワイト		
	床パネル	FRP カラリ床 溝カバー・トラップカバー FRP製	ベージュ	（モルタル埋め戻し補助材付き）	
	ドア枠	アルミアルマイト処理	ホワイト	（付枠用取付ネジUB支給、 ネジ取付および付枠別途）	
	ドアパネル	3枚引戸（スッキリドア） 面材：型板ステンレ板 W＝1600（有効開口幅 946mm）	ホワイト 面材：乳白色		
	シャワー水栓	TBV03443J 壁付サーモスタットシャワー金具 （スパウトレス） 湯側断熱脚カバー			
	シャワーヘッド	コンフォートウエーブシャワー ホース：L＝1600	ヘッド：ホワイト ホース：シルバー	（現場加工）	
	シャワーハンガー	TH556F6型	ホワイト	（現場加工）	
	照明	半球形照明（LEDランプ） 消費電力9W以下 60W相当 電球色 VVVF1.6φ×2C L＝2.0m付		（以降接続別途）	
●	ナースコール			ナースコール無し	KCA00
	ジョイントボックス	エコノミージョイント WJ3107相当品		（ジョイントボックスま での配線及びジョイント ボックス内の結線別途）	
●	換気扇	AC100V 消費電力：10/12W（50/60HZ） カバー（抗菌・防カビ仕様）		（以降接続別途）	IKJC5
	給水管	架橋ポリエチレン管 M種 防露材付（5mm） 末端オスアダプター止め R3／4 UB天井面＋100mmまでUB組立		（以降接続別途）	
	給湯管	架橋ポリエチレン管 M種 保温材付（5mm） 末端オスアダプター止め R3／4 UB天井面＋100mmまでUB組立		（以降接続別途）	
	排水トラップ	ABS樹脂 封水深50mm 接続口 VP50受口 ヘアーキャッチャー付 高圧洗浄対応			
	排水管	耐火被覆塩ビ管（VP）50A 末端切放し		（以降接続別途）	
●	カーテン			カーテン無し	KKA00
●	タオル棚			タオル棚無し	KDA00
●	手すり(洗い場)			手すり(洗い場)無し	KEA00
●	手すり(ドア横)	インテリアバー φ32 I型 L＝600	スマイルベージュ		KAR6T
●	手すり(洗い場移動用)			手すり(洗い場移動用)無し	KVRO0
	収納棚	収納棚 W175 樹脂製 2個	ホワイト	（現場加工）	

商品（図面）は、諸般の事情により、予告なく改良、仕様変更などを行う場合があります。

★マークは、消費生活用製品安全法「長期使用製品安全点検制度」で指定された「特定保守製品」です。

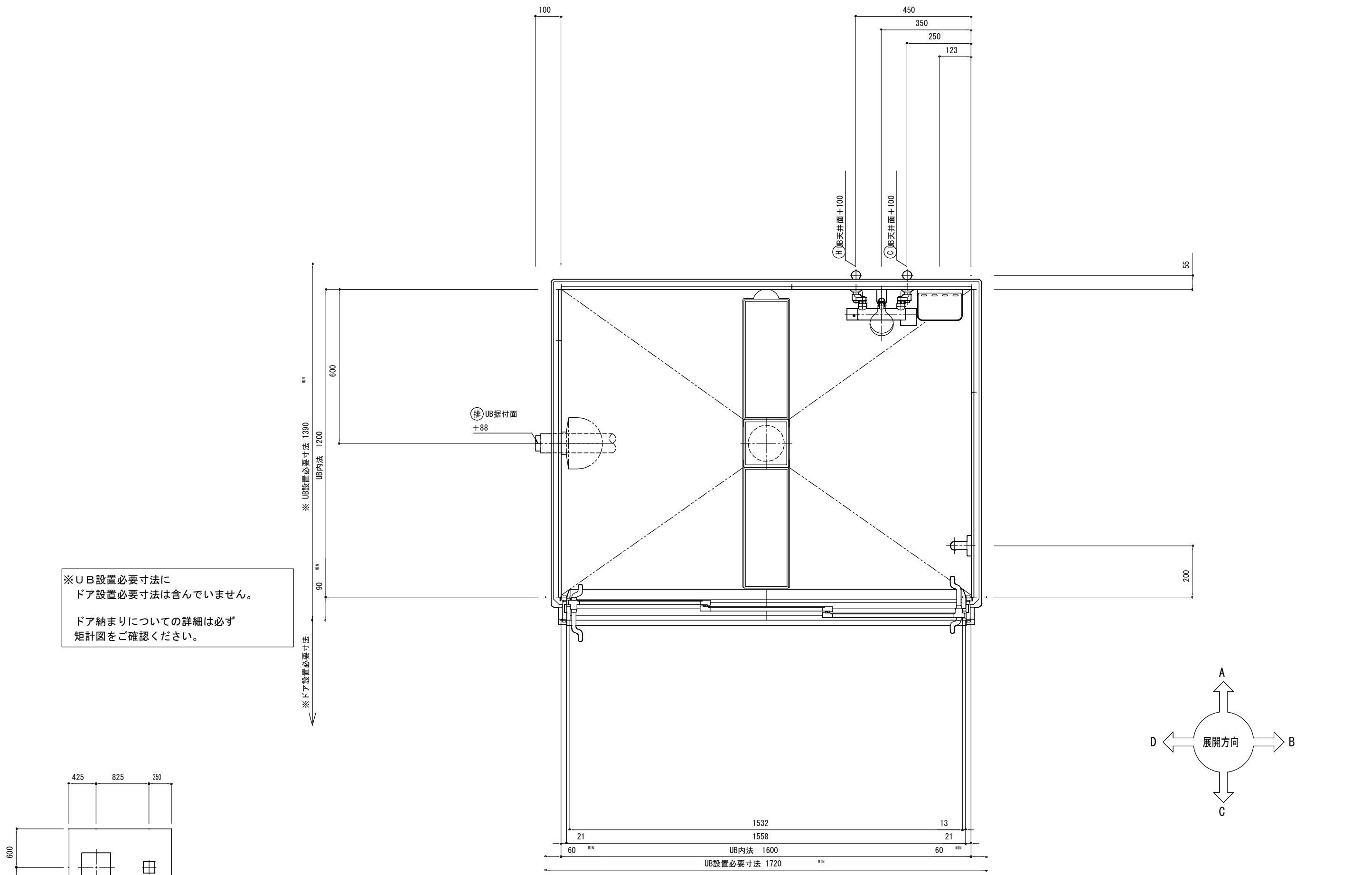


床支持位置図



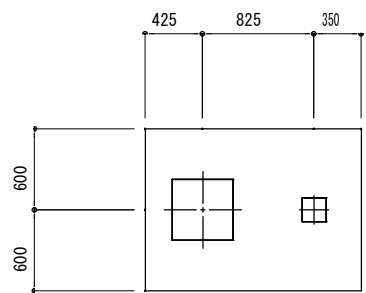
給水・給湯管末端形状

工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	シャワーユニット詳細図－1
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1＝NOS
摘 要		図面番号	A－2 7
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 古 大 輔 第369342号	
	登 録 番 号	第123-3734号	
	所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	



※UB設置必要寸法に
ドア設置必要寸法は含んでいません。

ドア納まりについての詳細は必ず
矩計図をご確認ください。

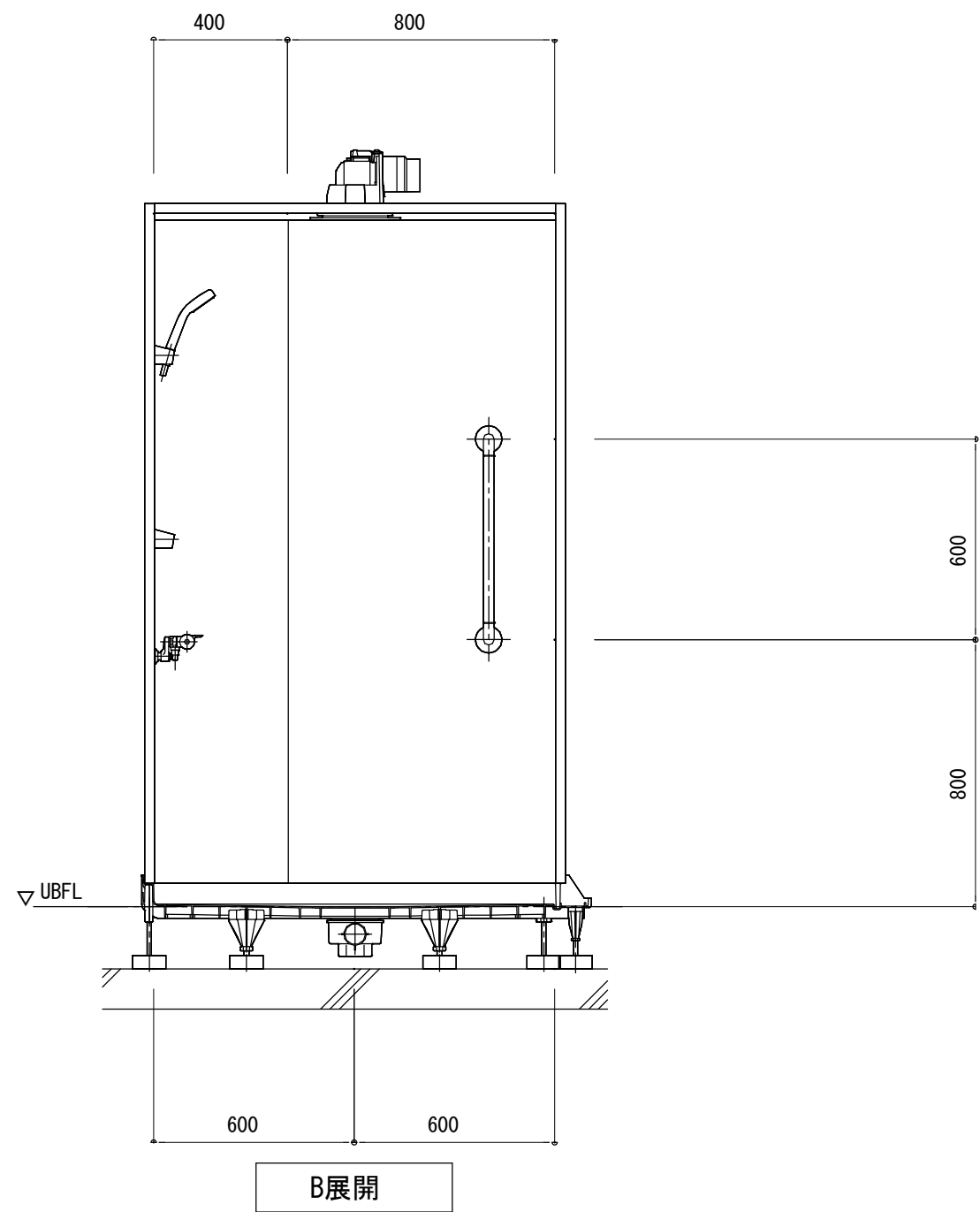
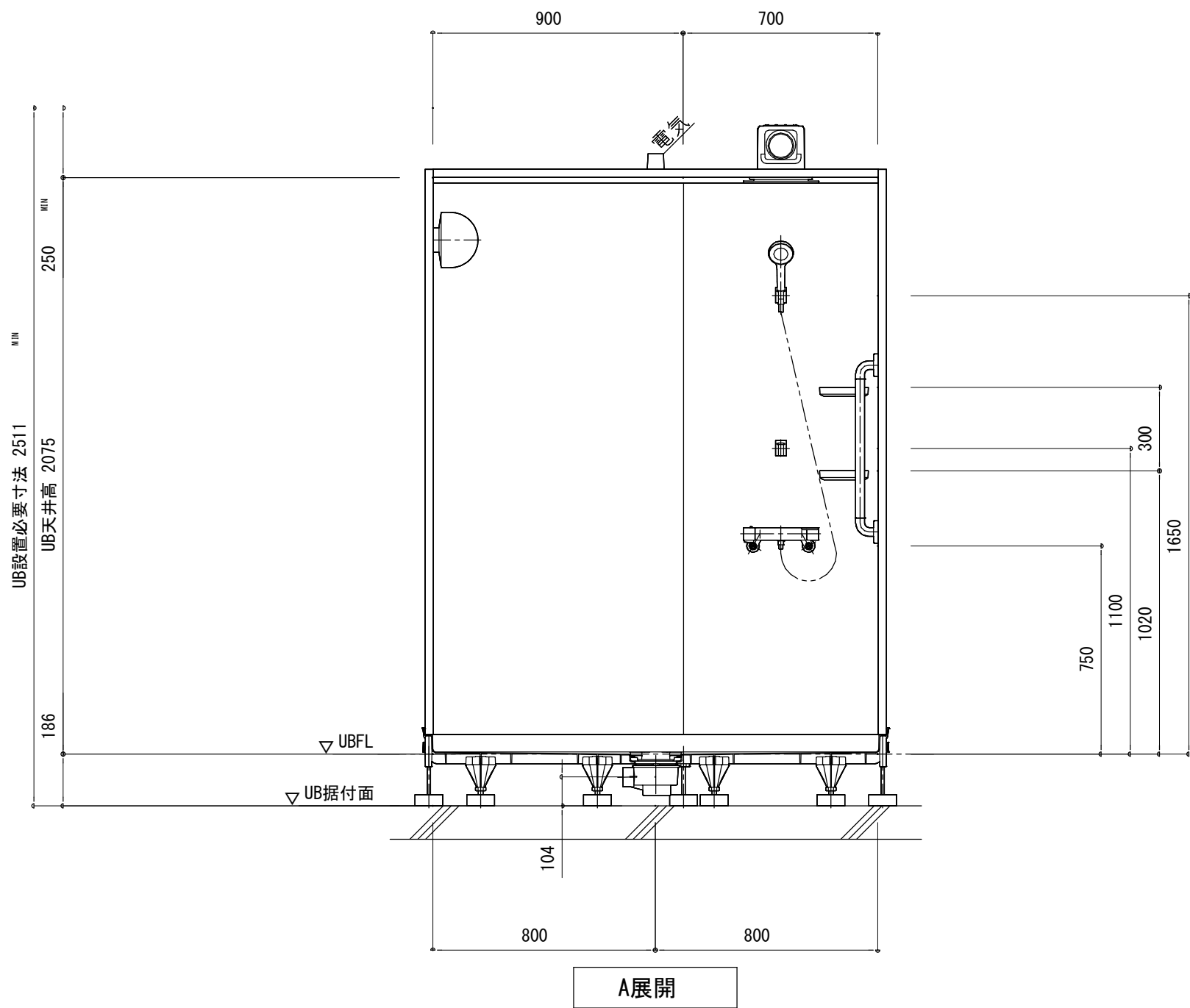


天井伏図

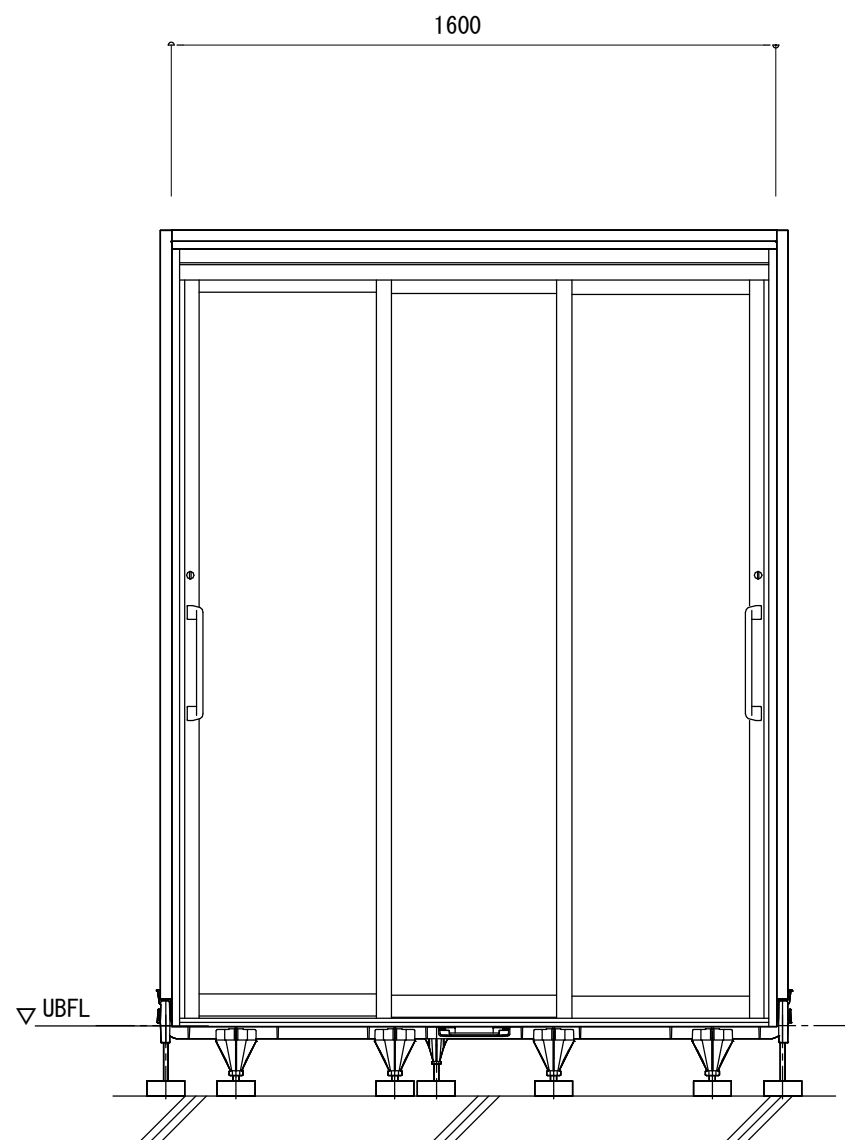
商品（図面）は、諸般の事情により、予告なく改良、仕様変更などを行う場合があります。

注） ドア廻りのスラブ段差必要寸法は有効13.5mm以上必要です。
詳細は矩計図を参照願います。

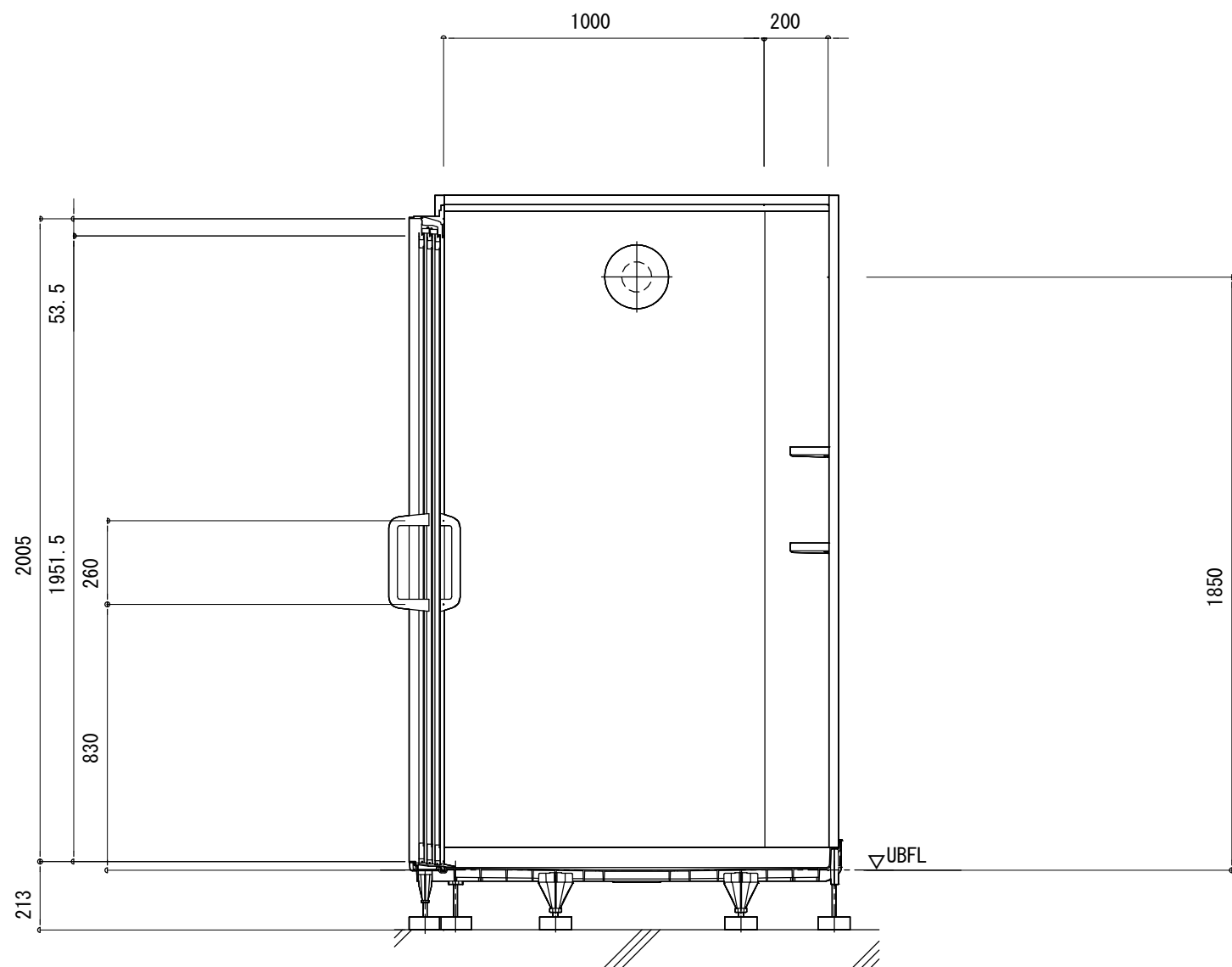
工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	シャワーユニット詳細図-2	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1=NOS	
摘 要				図面番号	A-28	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
				登 録 番 号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	



工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	シャワーユニット詳細図ー3	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1=NOS	
摘 要				図面番号	Aー29	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
				登 録 番 号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

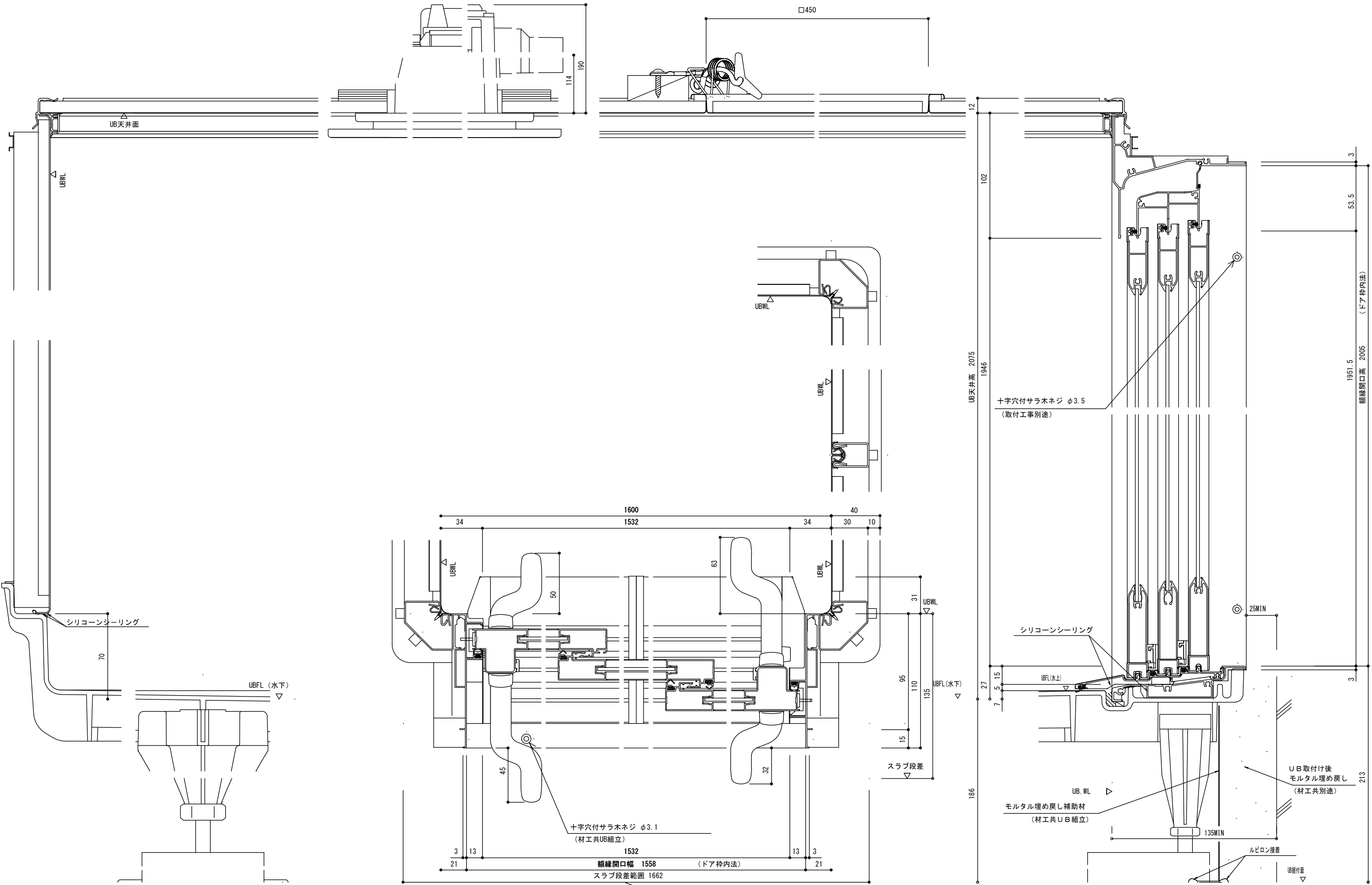


C展開



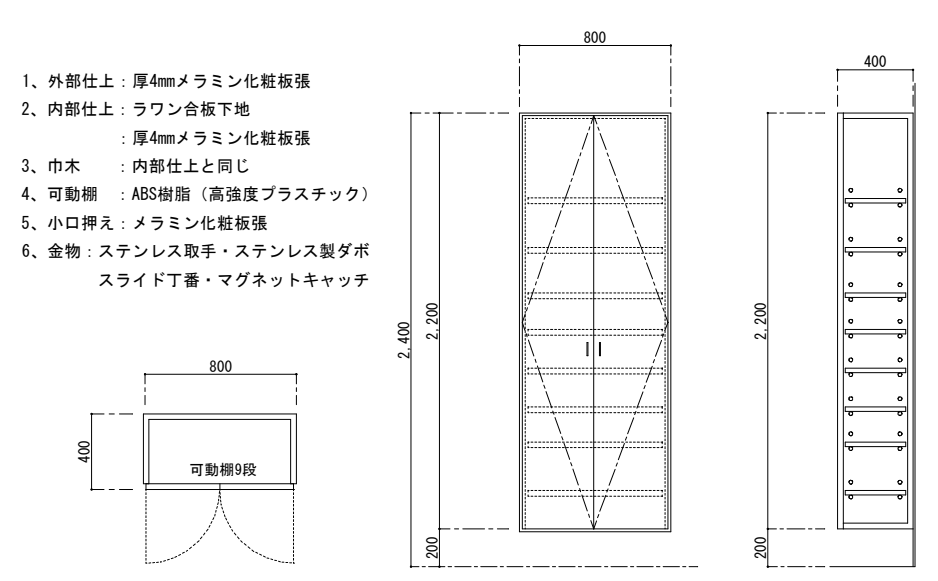
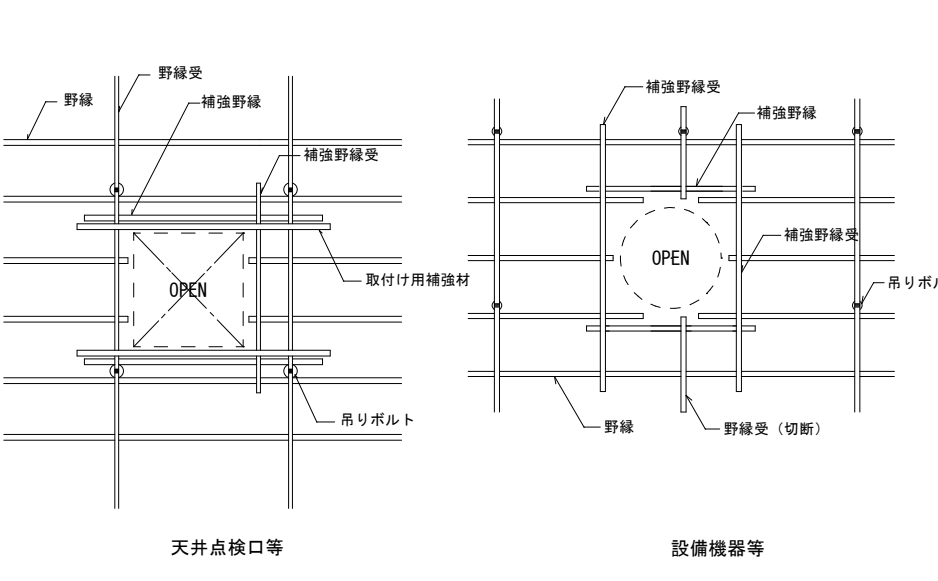
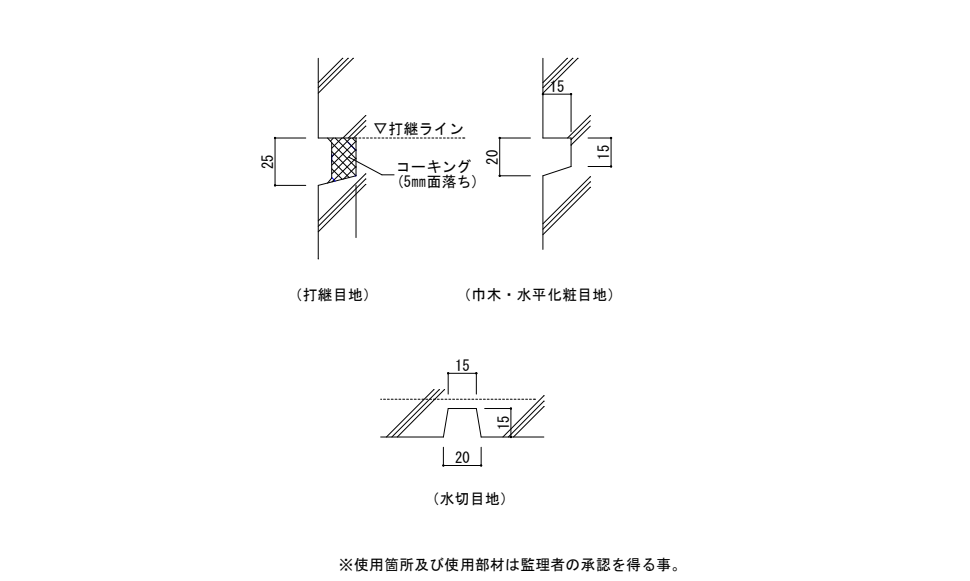
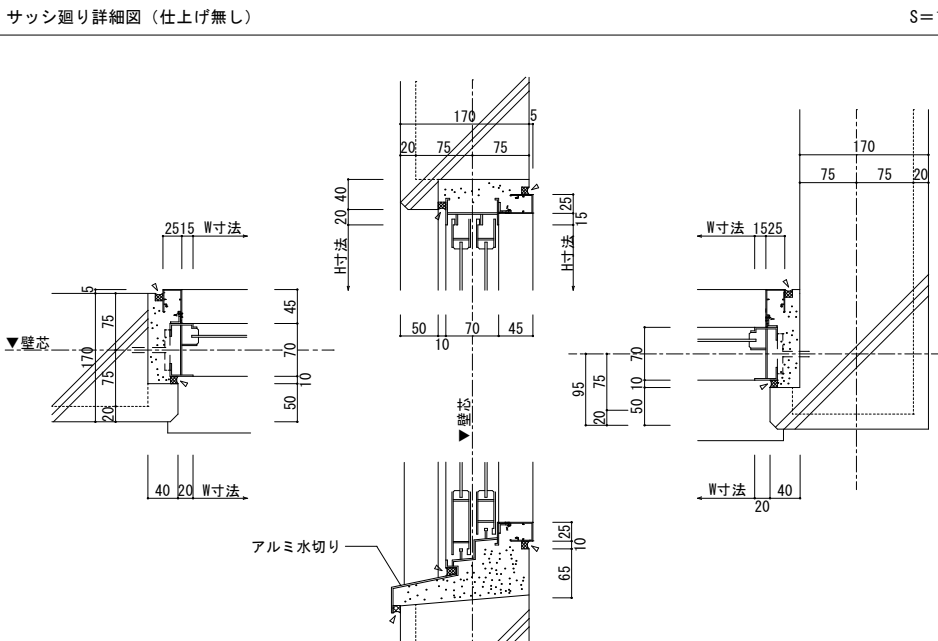
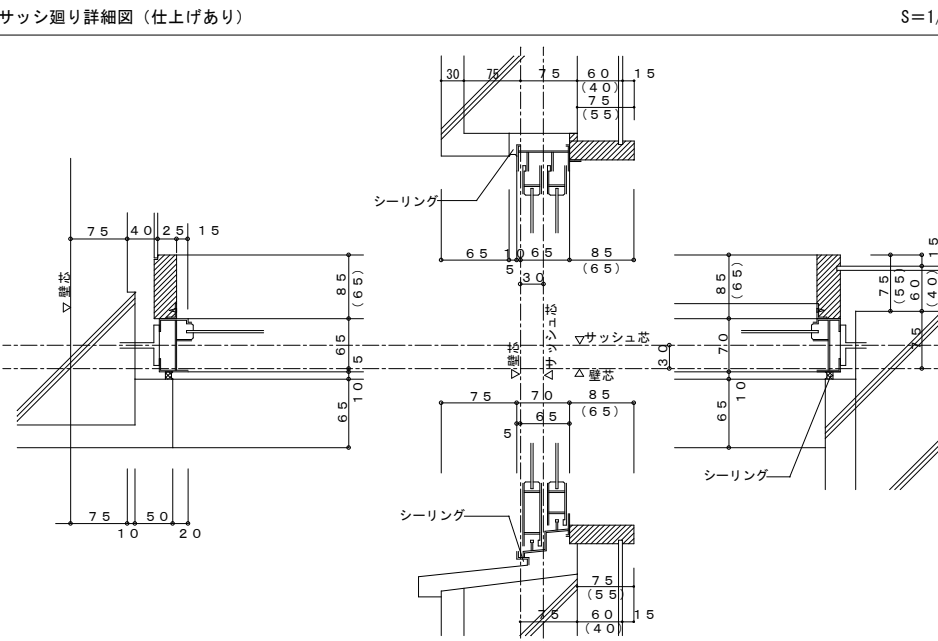
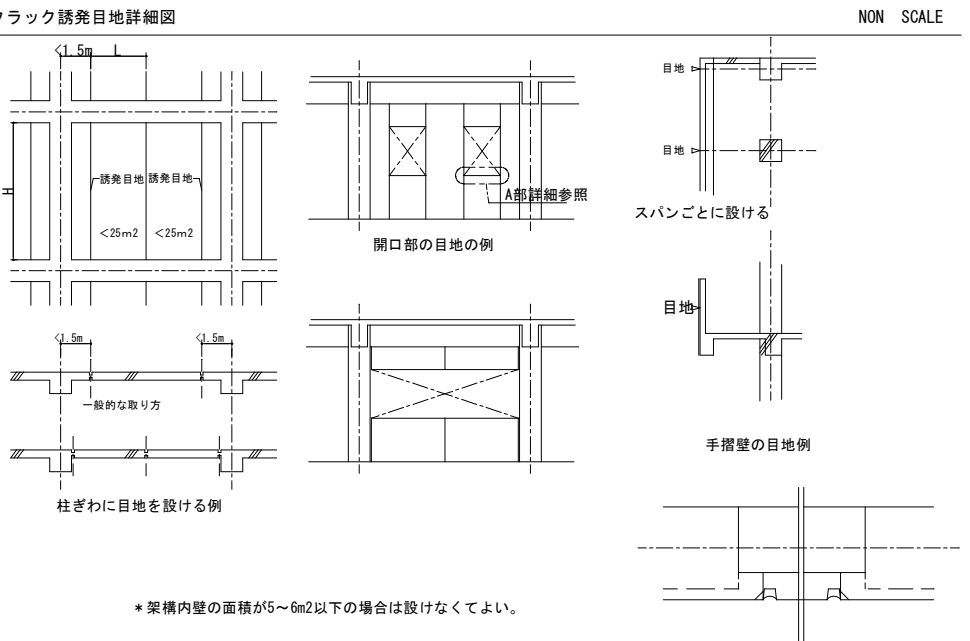
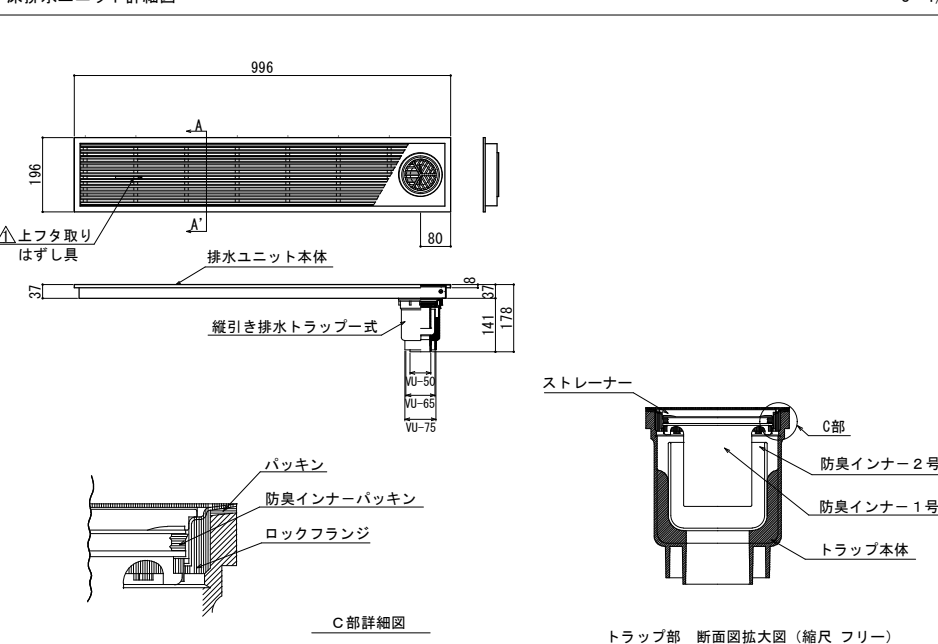
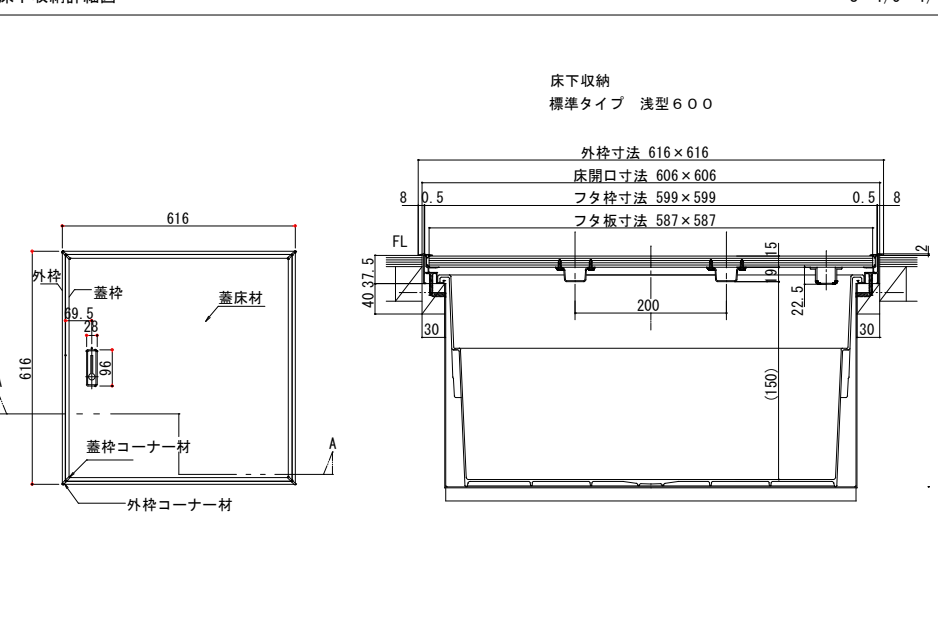
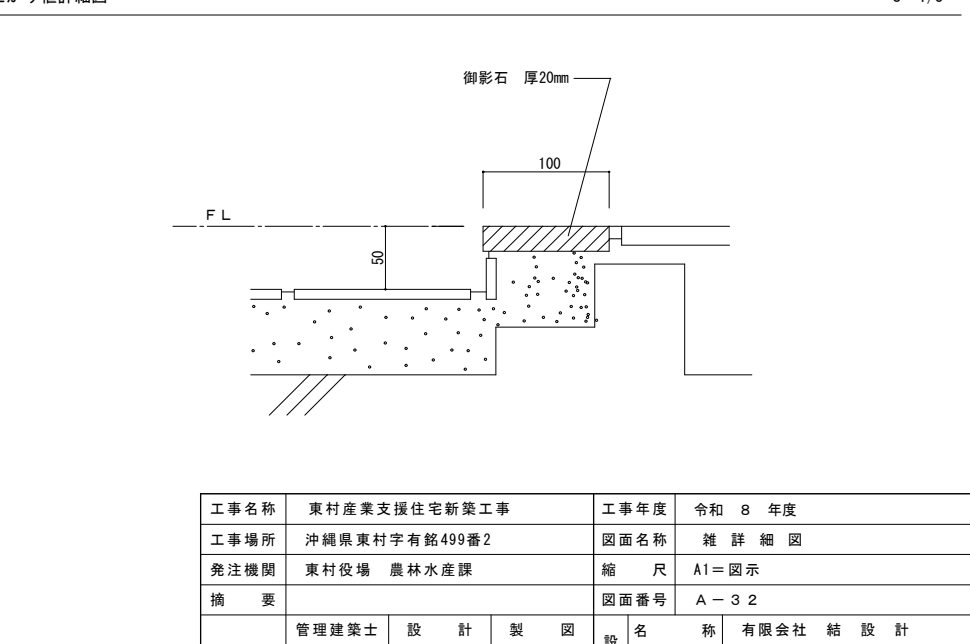
D展開

工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	シャワーユニット詳細図ー 4	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1=N0S	
摘 要				図面番号	Aー 3 0	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
				登 録 番 号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

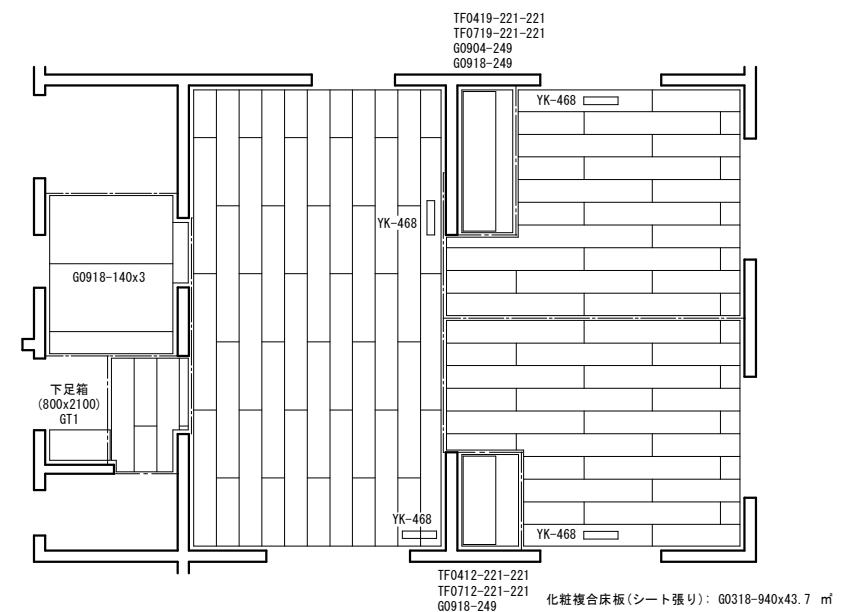
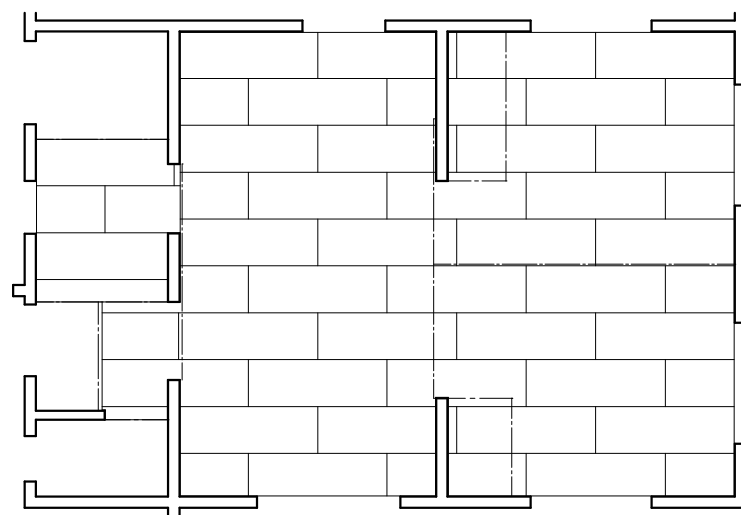
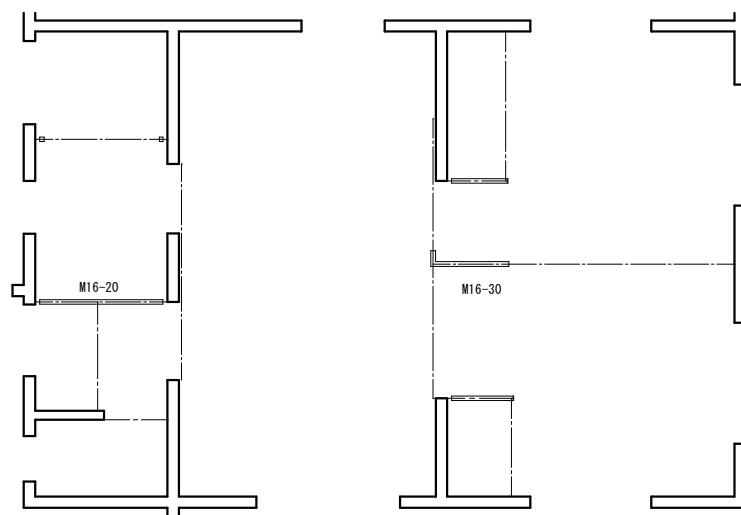
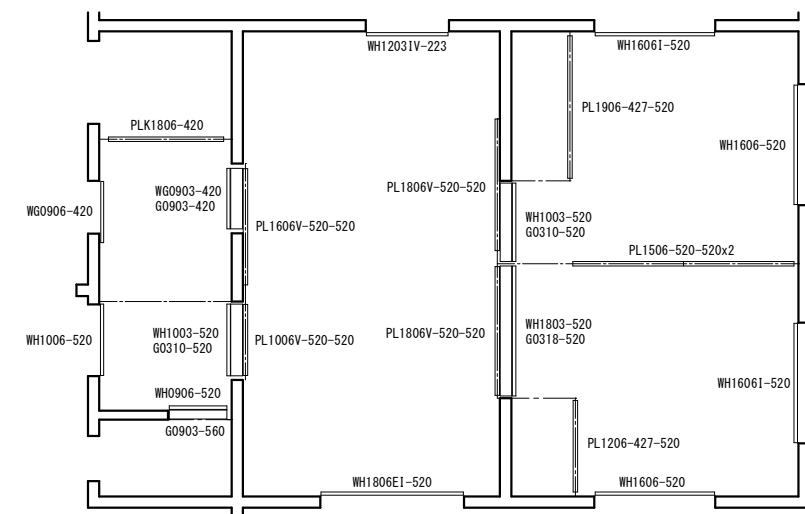
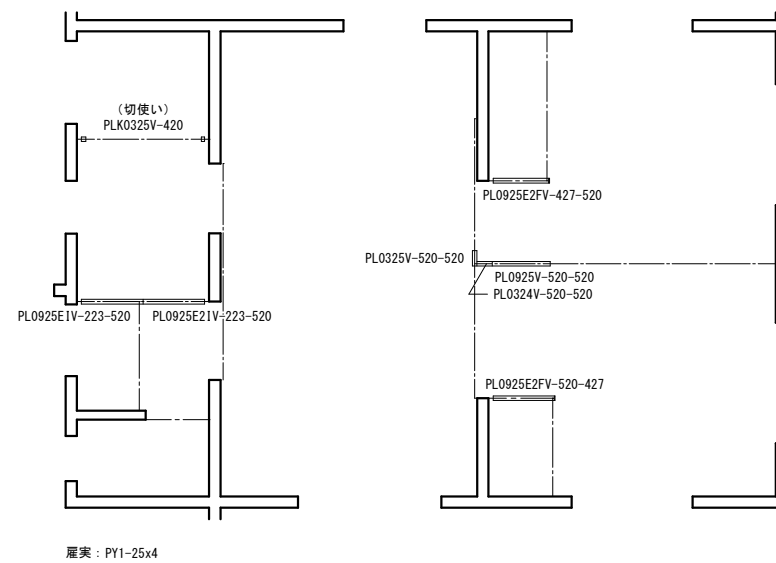
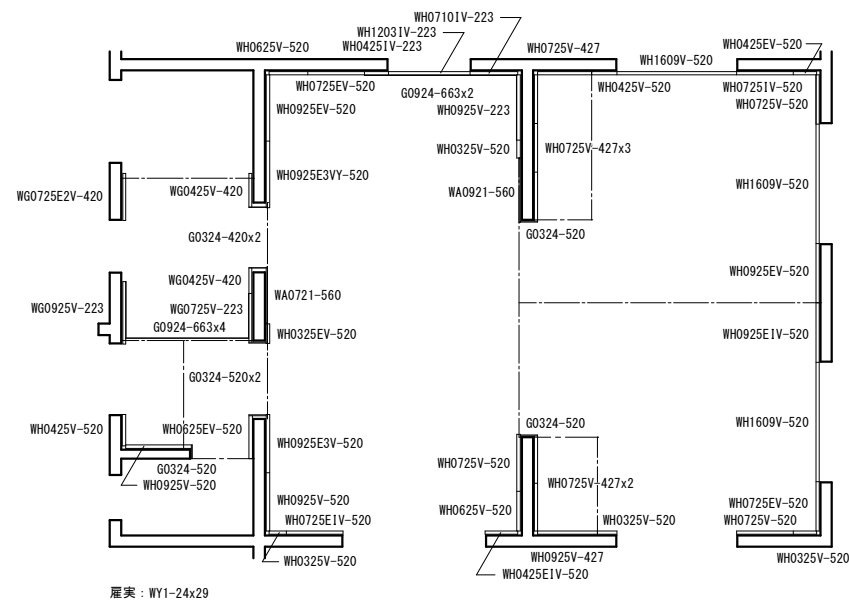


この範囲はUBWLから135mm以上確保願います。(ドア枠を埋戻しするため)

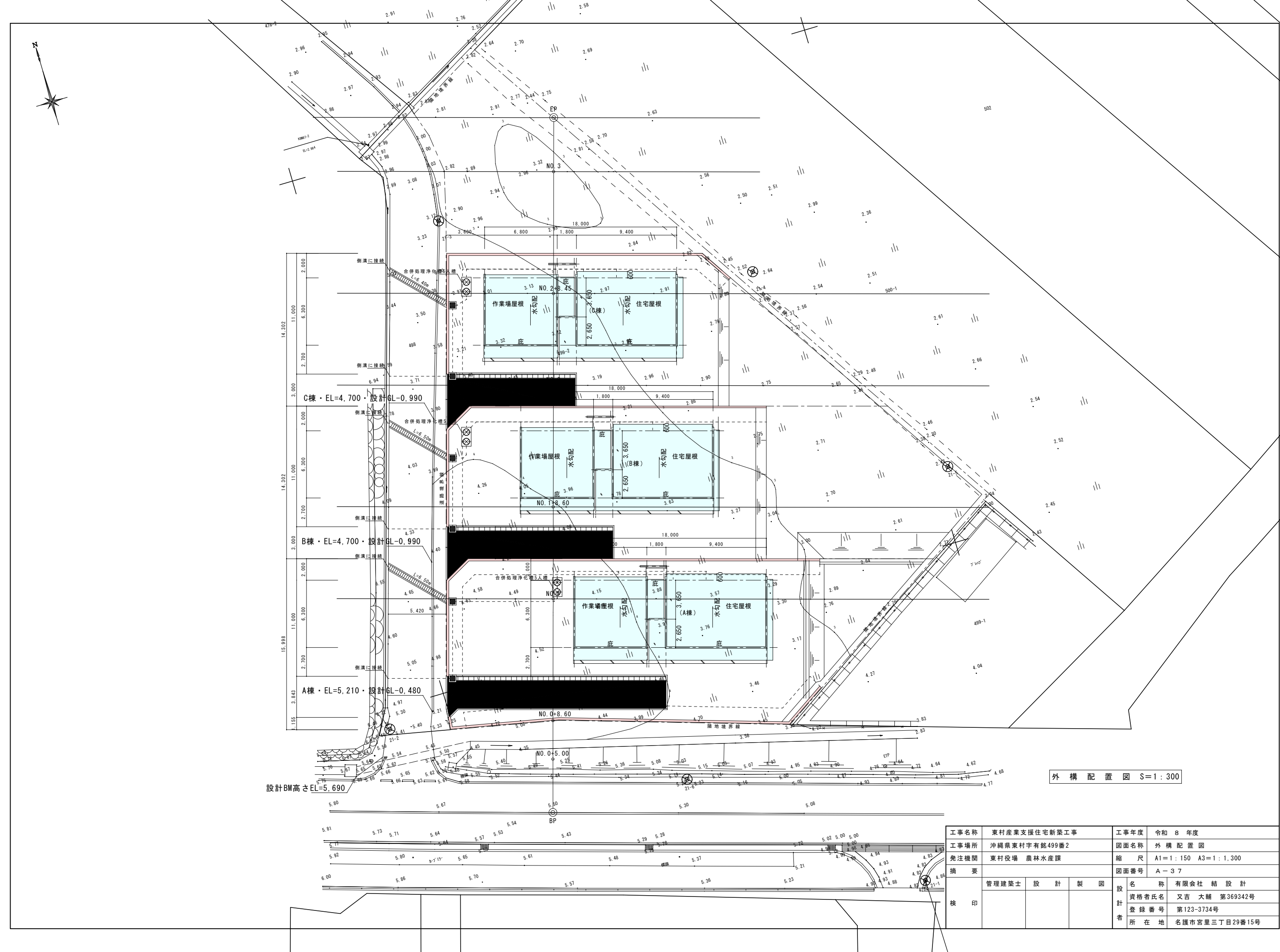
工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	シャワーユニット詳細図-5
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=NOS
摘 要		図面番号	A-31
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		名 称	有限会社 結 設 計
		資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号
		登 録 番 号	第123-3734号
		所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号

玄関詳細図		S=1/20		天井下地補強詳細図		S=1/10		外部打継詳細図		S=1/2																																																			
<div>1、外部仕上：厚4mmメラミン化粧板張</div> <div>2、内部仕上：ラワン合板下地</div> <div>3、巾木：内部仕上と同じ</div> <div>4、可動棚：ABS樹脂（高強度プラスチック）</div> <div>5、小口押え：メラミン化粧板張</div> <div>6、金物：ステンレス取手・ステンレス製ダボ</div> <div>スライド丁番・マグネットキャッチ</div> <div></div>				<div></div> <div>天井点検口等</div> <div>設備機器等</div>				<div></div> <div>※使用箇所及び使用部材は監理者の承認を得る事。</div>																																																					
サッシ廻り詳細図（仕上無し）		S=1/5		サッシ廻り詳細図（仕上あり）		S=1/5		クラック誘発目地詳細図		NON SCALE																																																			
<div></div> <div>アルミ水切り</div>				<div></div> <div>シーリング</div>				<div></div> <div>開口部の目地の例</div> <div>柱ぎわに目地を設ける例</div> <div>※架構内壁の面積が5～6m2以下の場合は設けなくてよい。</div> <div>A部詳細（開口部の目地）</div>																																																					
床排水ユニット詳細図		S=1/10		床下収納詳細図		S=1/5・1/10		上がり框詳細図		S=1/3																																																			
<div></div> <div>C部詳細図</div> <div>トラップ部 断面図拡大図（縮尺 フリー）</div>				<div></div> <div>床下収納</div> <div>標準タイプ 浅型600</div>				<div></div> <div>御影石 厚20mm</div> <div>FL</div>																																																					
								<table><tr><td>工事名称</td><td colspan="3">東村産業支援住宅新築工事</td><td>工事年度</td><td colspan="2">令和 8 年度</td></tr><tr><td>工事場所</td><td colspan="3">沖縄県東村字有銘499番2</td><td>図面名称</td><td colspan="2">雑 詳 細 図</td></tr><tr><td>発注機関</td><td colspan="3">東村役場 農林水産課</td><td>縮 尺</td><td colspan="2">A1＝図示</td></tr><tr><td>摘 要</td><td colspan="3"></td><td>図面番号</td><td colspan="2">A－3 2</td></tr><tr><td rowspan="4">検 印</td><td>管理建築士</td><td>設 計</td><td>製 図</td><td rowspan="4">設 計 者</td><td>名 称</td><td>有限会社 結 設 計</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>資格者氏名</td><td>又 吉 大 輔 第369342号</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>登 録 番 号</td><td>第123-3734号</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>所 在 地</td><td>名護市宮里三丁目29番15号</td></tr></table>		工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度		工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	雑 詳 細 図		発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1＝図示		摘 要				図面番号	A－3 2		検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計				資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号				登 録 番 号	第123-3734号				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号		
工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度																																																								
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	雑 詳 細 図																																																								
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1＝図示																																																								
摘 要				図面番号	A－3 2																																																								
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計																																																							
					資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号																																																							
					登 録 番 号	第123-3734号																																																							
					所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号																																																							

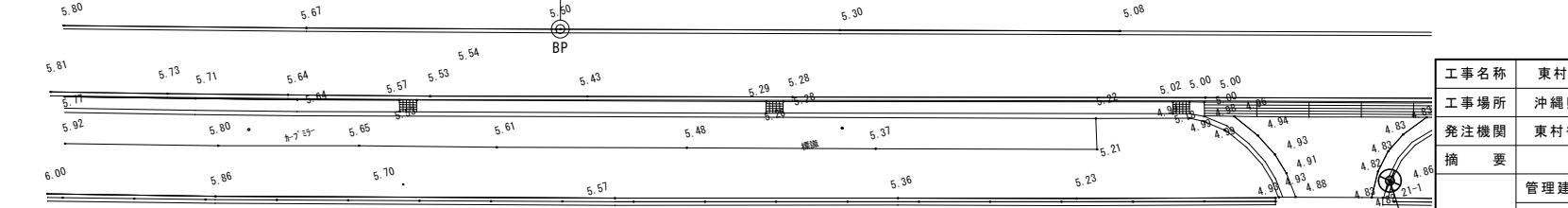
内装パネル仕様書		用途	押入棚パネル	壁パネル	間仕切パネル	間仕切パネル	壁パネル																																																																													
1. 適用	この仕様書は、公営住宅内装工事に用いる内装部品を工場製作する時に適用する。	姿 図																																																																																		
			間仕切パネル																																																																																	
2. 内装部品	1). 押入床・棚パネル（F☆☆☆☆） 2). 壁パネル（F☆☆☆☆） 3). 間仕切パネル（F☆☆☆☆） 4). 集成材 5). 単一造作材 6). 付属部品 () 内は住宅部品表示ガイドラインに基づく「内装パネルのホルムアルデヒド発散区分表示」を示す。	姿 図	単一造作材	単一造作材	単一造作材	単一造作材	単一造作材		パネルガイド材																																																																											
			下地材																																																																																	
3. 材料規格	○ パネル芯材は防虫単板積層材（LVL）3等、及び下地用製材2級とする。 ○ 内装パネル工事に用いる合板類は、ホルムアルデヒドの放散量が「日本農林規格（JAS）」で定めるF☆☆☆☆基準のものとする。 ○ 合板は、「合板の日本農林規格（JAS）」の普通合板2類の1等品とする。 ○ 化粧合板は、「合板の日本農林規格（JAS）」の特殊加工化粧合板2類でWタイプ以上とする。 ○ パネル芯材と表面材の接着剤は、日本農林規格（JAS）の2類以上の接着性能を有するものとする。 ○ 造作材は、原則としてメラビ材（防虫・防蟻処理材）とし、その他の樹種を使用する場合は、監督員の承認を得る。 ○ 下地材は、原則として杉一等材（防腐・防蟻処理材）とし、その他の樹種を使用する場合は、監督員の承認を得る。 ○ 間仕切パネルには電気ボックスを内蔵します。ボックス、配管、取付補強及び開口を含みます。但し、分電盤用を除く。	姿 図	単一造作材	単一造作材	単一造作材	単一造作材			45*45X - Q																																																																											
4. その他	○ この部品リストは、各種パネル、造作材及び付属部品の代表的な部品を示す。各種パネルの中継ピッチは、基本的に@450とする。但し床・棚パネルTFは、@225とする。 ○ 表面仕上げ材は原則として貼り継ぎ（ジョイント）はしない。 ○ 標準図及び各リスト内の表示寸法は、全て仕上がり寸法とする。	姿 図	仕上げ表																																																																																	
			<table><tr><th>室名</th><th>床</th><th>壁</th><th>天井</th><th>備考</th></tr><tr><td>玄関</td><td>940 960</td><td>520</td><td>555</td><td></td></tr><tr><td>D・K</td><td>940 960</td><td>520 663</td><td>555</td><td>663は渡し台廻りのみ</td></tr><tr><td>洋室1</td><td>940 960</td><td>520</td><td>555</td><td></td></tr><tr><td>洋室2</td><td>940 960</td><td>520</td><td>555</td><td></td></tr><tr><td>洗面・脱衣室</td><td>140 960</td><td>420 663</td><td>800</td><td>床シート貼りはパネル部品外</td></tr><tr><td>WC</td><td>――</td><td>――</td><td>800</td><td></td></tr><tr><td>SW</td><td>――</td><td>――</td><td>――</td><td></td></tr><tr><td>押入</td><td>221 249</td><td>221 960</td><td>427</td><td>427床は棚パネルを示す</td></tr><tr><td colspan="5">浴室 出入り口額縁：樹脂製（パネル部品外）</td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr></table>							室名	床	壁	天井	備考	玄関	940 960	520	555		D・K	940 960	520 663	555	663は渡し台廻りのみ	洋室1	940 960	520	555		洋室2	940 960	520	555		洗面・脱衣室	140 960	420 663	800	床シート貼りはパネル部品外	WC	――	――	800		SW	――	――	――		押入	221 249	221 960	427	427床は棚パネルを示す	浴室 出入り口額縁：樹脂製（パネル部品外）																													
			室名	床	壁	天井	備考																																																																													
			玄関	940 960	520	555																																																																														
D・K	940 960	520 663	555	663は渡し台廻りのみ																																																																																
洋室1	940 960	520	555																																																																																	
洋室2	940 960	520	555																																																																																	
洗面・脱衣室	140 960	420 663	800	床シート貼りはパネル部品外																																																																																
WC	――	――	800																																																																																	
SW	――	――	――																																																																																	
押入	221 249	221 960	427	427床は棚パネルを示す																																																																																
浴室 出入り口額縁：樹脂製（パネル部品外）																																																																																				
記号 名称 種別 厚																																																																																				
140 ラワン合板 T1 9.0																																																																																				
203 ラワン合板 T2 2.5																																																																																				
221 ラワン合板（押入用） T2 4.0																																																																																				
223 ラワン合板 T2 4.0																																																																																				
249 ラワン合板 T2 12.0																																																																																				
420 プリント合板（木目調） T2 4.0																																																																																				
427 押入プリント合板 T2 4.0																																																																																				
468 ポリエステル合板（単色） T2 4.0																																																																																				
520 石膏ボード ―― 12.5																																																																																				
555 不燃化粧石膏ボード（トラバーチン） ―― 9.0																																																																																				
563 けい酸カルシウム板 ―― 6.0																																																																																				
663 キッチンパネル（抽象柄） ―― 6.0																																																																																				
800 バスパネル ―― 9.0																																																																																				
940 シートフローリング T2 12.0																																																																																				
960 パーティクルボード ―― 20.0																																																																																				



工事名称		東村産業支援住宅新築工事		工事年度	令和 8 年度
工事場所		沖縄県東村字有銘499番2		図面名称	内装材割付図-1
発注機関		東村役場 農林水産課		縮 尺	A1=1:50 A3=1:100
摘 要				図面番号	A-35
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	有限会社 結 設 計
				資格者氏名	又吉 大輔 第369342号
				登 録 番 号	第123-3734号
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号

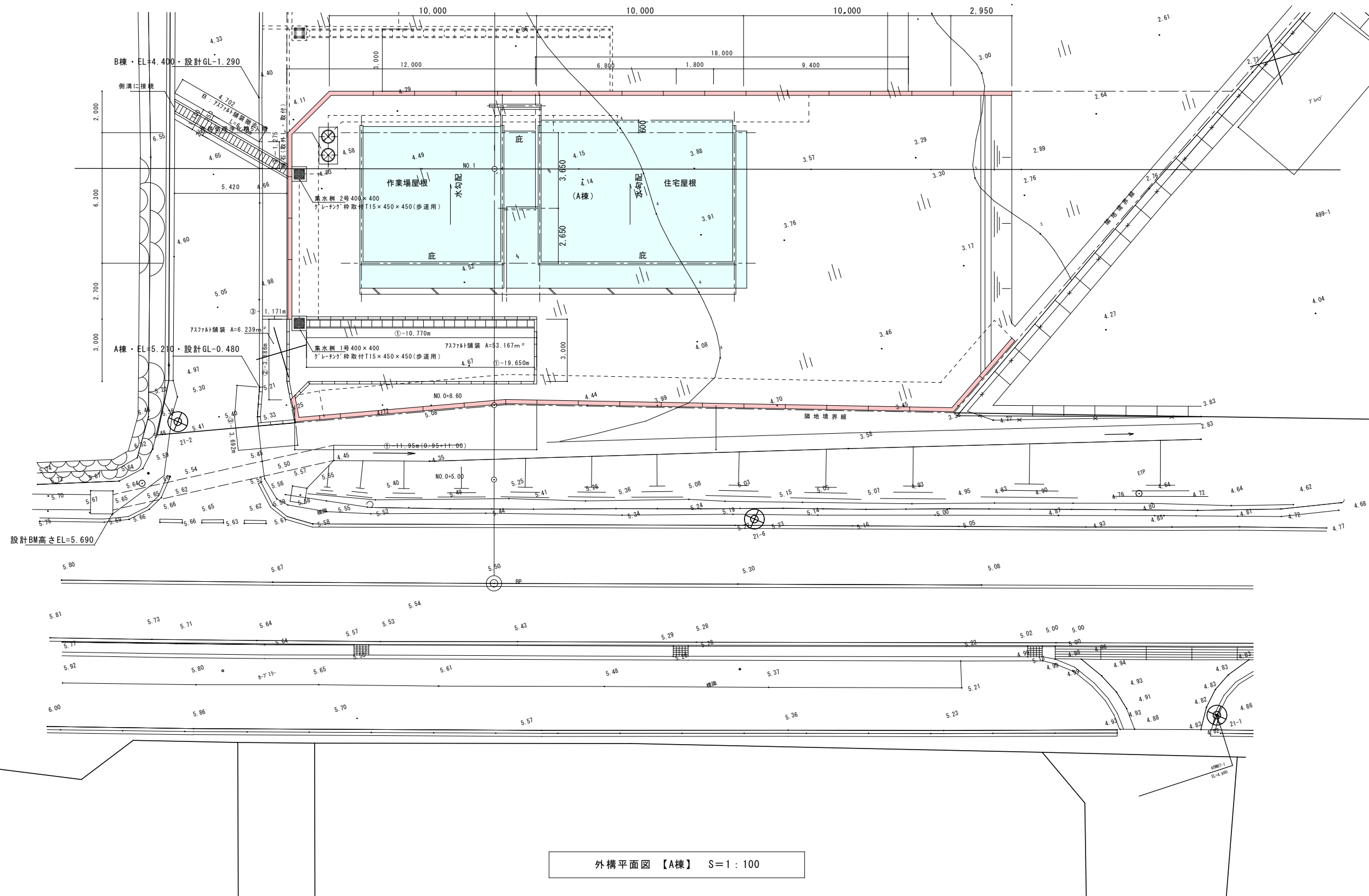


設計BM高さ
EL=5.690

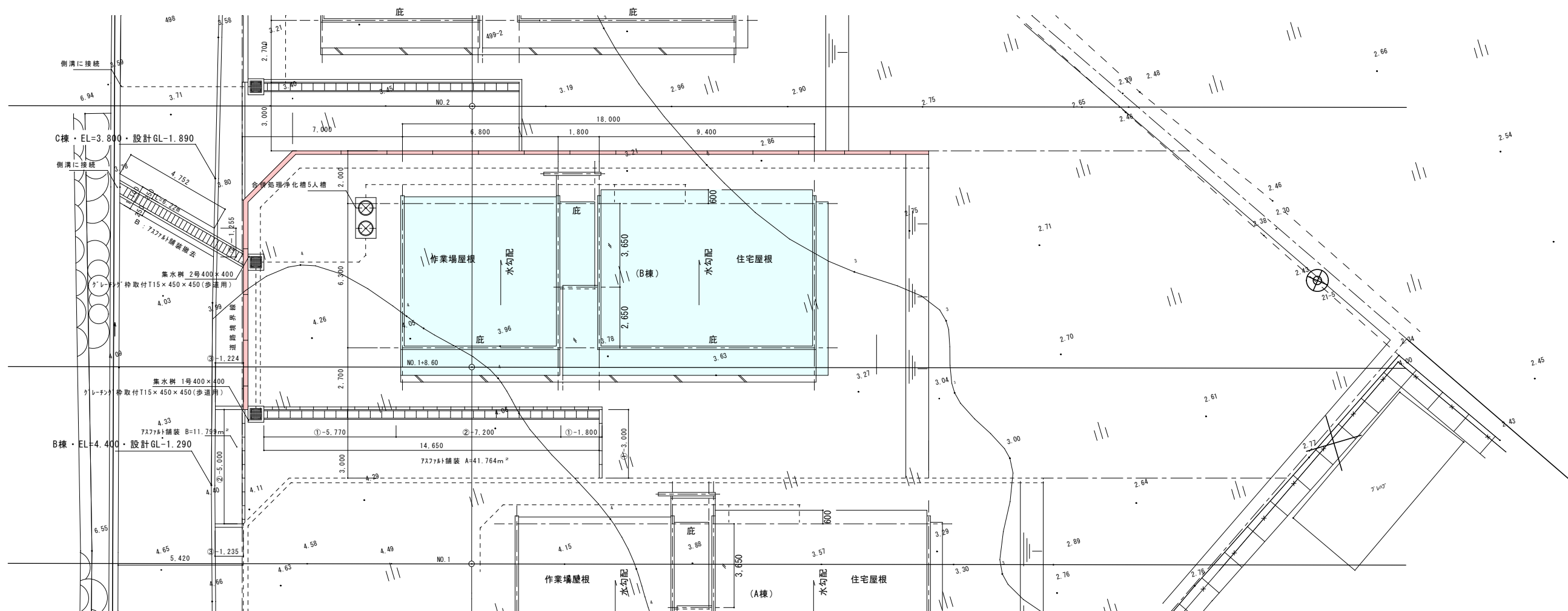


外 構 配 置 図 S=1 : 300

工事名称			東村産業支援住宅新築工事		工事年度		令和 8 年度		
工事場所			沖繩県東村字有銘499番2		図面名称		外 構 配 置 図		
発注機関			東村役場 農林水産課		縮 尺		A1＝1：150 A3＝1：1,300		
摘 要					図面番号		A－3 7		
検 印	管理建築士		設 計		製 図		設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計
								資格者氏名	又吉 大輔 第369342号
								登 録 番 号	第123-3734号
								所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号

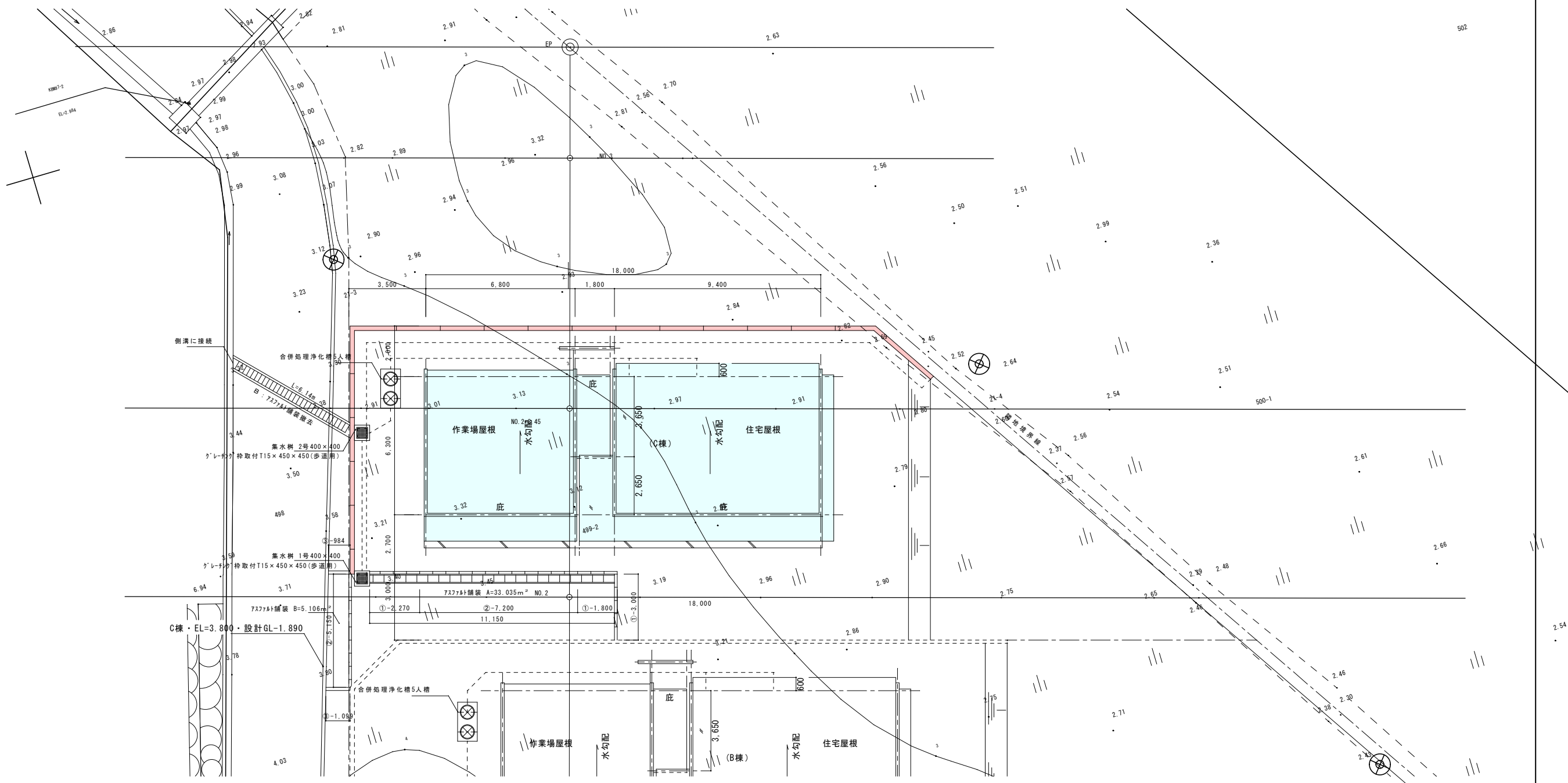


工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	外 構 平 面 図 【 A 棟 】
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1:100 A3=1:200
摘 要		図面番号	A-38
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
	登 録 番 号	第123-3734号	
	所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	



外構平面図【B棟】 S=1:100

工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	外構平面図【B棟】	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1=1:100 A3=1:200	
摘 要				図面番号	A-39	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又吉 大輔 第369342号	
				登 録 番 号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

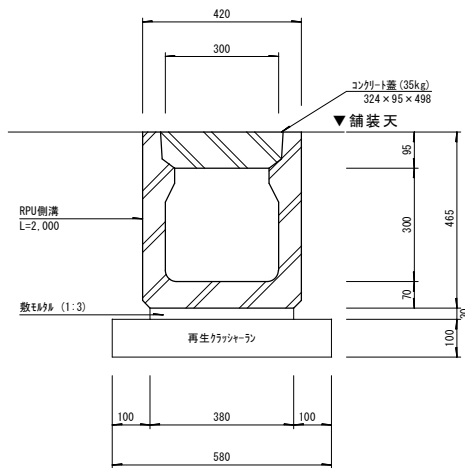


外構平面図 【C棟】 S=1 : 100

工事名称	東村産業支援住宅新築工事			工事年度	令和 8 年度	
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2			図面名称	外 構 平 面 図 【 C 棟 】	
発注機関	東村役場 農林水産課			縮 尺	A1=1 : 100 A3=1 : 200	
摘 要				図面番号	A - 4 0	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	有限会社 結 設 計	
				資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
				登 録 番 号	第123-3734号	
				所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	

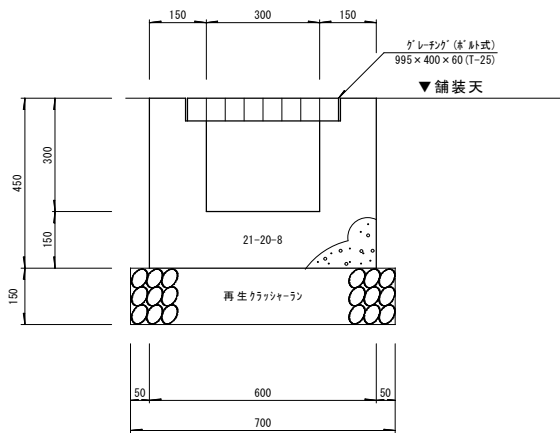
A 型 側 溝

S=1/10



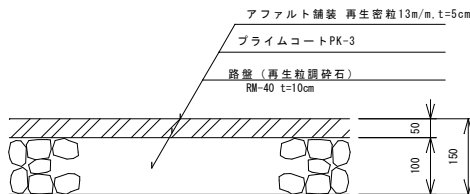
横 断 溝

S=1/10



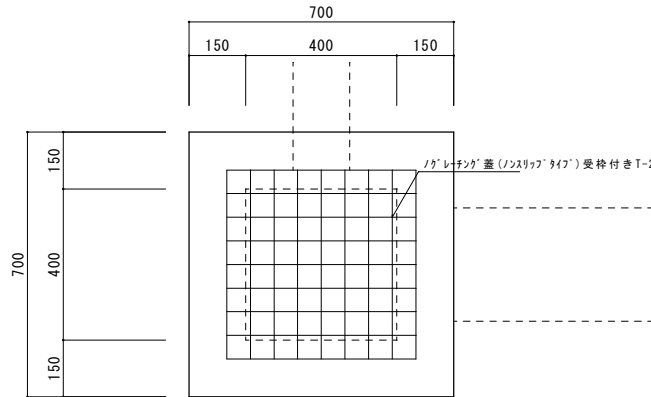
A 車道舗装断面図

S=1/10



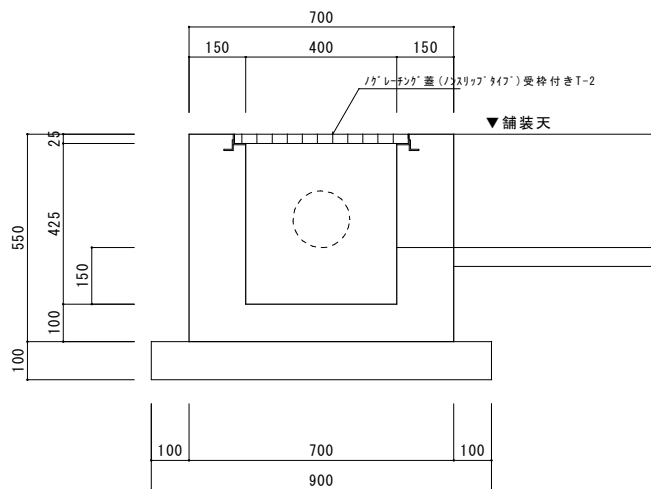
集 水 樹 1 号

S=1/10



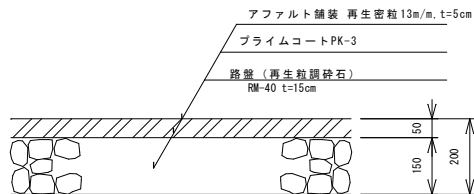
集 水 樹 断 面

S=1/10



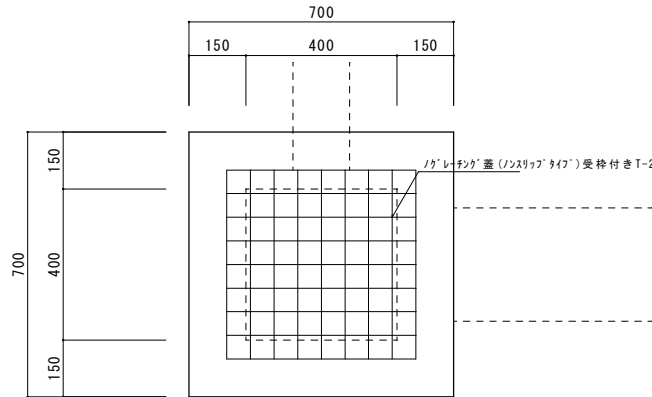
B 車道舗装断面図

S=1/10



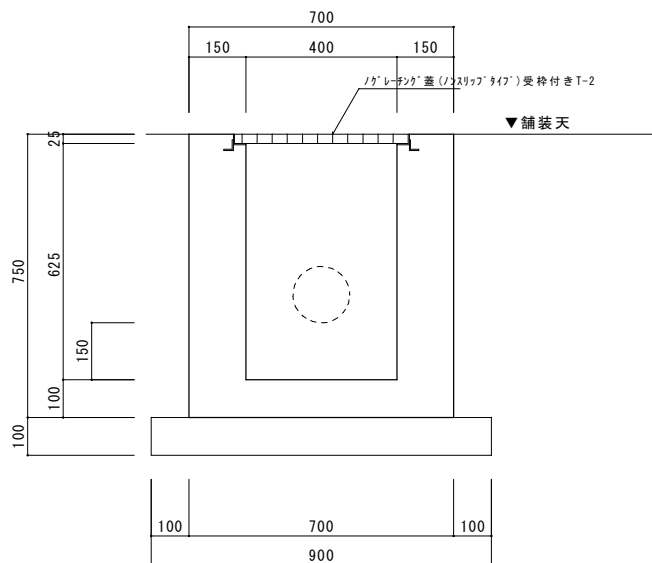
集 水 樹 2 号

S=1/10



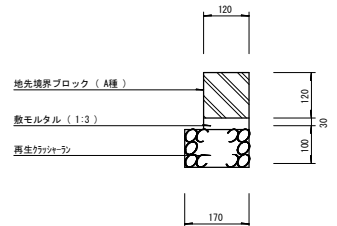
集 水 樹 断 面

S=1/10



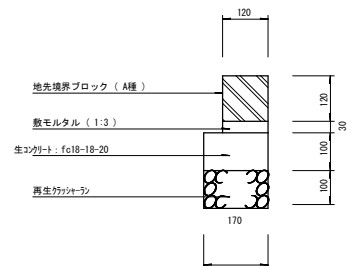
① 縁 石

S=1/10



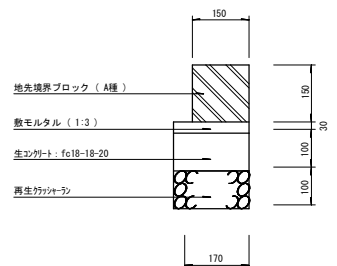
②縁石(取外し・再利用)

S=1/10



③縁石(取外し・再利用)

S=1/10



工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	外構詳細図【 各棟・共通 】
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1:10 A3=1:20
摘 要		図面番号	A-41
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
	登 録 番 号	第123-3734号	
	所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	



◆ 仮設計画

■ : クロスゲート設置

- A棟 : クロスゲート設置 W=4,000
B棟 : クロスゲート設置 W=5,000
C棟 : クロスゲート設置 W=5,000

■ : 仮囲い設置 (地面)

- ①. 23,960m
②. 63,551m
③. 8,159m
④. 9,810m
⑤. 1,000m

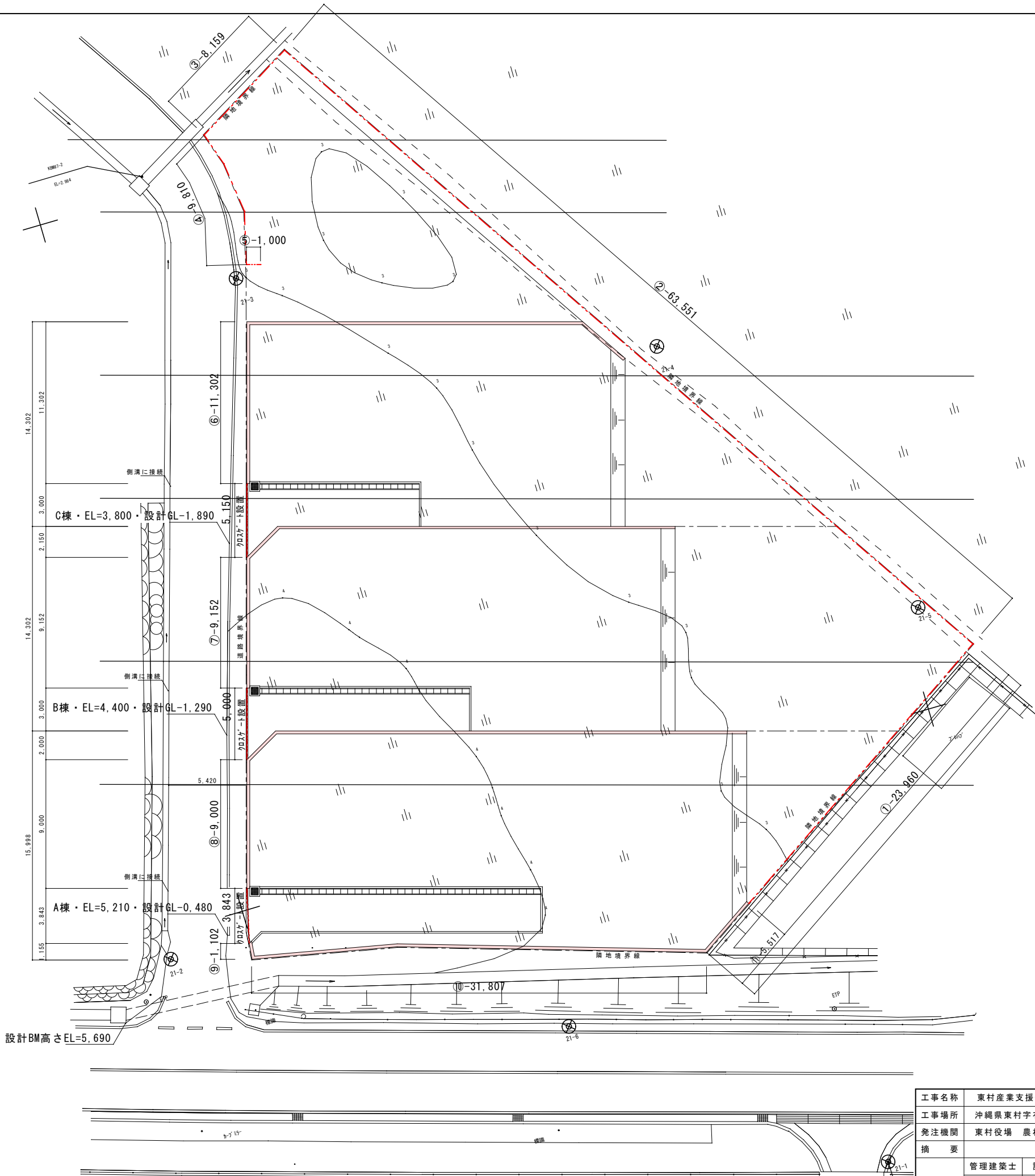
小 計=106,480m

■ : 仮囲い設置 (L擁壁取付)

- ⑥. 11,302m
⑦. 9,152m
⑧. 9,000m
⑨. 1,102m
⑩. 31,807m
⑪. 5,517m

小 計= 67,880m

合 計=174,360m



仮設計画面 S=1:300

工事名称	東村産業支援住宅新築工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	沖縄県東村字有銘499番2	図面名称	仮設計画面
発注機関	東村役場 農林水産課	縮 尺	A1=1:150 A3=1:1,300
摘 要		図面番号	A-42
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	有限会社 結 設 計	
	資格者氏名	又 吉 大 輔 第369342号	
	登 録 番 号	第123-3734号	
	所 在 地	名護市宮里三丁目29番15号	